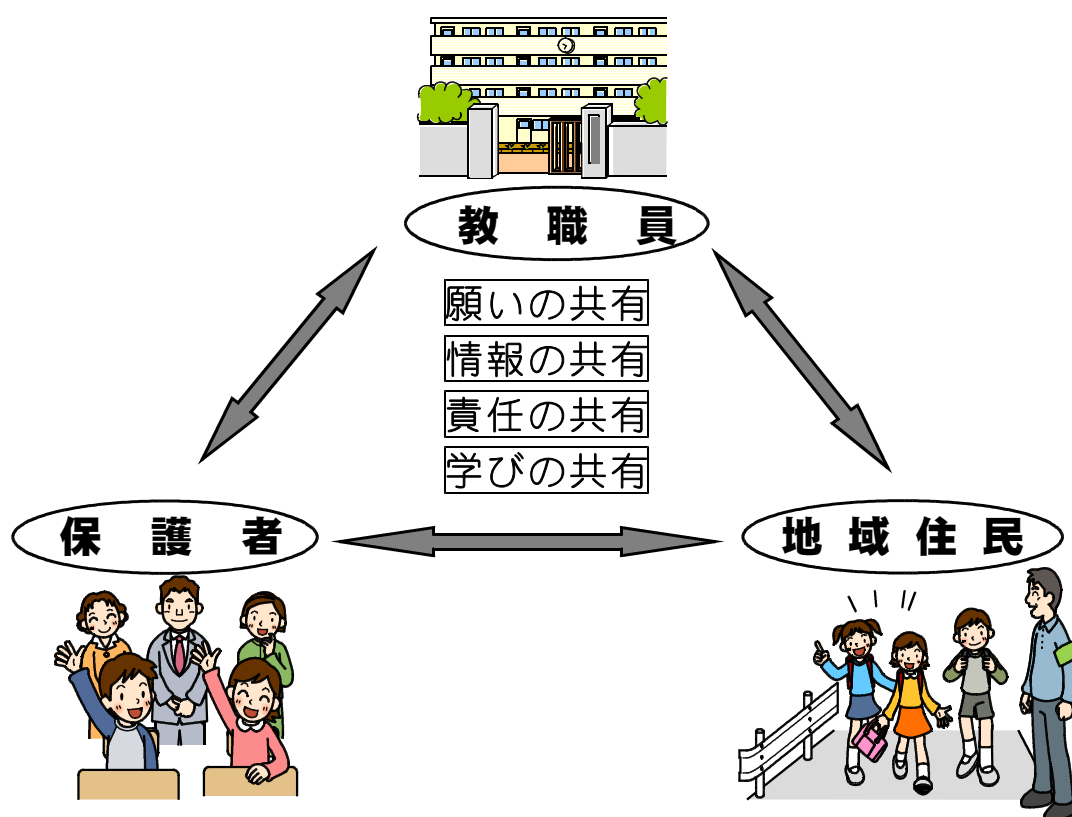


平成24年度

地域密着型教育推進事業

実践報告集



「地域密着型教育」を通して

子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを！

学校・家庭・地域社会が連携・協力し、

- (1) 子どもたちによりよい教育環境を提供します。
- (2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てます。
- (3) 地域ぐるみの教育活動を展開し、
明るく活力あるまちづくりに貢献します。

八戸市教育委員会

— 目 次 —

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 八戸市教育委員会 教育長 松山 隆豊

1 章 平成24年度の事業概要

1 基本方針	2
2 平成24年度の重点	2
3 平成24年度の予算	3
4 事業推進のための留意点	3
5 事業の経過	5
6 予算からみた各校活動状況（地域密着型教育推進事業費活用校のみ）	6
7 平成24年度の成果と課題	6
8 次年度の見通し	8

2 章 平成24年度推進校報告書

1 八戸小学校	10	20 下長小学校	52	38 第一中学校	92
2 城下小学校	12	21 城北小学校	54	39 第三中学校	94
3 吹上小学校	14	22 高館小学校	56	40 長者中学校	96
4 長者小学校	16	23 根岸小学校	58	41 江陽中学校	98
5 図南小学校	18	24 日計ヶ丘小学校	60	42 白銀南中学校	102
6 中居林小学校	20	25 是川小学校	62	43 鮫中学校	104
7 柏崎小学校	22	26 是川東小学校	64	44 根城中学校	106
8 江陽小学校	24	27 西園小学校	66	45 下長中学校	108
9 青潮小学校	28	28 明治小学校	68	46 北稜中学校	110
10 白銀南小学校	30	29 轟木小学校	72	47 是川中学校	112
11 町畑小学校	32	30 豊崎小学校	74	48 三条中学校	114
12 鮫小学校	34	31 新井田小学校	76	49 明治中学校	116
13 種差小学校	36	32 松館小学校	78	50 豊崎中学校	118
14 大久喜小学校	38	33 旭ヶ丘小学校	80	51 大館中学校	120
15 金浜小学校	40	34 市野沢小学校	82	52 東中学校	122
16 根城小学校	42	35 中野小学校	84	53 中沢中学校	124
17 白山台小学校	44	36 鳩田小学校	86	54 島守中学校	126
18 江南小学校	46	37 島守小学校	88		
19 田面木小学校	48				

3 章 実践発表資料

1 第三中学校発表資料（推進校連絡会）	129
2 旭ヶ丘小学校発表資料（実践研究発表会）	134
3 豊崎中学校発表資料（実践研究発表会）	139

4 章 関係資料

1 地域密着型教育推進事業実施要項	148
2 八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における 地域学校連携協議会の設置に関する要綱	150
3 地域密着型教育推進事業に係る 「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱	154
4 地域密着型教育推進事業基本構想図	156
5 同一学区内地域学校連携協議会の形態例	157
6 新規推進校年間スケジュールの例	158

子どもたちの確かな学びと豊かな育ちのために

八戸市教育委員会

教育長 松山 隆豊

近年の社会の変化や教育環境の厳しさの中、「子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを保证する」ために、学校・家庭・地域社会がこれまで以上に連携していく必要があることから、市教育委員会では、平成20年度に地域密着型教育推進事業を立ち上げました。5年目を迎えた今年度は、新規推進校16校を加え、54校が地域密着型教育を推進してまいりました。

今年度は、市教育委員会の重点として、①新規推進校への支援の強化、②推進校連絡会等の開催による支援、③地域学校連携協議会の充実、の3点を掲げ支援してまいりました。特に新規推進校の支援については、準備会等へ担当指導主事が出席し、地域の実態に応じた組織作り等に向けた積極的な支援に努めてまいりました。

地域密着型教育を推進していく上で重要なことの一つ目として、「地域学校連携協議会の運営」が挙げられます。願い・情報・責任・学びの共有が図られるよう、組織作りや協議会の協議内容としてどのようなものを取り扱うか、十分検討する必要があります。協議会では出席した委員（理事）の方からできるだけ多くの御意見をいただき、学校運営に積極的に活用してほしいと考えます。二つ目として、「地域の教育力の活用」が挙げられます。ボランティアや地域の施設等を活用することによる教育の質の向上をお願いします。また、子どもたちが地域のために何ができるかという視点も大切にし、まちづくりへの貢献もお願いします。

市教育委員会では、平成25年度から平成29年度までの5年間における教育の方向性を示す『八戸市教育振興基本計画』を策定いたしました。その中で、今後も「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」の基本理念のもと、「個を生かし、学ぶ喜びをはぐくむ学校教育」を推進することとしております。来年度は、市立の全小・中学校及び学校組合立田代小・中学校で地域密着型教育に取り組むこととなりました。これまでの各校での成果と課題を参考にいただき、学校や地域の特色を生かした地域密着型教育が一層推進されるよう心から願っております。

1 章 平成24年度の事業概要

1 基本方針

(1) 趣旨

児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進める。

(2) 推進校における実践内容

保護者および地域住民が、学校運営に参画できる地域学校連携協議会を推進校に設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- ①「願い」「情報」「責任」「学び」の四つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA 活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- ②教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。
- ③地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

(3) 推進校の指定

- ①学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。指定は、単年度ごととする。
- ②新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。

(4) 推進校の組織

推進校においては地域学校連携協議会を組織し、年3回程度開催する。専門部会、企画推進部会等他の組織の設置については、推進校の裁量とする。

2 平成24年度の重点

(1) 市教委による新規推進校への支援の強化

新規推進校に対して、担当指導主事を割り当てて、地域学校連携協議会が順調に立ち上がるよう支援を強化する。なお、地域学校連携協議会の形態（学校別単独型、小中合同の一体型等）は、学校や地域の実情によって決めることとする。

- ・立ち上げまでのスケジュールに関する支援
- ・組織作りに関する支援（地域学校連携協議会以外の組織は任意）
- ・保護者、地域住民、教職員の共通理解に関する支援 等

※継続校にも担当指導主事を割り当てるが、協議会へは可能な範囲で出席する。

(2) 市教委による推進校連絡会等の開催による各校取組への支援

推進校連絡会、コーディネーター研修会等を開催し、各校の取組状況の共有や課題解決に向けた話し合いを通して、各校の取組を支援する。

- ・推進校連絡会の開催（２回）
- ・コーディネーター研修会の開催（３回）
- ・地域密着型教育実践発表会の開催 等

(3) 推進校による地域学校連携協議会の充実

各推進校は、地域学校連携協議会の充実を目指して取り組む。また、子どもたちの安全を三者で確保する体制作りについて協議する。

- ・協議題の吟味や資料提示等の工夫及び、協議進行の工夫 等
- ・災害発生時の安全確保に係る体制についての協議

3 平成24年度の予算

(1) 予算上の学校支援地域本部事業の活用

前年度まで学校支援地域本部事業を実施していた推進校は、平成 24 年度も継続する。その際、社会教育課が予算関係の担当課となる。(平成 24 年度が県の重点事業最終年度)

(2) 地域密着型教育推進事業の予算

上記（学校支援地域本部事業活用校）以外の推進校は、地域密着型教育推進事業の予算で実施する。その際、教育指導課が予算関係の担当課となる。

(3) 学校配分予算

	地域密着型教育推進事業		学校支援地域本部事業	備 考
	普通規模校	小規模校		
報 償 費	160,000	0	160,000	コーディネーター謝金 800 円/h
消耗品費	30,000	15,000	20,000	用紙代、インク代等
保 険 料	50 人まで	15 人まで	30 人程度	ボランティア保険料(コーディネーター保険含む)

4 事業推進のための留意点

(1) 新規推進校における地域学校連携協議会立ち上げの際の留意点

- ①新規推進校は、地域学校連携協議会の立ち上げと年３回の協議会の運営を１年目の目標とする。
- ②市教委は担当指導主事を割り当てて支援し、地域学校連携協議会立ち上げに関する支援を最優先に取り組む。
- ③地域学校連携協議会の形態（学校単位、学区単位等）をどのようにするか、中学校区内推進校の校長先生方で相談をする。
- ④１年間のスケジュールを立て、PTA 総会や準備委員会等を活用して保護者や地域住民との共通理解を図りながら、急がずに進める。特に地域住民や保護者の代表者に学校の方針を理解していただき、組織の在り方や委員の人選について率直に話し合うことが、今後の地域学校連携協議会の充実につながる。
- ⑤PTAや既存の組織を生かし、新たな負担を少なくする工夫をする。

(2) 地域学校連携協議会を充実させ参加者の参画意識を高めるための留意点

- ①保護者や地域住民が関心をもちやすい具体的な内容を、わかりやすい資料を使って示し、意見が多く出るようにする。
- ②学校の課題や児童生徒の課題については、教職員だけの責任とせずに、参加者全員の課題として捉えられるようにする。
- ③要望、意見について、どこで検討するのか（学校で、PTAで、企画推進委員会で等）を明らかにし、検討結果（学校行事の変更、PTA活動の改善、ボランティアの活用等）を次回の協議会で報告するなどし、無理に回答を急がない。
- ④委員全員から意見を吸い上げたり、年間行事予定等を諮り意思決定の機会をつくったりするなどして、委員としての役割を担っているという実感をもってもらよう工夫する。
- ⑤司会を務める会長との事前の打合せを行い、学校としてどのような意見や要望、話し合いを望んでいるのかを司会者に理解してもらう。また、必要に応じて協議会中でも校長や教頭が司会者にアドバイスして、適正な話し合いができるようにする。

(3) コーディネーターの活用に関する留意点

- ①連絡調整のために、毎週定められた曜日に活動日を設けて、あとは必要に応じて活動するなど、年間活動時間に留意の上、コーディネーターと相談しながら効果的な活動ができるよう工夫する。
- ②提出書類等について年間の見通しを立て、コーディネーターに計画的に進めてもらう。
- ③活動報告をする際には、コーディネーターの活動は謝金が発生することから、ボランティア活動等コーディネーターとしての活動に含まれないものを記載しないよう留意する。（「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」で定められていない内容はコーディネーターの活動としては認められない）
- ④学校支援地域本部実施校のコーディネーターについては、社会教育課が定めている要綱や計画によるが、上記とほぼ同じとみてよい。

コーディネーターの活動例

- ア 地域学校連携協議会委員等への案内の作成・印刷・発送
- イ 地域学校連携協議会議事録等必要書類の作成・管理
- ウ 学校支援ボランティアバンクの作成・保険手続き
- エ 各専門部会の全事業についての案内文作成・発送・参加ボランティアの掌握
- オ 地域学校連携協議会だよりの作成・全町内会への配付
- カ 各専門部会で使用する用紙類や消耗品等の購入・会計処理
- キ 授業等でボランティアが必要な教科・内容・時期の確認・調整
- ク 学校が必要とするボランティアの開拓・連絡・日程調整
- ケ 研修
- コ その他

5 事業の経過

(1) 全体に関わる行事関係

月	日	曜	内 容	備 考
4	1	日	小・中学校 54 校を推進校に指定	
4	24	火	地域密着型教育推進校説明会 予算額及び予算の執行方法等の説明	事業推進の基本方針、事務手続き
5	24	木	地域密着型教育コーディネーター研修会① 委嘱状交付、事業説明、予算説明、活動内容等	
7	3	火	地域密着型教育推進校連絡会① 市教委の方針、各推進校の現状と課題（分科会）	
8	23	木	地域密着型教育コーディネーター研修会② コーディネーター活動報告（根城中）等	
10	1	月	地域密着型教育推進事業説明会 事業内容、今年度の実施状況（東中学校報告）	未実施校対象
10	4	木	次年度推進校希望調査 次年度推進校 72 校の予定（新規推進校 18 校）	
12	3	月	地域密着型教育コーディネーター研修会③ 分科会における協議	
12	17	月	地域密着型教育推進校連絡会② 推進校報告（第三中）、各校の現状と課題（分科会）	
1	21	月	小中 JS・地域密着型教育実践発表会 旭ヶ丘小学校、豊崎中学校区	推進校からの実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

(2) 各推進校関係

- 新規推進校の準備会、準備委員会に担当指導主事等が出席
- 新規推進校の委嘱状交付式及び第 1 回地域学校連携協議会に、教育長、教育部次長、教育指導課長他担当職員が出席
- 全ての新規推進校で、地域学校連携協議会発足
- 各校の地域学校連携協議会に、担当指導主事が出席

6 予算からみた各校活動状況（地域密着型教育推進事業費活用校のみ）

(1) 項目ごとの予算執行状況（1月末現在）

項 目	予算額	執行額	備 考
コーディネーター謝礼	4,480,000	2,064,000	800 円/h × 活動時間（28 人分）
消耗品費	1,035,000	680,606	30,000 円 or 15,000 円（40 校分）
傷害保険料	461,000	110,680	コーディネーター 33 人 ボランティア 301 人

(2) コーディネーターの1校当たり月別平均活動時間（1月末現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
時間	0.0	9.9	11.5	9.3	6.8	10.3	11.0	11.9	11.9	9.6

(3) ボランティアの活動状況

	短期的活動		長期的活動		備 考
	40 校合計	1 校平均	40 校合計	1 校平均	
4 ～ 7 月	2,350 人	58.8 人	194 人	4.9 人	
8 ～ 12 月	902 人	22.6 人	217 人	5.4 人	
合 計	3,252 人	81.3 人	411 人	10.3 人	

(4) 消耗品による購入項目

用紙・プリンタインク・事務用品等を、予算の上限で一括購入する学校がほとんどである。

7 平成24年度の成果と課題

(1) 市教委の重点等に関する取組について

①新規推進校に対する支援の強化

○地域学校連携協議会設立までの方法やスケジュールの例を示して日程を検討したことで、保護者や地域の代表者を巻き込んで計画的に準備が進められ、各校とも順調に地域学校連携協議会が立ち上がった。

○前年度から準備に取りかかっていた学校では、1学期中に地域学校連携協議会を立ち上げることができた。

②各校の組織に対する柔軟な対応

○専門部会等の細部にわたる組織については、必ずしも必要ないこと、学校や地域の状況に応じて今後相談していけばよいことを基本方針として新規推進校と準備を進めた結果、無理なく地域学校連携協議会を立ち上げることができた。

- 各校に適した組織の提案ができるように、情報の収集を進める必要がある。

③推進校連絡会等による支援

○推進校連絡会を2回、コーディネーター研修会を3回開催したことにより、特に新規推進校にとって必要な情報を得る場となった。

- 新規校と継続校、またベテランのコーディネーターと新規のコーディネーターが同席する中で充実した研修ができるように、内容について検討する必要がある。

④その他

○地域学校連携協議会の話し合いは、取組年数の多い学校ほど充実してきているが、今後も充実に向けた手立てが必要である。

- 地域学校連携協議会を学校毎に設置する場合と学区で設置する場合のメリットとデメリットを明らかにし、今後の事業展開の見通しを立てる必要がある。

(2) 推進校連絡会で協議された内容について

①地域学校連携協議会に関して

○小中一緒に行くことによって、それぞれの成果や課題を共有できる。

- 地域学校連携協議会委員の人選について、小中の調整に苦慮している。
- 学校評価について小中一緒に行ったが、時間がかかり焦点も絞れなかった。
- 授業や学校のことを知らない人たちが集まっているので、話し合いが深まらない。発信だけでは伝わらないので、できるだけ学校に足を運んでもらう必要がある。

②コーディネーターに関して

○事業推進の上で、地域のことを良く知っている人脈のあるコーディネーターの役割が大きい。

○コーディネーターの活動のおかげで、教頭の負担が軽減されている。

- 地域とのつながり、学校とのつながり、活動の特性、活動時間等から、コーディネーターの選定に苦慮した。

③ボランティア活動について

○ボランティアによる活動で、図書室整備、環境整備、安全・安心活動等が進んだ。

- 慎重に取り組みたい。子どもの個人情報があり、トラブルの原因にもなる。
- ボランティアが増えない。同じ人がボランティア活動を行うことが多い。

④その他

○学校への来客が多くなったことで、生徒指導面の問題が減少し、教師の授業力が向上し、子どもの学力も向上した。

- 予算が少ない。特に小規模校では余裕がない。
- 地域の方々は学校のために何かしたいという気持ち強い。反面、職員が地域との結束の必要感を感じていない。多忙感を配慮して管理職としての働きかけの不足もあったかも。
- 休日の地域行事に子どもや職員の参加を求められることが多くなってきており、職員の負担等課題がある。
- ジョイントスクールとどう関連付けていくかが課題である。

(3) コーディネーター研修会等で出された内容について

○1校1人のコーディネーターの場合、相談する相手がいないので、このような研修会の機会があるのは大変よい。

- 教頭先生と打合せを密にしたいが、なかなか時間がとれない。
- 学校で使える予算が消耗品だけなので、切手代やお茶菓子等に使えない。

8 次年度の見通し

(1) 平成 25 年度の基本方針

平成 25 年度は今年度と同様の基本方針で事業を展開する。(2 ページ参照)

学校支援本部事業が継続することになったので、当該校に関しては教育指導課と社会教育課で連携して取り組むこととする。

(2) 平成 25 年度の重点

- ① 新規推進校への支援の強化
- ② 推進校連絡会等の開催による各校取組への支援
- ③ 地域学校連携協議会の充実

(3) 平成 25 年度地域密着型教育推進事業予算案 (1 校当たり)

		普通規模	小規模	本部事業	備 考
規模の基準	小学校	100 人以上	100 人未満		
	中学校	80 人以上	80 人未満		
コーディネーター謝金		160,000	0	160,000	800 円/h × 200 h
消耗品費		35,000	15,000	35,000	用紙代、インク代
保険料		各校 50 人まで	各校 15 人まで	各校 50 人まで	ボランティアの保険料 300 円/人

(4) 平成 25 年度関連行事

月	日	曜	内 容	備 考
4	25	木	地域密着型教育推進校説明会	事業推進の基本方針、事務手続き
5	22	水	地域密着型教育コーディネーター研修会①	
7	2	火	地域密着型教育推進校連絡会①	
8	23	金	地域密着型教育コーディネーター研修会②	
12	2	月	地域密着型教育コーディネーター研修会③	
12	16	月	地域密着型教育推進校連絡会②	
1	21	火	小中 JS・地域密着型教育実践発表会	推進校からの実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

2 章 平成24年度推進校報告書

1	八戸小学校	10	28	明治小学校	68
2	城下小学校	12	29	轟木小学校	72
3	吹上小学校	14	30	豊崎小学校	74
4	長者小学校	16	31	新井田小学校	76
5	図南小学校	18	32	松館小学校	78
6	中居林小学校	20	33	旭ヶ丘小学校	80
7	柏崎小学校	22	34	市野沢小学校	82
8	江陽小学校	24	35	中野小学校	84
9	青潮小学校	28	36	鳩田小学校	86
10	白銀南小学校	30	37	島守小学校	88
11	町畑小学校	32	38	第一中学校	92
12	鮫小学校	34	39	第三中学校	94
13	種差小学校	36	40	長者中学校	96
14	大久喜小学校	38	41	江陽中学校	98
15	金浜小学校	40	42	白銀南中学校	102
16	根城小学校	42	43	鮫中学校	104
17	白山台小学校	44	44	根城中学校	106
18	江南小学校	46	45	下長中学校	108
19	田面木小学校	48	46	北稜中学校	110
20	下長小学校	52	47	是川中学校	112
21	城北小学校	54	48	三条中学校	114
22	高館小学校	56	49	明治中学校	116
23	根岸小学校	58	50	豊崎中学校	118
24	日計ヶ丘小学校	60	51	大館中学校	120
25	是川小学校	62	52	東中学校	122
26	是川東小学校	64	53	中沢中学校	124
27	西園小学校	66	54	島守中学校	126

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 八戸小 学校

校長 奥山 一夫



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 6月 7日(木) 16:00～17:00 |
| | ②協議内容 | ・委嘱状交付
・自己紹介
・専門部会の今年度の活動について
・質疑応答
・その他 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 2月15日(金) 16:00～17:00 |
| | ②協議内容 | ・来年度の地域学校連携協議会の会長と委員について
・平成24年度の活動と平成25年度の展望について
・質疑応答
・その他 |

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 企画推進委員会

- ①実施回数 2回
- ②構成メンバー：PTA執行部、各専門部会長、校長、教頭、教務主任
- ③検討内容 6／7 ・各専門部の活動内容について
1／23 ・部活動サポート部会の案件「行事での部活動紹介」について
・「来年度の運動会での親子競技」について
・「来年度のふれあい文化祭・学習発表会の開催曜日」について
- (3) 専門部会 5／25 ・各専門部会 案件「今年度の事業」
7／10 ・部活動サポート部会 案件「各部の代表による問題提起」
12／20 ・部活動サポート部会 案件「外部指導者検討」について
12／20 ・各専門部会 案件「今年度の反省と来年度の展望」について
1／25 ・安全サポート部会 案件「来年度の防災訓練」について

3 具体的な取組状況

(1) 運動会で全学年親子競技

親と子の絆を深め、よい思い出を作って欲しい、という願いのもと、今年度も全学年での親子競技を継続しました。大玉転がしやボール運びなど、ほほえましい光景が沢山見られました。

(2) 七夕祭り参加

十三日町商店会からのお誘いを受け、7月2日(月)、2年生が七夕飾りを作りました。

3年生に教えてもらいながら、保護者の方々にお手伝いいただき、飾りを完成させました。

本校児童と第二中学校生徒が短冊に「自分の夢」を書きました。そして、それらが八戸七夕祭りに展示されました。



(3) 内丸山車小屋見学

学区で、山車を制作している内丸町内の山車小屋を見学させてもらったり、小太鼓の叩き方を教えてもらったりしました。その後、内丸山車組の渡邊さんから三社大祭の歴史や山車のこ

とを詳しく教えてもらいました。子ども達は、山車は三月から計画していること。人手が足りなくて困っていることに驚いていました。



(4) サマーキャンプ

7月28・29日にわたり、施設開放部会の事業として、地域の子ども会・保護者とともに体育館に宿泊しながら共同生活の体験をしました。また、地域の方を講師に招き、星を観る会も併せて開催しました。木星の縞模様もきれいに見え、子どもたちから歓声が上がりました。

(5) 三八城公民館と連携した注連飾り作り

11月12日(月)5年生が地域の皆さんから注連縄の作り方を教わりました。お正月の玄関を飾る注連飾りを自分の手で作ることを通して、新年にかけの思いや日本の伝統行事について思いを新たにすきっかけになりました。



(6) 「はっち」のクリスマスイベントに参加(吹奏楽部)

例年行っているアンサンブル発表会を、ポータルミュージアム「はっち」のクリスマスイベントに参加という形で行いました。12月15日(土)15時より、部員全員が練習の成果を発表し、多くの保護者の方々や地域の方々から拍手をいただきました。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 4人(保護者含む)※実際の活動人数は、約100名
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 4人※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の方々と子ども達がふれ合うなかでつながりが深くなりました。地域の方と知り合うことにより、「町中で出会うと子ども達からあいさつしてくれる。」とか、下校指導の皆さんからは「子ども達がいつもあいさつしてくれる。」「学校はよくがんばっている。」という声をいただいています。
- ・子どもたちは地域の皆さんの教えを素直に耳を傾け受け入れています。地域の歴史や伝統を学んだり、伝統行事等に参加したりする中で、子どもたちは自分たちの地域に誇りを持ち、将来街づくりに貢献する大人に育つであろうと思われます。

(2) 課題

- ・これまでは、各担当者が地域とのつながりを生かして、連絡を取り、計画を進めていた。これでは、各担当者の負担が大きいこと、担当者の異動による引き継ぎの問題を解消する必要があります。今後は、地域との連絡をコーディネーターに移行する必要があります。
- ・一方、コーディネーターに連絡を移行するとしても、地域のしくみをよく理解し、まずどの組織に話を通すべきかを、学校も知っておく必要があります。
- ・学校だよりや学校ブログの他にも保護者への発信方法を増やし、地域密着への周知を図る必要があります。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城下小学校

校長 成 田 昌 実



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月24日

②協議内容（箇条書きで）

a 平成24年度の計画について（月毎の計画）

b 学校評価について

c 解決すべき課題について

・プール管理人の選任について

・参観日の協議会開催について

・通学路の安全について

(2) 第2回 平成24年12月18日

(3) 第3回 平成25年2月27日

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 企画推進部会 平成24年6月4日（月）

(2) 専門部会 平成24年6月4日（月）

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ・4月～1月まで11回（ボランティア7名による本の登録や整頓、本の修復、図書室の装飾や装飾品の撤去）

(2) 読み聞かせ

- ・ボランティア7名による年間各学級10回前後の読み聞かせを実施。

(3) 卓球部の指導

- ・ボランティア2名による卓球指導4月～2月

(4) 三八城ニコニコ教室（4年）

- ・6月15日（金）三八公民館との共催で、地区老人クラブの方々と4年生がふれ合い交流を実施。

(5) 安全マップ作り(5年)

- ・10月9日(火)沼館城下振興会, 沼館城下防犯協会, 交通安全協会沼館城下支部, 5学年PTA等から20名超の方々の協力を得て実施。学区全8町内のポイントを決めてフィールドワークを行い, 「入りやすく見えにくい場所」の観点による危険箇所を見つける活動を実施。フィールドワーク終了後の質疑の時間が有意義であった。

(6) 110番の家スタンプラリー(3年)

- ・10月2日(火)沼館城下振興会, 沼館城下防犯協会, 交通安全協会沼館城下支部, 3学年PTA等の協力を得て実施。5つのポイント(協力頂ける事業所に依頼)を決めて110番の家を訪問しながらのスタンプラリーを実施。

(7) しめ飾り作り(5年)

- ・11月14日(水)三八城公民館, 寿の会の協力を得て実施。寿の会10名の方々が講師となり児童に指導。

(8) 俳句教室(5年)

- ・10月26日(月)沼館二丁目第二町内会長佐々木様を講師に迎え5年生が実施。

(9) 校外巡視活動

- ・7~12月に4回実施, PTA校外指導委員会による巡視, 沼館城下防犯協会による巡視も定期的に行われている。巡視結果はPTA会員と地域学校連携協議会委員に通知。

(10) 防犯ポスター作成(4年)

- ・11~12月に実施。沼館城下防犯協会と連携しての取り組み。1月に学区内大型ショッピングセンターに展示。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 19人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 9人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果 地域密着型教育に取り組んで三年目となり, 公民館との共催, 地域関係団体との連携, 教育ボランティアの活用や連携のための校内窓口が教頭となることで, 校内の流れがスムーズになった。教頭とコーディネーターの役割分担が昨年度より明確になり, コーディネーターにお願いできる部分が増え, コーディネーターとしての主体的な活動が出来るようになってきた。
- (2) 課題 地域密着型教育として取り組んでいる授業等の実際の活動やまとめの公開など, 地域に状況等を伝える方法を検討する必要がある。特に安全マップ作りのまとめとして作り上げたマップについては, 公開するための工夫が必要。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立吹上小学校
校長 三 笠 勝 彦



1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月12日（火）8：30～9：30
 ②協議内容 ○委嘱状交付
 ア 今年度の学校経営方針
 イ 地域密着型教育推進事業の概要について
 ウ 地域学校連携協議会委員の選任
 エ 学校評価について
 ・平成23年度の地域密着型教育推進事業の報告書
 ・平成23年度の学校評価結果と報告書
- (2) 第2回 ①実施日時 【日曜参観日】平成24年11月11日（日）
 ア 授業参観・道徳授業
 イ 学校保健委員会・参観，情報交換，アンケート記入
- (3) 第3回 ①実施日時 【参観日】平成24年12月4日（火）
 ・授業参観・各学級，情報交換，アンケート記入
- (4) 第4回 ①実施日時 平成25年1月28日（月）17：30～18：30
 ②協議内容 ア 地域密着型教育推進事業の経過報告
 イ 今年度の学校評価（児童・職員・保護者）結果について
 ウ 学校関係者評価について（意見拝聴）

2 上記以外の会議の実施状況

開催なし

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備支援

<日常的な活動>

期 日 毎週2回（月曜日・木曜日）10：00～12：00
回 数 週2回
参加人数 常時3名～5名（図書ボランティア）
内 容 図書室の整備作業（修理・整備・登録・装飾・廃棄）の実施。

(2) 環境整備支援

<校庭草取り・運動会入場門設置作業・鉄棒等へのペンキ塗り>

期 日 平成24年5月13日（日）
回 数 1回
参加人数 保護者・吹上おやじの会・児童・教職員 合計 140名程度
内 容 ・運動会に向けた校庭草取り作業（保護者・児童）の実施。
 ・入場門設置作業。 ・鉄棒，登り棒，サッカーゴールのペンキ塗り

<学校花壇の整備>

期 日 5月から11月
回 数 適時
参加人数 5～7名（保護者）
内 容 PTA環境厚生委員会による苗植えや草取り，球根植え等を実施。

(3) 学習活動支援

<ふれあいタイム>

期 日 5月～12月
回 数 火曜日に実施・年間16回
参加人数 16人程度（地域の祖父母）

- 内 容 ①おじいちゃん、おばあちゃんランド…昔の遊びを通しての児童との交流。
②読み聞かせランド…ボランティアによる読み聞かせの活動を実施。

＜総合的な学習 5年＞

期 日 平成24年7月

回 数 2回

参加人数 職員・5年児童 合計114名

- 内 容 ①(7/10)吹上山車組の山車小屋を訪問し三社大祭の歴史や山車づくりを学んだ。
②(7/20)吹上山車組のお囃子の方に来ていただき、お囃子体験をした。

＜生活科学習 2年＞

期 日 平成24年11月20日(火)

回 数 1回

参加人数 職員・2年児童 合計91名

- 内 容 学区内のお店(パークホテル、吹上公民館、血液センター、せんべい店、鮮魚店、郵便局、精肉店等)の協力を得て、各お店を訪問して仕事の内容をインタビューするとともに、学区の様子について学習した。

(4) 生活安全活動支援

＜見守り隊＞

期 日 4月～3月

回 数 不定期(都合つく時間帯)

参加人数 6～7名(地域有志)

- 内 容 学区住民有志及び吹上地区防犯協会による登下校時の巡回指導の実施。

＜巡回指導＞

期 日 平成24年7月1日

回 数 1回

参加人数 5～8名(保護者・職員)

- 内 容 PTA安全管理委員会による巡回指導(神明宮)の実施。

＜安全マップ作成＞

期 日 平成24年10月31日(フィールドワーク)、12月4日(発表会)

回 数 2回

参加人数 職員・4年児童・保護者・地域有志 計110名程度

- 内 容 PTA安全管理委員会、4学年委員会、吹上地区防犯協会、吹上交通安全協会の協力による危険箇所の確認及び安全マップの作成。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 51人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 23人

※地域密着型教育予算による保険加入者数 0人 ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 23人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の教育力・人材を活用した学習活動への支援により、体験的な活動が展開されて、学習に対する意欲や主体性が高まり、生き生きと活動する児童の姿が多く見られた。
- ・地域学校連携協議会委員の方々から、地域の情報や学校の教育活動について建設的な御意見を伺うことができ、学校運営の改善の生かすことができた。
- ・「学校支援ボランティア」のコーディネートにより、児童の学習活動やPTA活動への支援が充実し、地域に開かれた教育活動を推進することができた。

(2) 課題

- ・職員、保護者、地域の地域密着型教育に対する共通理解を深め、さらに、学校を開いていく必要がある。
- ・今後も、地域の教育力、人材を活用するための情報の共有、蓄積を推進していくとともに、教育活動への具体的な支援を呼びかけて、地域・保護者との連携を図っていく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者小学校

校長 福田 文 弘



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成24年6月1日

②協議内容

◎委嘱状交付式

- ◆今年度の学校経営方針（校長）、学校教育目標具現化全体構想の具体的な取組（教務）について説明し、ご意見をいただいた。
- ◆今年度の事業計画…学校支援部、幼保小中連携部、地域連携部の重点事項について提案（教頭）し、ご意見をいただいた。
- ◆登下校時、地域での子どもたちの様子について情報交換した。

(2) 第2回

①実施日時 平成24年8月31日

②協議内容

- ◆学校経営の経過報告（校長）をした。
- ◆学校支援部…図書支援ボランティア・読み聞かせボランティア・環境整備支援ボランティアの活動状況について、三浦コーディネーターが報告し、ご意見をいただいた。
- ◆幼保小中連携部…幼稚園・保育園訪問、J S交流会、参観授業、中学校訪問等について説明し、ご意見をいただいた。
- ◆地域連携部…青少年生活指導協議会、親善相撲大会、学校施設開放、パトロール活動等について説明し、ご意見をいただいた。

(3) 第3回

①実施日時 平成25年1月25日

②協議内容

- ◆今年度の学校教育活動の振り返りと新年度の学校経営方針について校長が報告した。
- ◆学校教育目標具現化全体構想の具体的な取組の評価結果について教務主任が報告し、今後の課題解決・改善に向けた取組について教頭が説明。その後ご意見をいただいた。
- ◆コーディネーターよりボランティア活動の報告を行った。

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会

①実施回数 1 回

②構成メンバーの概要

◆事務局、コーディネーター、各専門部長

③検討内容

◆学校支援部、幼保小中連携部、地域連携部の取組重点項目について

(2) 専門部会

◎学校支援部会

①実施回数 4 回

②構成メンバーの概要

◆事務局、コーディネーター、学校支援部長、PTA役員他

③検討内容

◆環境奉仕活動について ◆図書支援活動について
◆学習支援活動について

◎幼保小中連携部会

①実施回数 5 回

②構成メンバーの概要

◆幼保小中連携部長（本校教務主任）、長者中教務主任、図南小教務主任、長者幼稚園主任、たいなか保育園主任、他

③検討内容

◆小中連携の計画について ◆J S交流会について
◆中学校訪問について ◆幼保小合同学習会について
◆幼保小懇談会について

◎地域連携部会

①実施回数 8 回

②構成メンバーの概要

◆事務局、コーディネーター、地域連携部長、地域諸団体事務局員 他

③検討内容

◆学校施設開放事業について ◆親子スポーツ教室について
◆安全パトロール活動について ◆生徒指導情報交換会について
◆長者地区ソフトボール大会について ◆区民運動会について
◆ふれあいまつりについて ◆公民館との連携行事等について

3 具体的な取組状況

(1) 学校支援部

◆図書支援ボランティア

現在、22名の方々が図書ボランティアに登録している。毎月2～3回（火曜日を中心に）図書室の本の整理・修繕・飾りつけなどの環境整備に努めている。また、「おはなし会」（読み聞かせ）も自主的に行っている。

◆学習支援ボランティア

11月2日・6日には、5年家庭科の「ミシン掛け」補助を行った。また、11月22日には、3年総合学習で南部の語り部による昔話を聞かせた。

(2) 幼保小中連携部

◆小中ジョイントスクール交流会

11月30日に長者中学校区の6年生が中学校を訪問し、中学生と共同授業を行った。また、各校の校内研修参加や教職員の合同研修会を開催するなど、教職員間の交流も深めることができた。来年度は、図南小を会場に長者小・長者中教員による小学校授業参観を行う予定である。

◆幼保小合同学習会

2月14日には、長者幼稚園・はくさん保育園・サンフラワー保育園・たいなか保育園・福聚保育園の年長（平成25年度1年生になる園児全員）が来校し、園児と一緒に合同の学習会を実施する予定。また、給食時には全学級に園児が分かれて、全校児童と一緒に給食を食べる予定である。

(3) 地域連携部

◆生徒指導情報交換会

長者地区青少年生活指導協議会の組織を活用し、6月12日と11月9日の2回、長者小・図南小・長者中の三校合同の生徒指導情報交換会を実施した。この会では、学校、PTA（校外生活安全・交通安全母の会・広報）、町内会、防犯協会、青少協、交通安全協会、中央交番の方々が長者公民館に集まり、児童生徒の健全育成について話し合った。現在のところ、非行や問題行動等はみられず、児童生徒の挨拶も良くなって来ているということが報告された。また、交通安全や生活安全等について、引き続き学校・家庭・地域が協力して児童生徒の安全確保に努めていくことを確認しあった。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 33 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 28 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数である。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

◆地域学校連携協議会では、協議会委員の方々に学校の教育方針や現状を知っていただき、そのことについてのご意見やご指導をいただいた。地域の情報も入れながら課題解決に結び付けることができた。

◆地域学校連携協議会を設置することにより、開かれた学校づくりの推進に努めることができた。

◆コーディネーターの働きにより、図書支援ボランティアの積極的な活用を図ることができた。図書室環境の整備をしていただいたり、読み聞かせをしていただいたりしながら、児童の読書量の向上に寄与することができた。また、環境支援ということで、荷物棚の修繕・ペンキ塗り、プール更衣室棚修繕、草取り・花壇の手入れ、樹木剪定をしていただいた。さらには、学習支援として5年ミシンがけ、3年総合学習でお手伝いをいただいた。

◆地域の人材活用により、学習内容に広がりが見られ、地域の安全性の向上にもつながってきている。

(2) 課題

◆今後、長者地区各小・中学校が連携して、地域諸団体とかかわっていく必要もあるのではないかと。そのような意味では、今後ネットワークづくりを重視した地域密着型教育を考えていく必要がある。

◆長者地区各小・中学校間で、学習指導、生活指導等もこれまで以上に情報交換を密にしながら、共同歩調で進めていくことが理想である。

◆保護者や地域の方々に対して、学校の取組をより理解していただくことができるように、情報の内容を工夫するなど、情報発信の質を更に高めていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立函南小学校
校長 小 関 恵 子



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
 - ①平成24年5月20日（日）10：00～
 - ②協議内容
 - ア 会則について（改正点の説明）
 - イ 平成24年度学校経営計画について
 - ウ 今年度の事業日程計画・組織（案）の説明
 - エ 学校評価に係る取組について
- (2) 第2回
 - ①平成24年9月4日（火）14：00～
 - ②協議内容
 - ア 議事（学校目標に係る取組の状況について《学校目標に係る1学期のア
ンケート調査並びに各学級の具体的な取組の結果について》）
 - イ 授業参観しての意見・情報交換
- (3) 第3回
 - ①平成24年11月29日（木）15：00～
 - ②協議内容
 - ア 学校保健委員会に関する意見・情報交換
 - イ 授業参観しての意見・情報交換
 - ウ 今年度のボランティア活動に関する意見・情報交換
- (4) 第4回
 - ①平成25年1月24日（木）15：00～
 - ②協議内容
 - ア 学校目標に関わる評価の結果と考察
 - イ 学校関係者評価委員会からのご意見
 - ウ 25年度地域学校連携協議会事業案について

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 理事による授業参観
 - ①実施回数2回（7月と3月の参観授業に参加と意見交換）
 - ②地域学校連携協議会理事
 - ③授業参観と意見交換
- (2) ボランティアとの意見交換会
 - ①実施回数1回
 - ②地域ボランティア、地域学校連携協議会理事
 - ③今年度のボランティア活動についての意見交換

3 具体的な取組状況

- (1) 常時的なボランティア活動
 - ①部活動の指導（7名）：4月から実施
 - ・野球部、サッカー部、ミニバスケットボール部、吹奏楽部の練習及び試合の指導等を行った。
 - ②朝の読書の見守り（述べ3名）：4月12日から実施
 - ・職員朝会のある月曜日と木曜日に、朝の読書活動を見守っている。1年生への読み聞かせも実施した。
 - ③図書ボランティア（述べ6名）
 - ・毎週月曜日の午後に図書の整理・補修、古くなった本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備等を実施した。

④読み聞かせボランティア（１名）

- ・毎週水曜日の昼休みに、全校児童対象、下学年・上学年対象の本を読み聞かせした。得意の南部弁での読み聞かせなども織り交ぜながら実施した。

⑤クラブ活動の指導（述べ１２名）：４月から１２月まで実施

- ・ヒップホップダンス、お茶・花、料理、昔の遊び、手芸・工作の５つのクラブ活動での指導・支援を実施した。バザーで、お茶・花クラブの実演を行った他、ヒップホップダンスクラブによるステージ発表も実施した。

(2) 単発的なボランティア活動

①環境整備活動（資源物回収）第１回：７月７日（土）、第２回：１１月１０日（土）実施

- ・アルミ缶、新聞紙等の資源ごみを各町内から回収し、学校の玄関前に集め、市のリサイクルパートナー事業指定の業者に引き渡した。２回の活動で延べ２０名ほどのボランティアが参加した。

②学習支援（６学年親子キャンプ）７月２８日（土）～７月２９日（日）実施

- ・６学年主催の親子キャンプに延べ２０人ほどのボランティア（お父さん委員会・PTAOB）が参加し、三戸のチェリリン村でのキャンプで支援を行った。テント張り、キャンプファイヤー、名久井岳登山などのサポートを行った。

③学校行事支援（秋を楽しむ会）１１月 ９日（金）実施

- ・秋を楽しむ会で行うイモ焼きの手伝いに１０人のボランティア（保護者、地域のお年寄りの方）が参加し、火おこし等の活動を行った。

④PTA 行事支援（バザー） ９月３０日（日）実施

- ・PTA 主催のバザーに、PTAOB ２０名がボランティアとして参加し、当日までの食材の準備や当日の野菜コーナーや輪投げコーナー、餅コーナーなどで販売のサポートを行った。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | １０９人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | ３６人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校目標に係る評価に関する資料（各種アンケート調査の結果と考察、教師の自己評価等）を事前に理事に配布することで、理事会の意見交換で多数の貴重な意見や励ましをいただくことができた。
- ・ボランティアの登録と必要なボランティアの募集等を２人のコーディネーターの配置でスムーズに行うことができた。特に、図書ボランティアや読み聞かせボランティアなど新規のボランティア活動を立ち上げることができた。また、ボランティアと理事との意見交換会を開くことで、ボランティア活動の内容や要望等を直接理事に伝えることができた。
- ・PTA役員OBと現役のPTA役員の２人のコーディネーターを配置することで、保護者・地域と学校をつなぐ体制が整備された。
- ・参観授業を通して児童の変容を直接見ていただくことができた。また、学校評価に関わる意見を定期的にいただくことができた。
- ・今年度から実施した学校保健委員会に理事の方々も参加してもらい意見・要望をいただいた。評価・改善に役立った。

(2) 課題

- ・教育活動の中で、ボランティアを活用する機会が増え昨年度と比べると教職員への周知や共通理解も図られてきている。ただ、内容についてボランティアと事前に話し合う時間等が十分とれていない。時間と場所の設定が課題である。
- ・地域密着型教育と小中ジョイントスクール推進事業との相互の関連が図れないか検討していきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中居林小学校

校長 畑 川 慶 行 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年 6 月 20 日（水） 18：00～19：00 |
| | ②協議内容 | 推進委員会の今後の活動計画について
今年度の中居林小の経営の重点について |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成24年 12 月 5 日（水） 18：00～19：00 |
| | ②協議内容 | 各団体のこれまでの活動について
今後の方向性について
各団体間でもっと連携できる部分はないかについて |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成25年 1 月 22 日（火） 18：00～19：00 |
| | ②協議内容 | 各団体のこれまでの活動について
中小グリーンの活動状況について
学校関係者評価について
中居林小学校の教育の概要について |

2 具体的な取組状況（～1月末）

- | | | | | |
|--|---------|-----|------|--|
| (1) 学習活動支援（授業全般への支援，補充指導，調理実習補助，校外活動引率・引率補助） | | | | |
| ・算数学習補助 | 通 年 | 33日 | 171名 | |
| ・安全マップづくり | 6／11・22 | 2日 | 14名 | |
| ・りんごジャムづくり | 10／ 5 | 1日 | 5名 | |
| ・マラソン大会メダルづくり | 10／23 | 1日 | 1名 | |
| ・やきいも会 | 11／ 8 | 1日 | 12名 | |
| ・学区探検 | 11／15 | 1日 | 10名 | |
| ・きな粉づくり | 11／22 | 1日 | 5名 | |
| ・もちつき大会 | 11／22 | 1日 | 14名 | |

(2) 図書活動支援（読み聞かせ，紙芝居，図書室整備，図書貸し出し・返却作業）

・ 図書室環境整備	通 年	4 8 日	1 4 5 名
・ 読み聞かせ	月 1 ～ 2 回	1 1 日	2 1 名

(3) 生活安全活動（登下校時の安全，交通安全巡視，風水害時の集団下校児童見守り）

・ 登下校時の安全	通 年	1 5 2 日	9 6 0 名
-----------	-----	---------	---------

(4) 環境整備活動（校舎内外の環境整備）

・ 学校菜園整備	5 / 2 5	1 日	2 名
・ 野草園草取り	1 0 / 2 5	1 日	8 名

3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 5 5 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 2 7 人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ボランティアの活用により，子どもたちの学習意欲が高まってきている。また，ボランティアのもっている専門的な知識に触れさせることができた。
- 子どもたちとボランティアとの交流が生まれたり，感謝したりされたりすることによってお互いに満足感が得られている。

(2) 課題

- 同じボランティアに仕事が一偏りがちな面があるので，これからも広報紙の発行などにより，地域の方々の啓発を図っていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立柏崎小学校
校長 上 條 秀 信



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（1）第1回（第三中学校と合同開催）

- ①実施日時 平成24年5月23日（水）18:00～
- ②協議内容
 - ・今年度の学校目標並びに重点施策について
 - ・専門部会の今年度の取組について
 - ・その他

（2）第2回

- ①実施日時 平成24年12月10日（月）18:00～
- ②協議内容
 - ・学校関係者評価（児童・保護者アンケート）結果の報告と協議
 - ・地域・家庭・学校の連携について
 - ・その他

（3）第3回（第三中学校と合同開催）

- ①実施日時 平成25年2月6日（水）18:00～
- ②協議内容
 - ・今年度の取組について
 - ・学校運営について
 - ・小・中の共通課題について

2 上記以外の会議の実施状況

※今年度、諸事情により例年行っている企画会・安全安心防犯パトロールボランティア組織会はありません。必要に応じて関係者間で連絡を取り合い活動を進めました。

3 具体的な取組状況

（1）教育活動部会

①ボランティアによる夏休み学習会

- ・7/25～7/27 午前・午後の部に分けて実施 柏崎小学校図書室利用
- ボランティア人数 八戸東高校生：のべ68人 地域・保護者：のべ34人
- 参加児童数 のべ242人

②読み聞かせ「かしわお話のたまご」

- ・毎月2回の朝の読み聞かせ活動実施（上学年・下学年対象） のべ115人
- ・図書通信の発行 1回
- ・入学おめでとう読み聞かせ会 5/24 8人

③授業支援

- ・1年・2年スケート教室指導とひも結び ひも結び34人
- ・2学年 生活科幼保小交流活動（おまつりひろば）1回 6人
- ・2学年 生活科（校外学習）1回 12人
- ・2学年 生活科（烏帽子制作）7回 1人
- ・3学年 総合（学区探検）1回 19人
- ・4学年 自転車教室（こどもの国）
- ・5学年 総合（安全マップ作り）2回 20人

④クラブ活動ゲストティーチャー 茶道クラブ 2人

⑤部活動指導 相撲部1人 バトン部1人 吹奏楽部1人

部活動の見守り（野球、相撲、男女ミニバス、バトン、吹奏楽、合唱）

4月から1月までのべ 905人

⑦教材園の土おこし 5/18 3人

（2）環境整備部会

①図書室整備：毎月2回 92人

②草取り奉仕作業 5/26 保護者・地域124人 教職員25人 児童184人

③窓磨き 10/29 保護者

④ぶどうの木の剪定等 12/29

(3) 安全安心部会

- ① 集団下校指導 4 / 16 地域関係機関・町内会役員・保護者 45人
- ② 夏休みプール監視 7 / 23 ~ 8 / 21 のべ 120人
- ③ PTA 防犯ボランティア 登録者 8人
- ④ 柏崎地区安全安心パトロール (青色回転灯車)
- ⑤ 防犯協会パトロール
- ⑥ 類家防犯協会パトロール
- ⑦ 柏崎地区交通指導隊

(4) 交流連携部会

- ① 校外子ども会 7 / 18 (29名) 12 / 14 (25人)
- ② 柏崎地区区民運動会 9 / 2
- ③ PTA 主催第33回合同演奏会 1 / 19
 - ・ 吹奏楽部・合唱部・バトン部・6年生合唱のステージ演奏、運動部映像発表
 - 第三中学校吹奏楽部賛助出演
 - ・ 多数の保護者・父親の会、全教職員の協力

(5) ボランティアの集い 2 / 14

- ① 各ボランティアによる情報交換 地域・保護者 49名参加
- ② 給食試食会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 162人 (保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 23人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ◎ 地域や保護者の方が学校の教育方針や重点、現状や課題を理解し、協力的に活動している。
- ① 「ボランティアによる夏休み学習会」と公民館こども講座「楽しい音読と読み聞かせ教室」
 - ・ 7月25日から27日までの3日間、本校の図書室を会場に行われた「ボランティアによる夏休み学習会」は、八戸東高校生 (のべ68人) の協力もいただき、地域・保護者ボランティア (のべ34人) による運営で、242人の児童が楽しく学習した。分からない問題を高校生に聞いたり、学習会の最後には「表現科」の生徒よりダンスも教えてもらうことができた。また、同じ日の午前中に、公民館こども講座「楽しい音読と読み聞かせ教室」が開かれ、本校の重点指導事項である「読書」について興味・関心を高めることができた。午前から午後まで続けて参加する児童も多く見られ、児童にとって夏休みの大切な思い出となったようである。
 - ◇ 本校の重点指導事項に「読書」があることを理解いただいた本校の地域学校連携協議会理事の築瀬公民館長のお計らいで、「図書室」・「音読と読み聞かせ」・「学習会」・「高校生」・「保護者・地域」が有機的に結びつき、子どもにとって有意義な活動となった。
- ② 部活動の見守りボランティアと個別指導時間の確保
 - ・ 本校職員が16時から16時30分まで児童の個別指導を行うために、その時間を保護者に部活動の見守りをしていただいた。
 - ◇ 本校児童の中には個別の指導を必要としている児童が少なからずおり、指導の時間確保に苦慮してきた。保護者やボランティアの理解を得て、放課後の30分を確保できたおかげで、学級担任はもちろん担任以外の教員も協力して個別指導に当たることができた。少しではあるが「わからない」で困っている児童の一助となった。

(2) 課題

- ① 公民館や地区青少年生活指導協議会が主催する行事、地区の祭り等に子どもたちの参加を学校からも呼びかけるが、保護者の理解が得られないのか、参加人数はあまり増えていない。地域の中で育つ子どもたちについて、健全育成の視点から学校に何ができるか考えていく必要がある。
- ② 「学校」・「保護者」・「地域」のそれぞれが抱える課題を話し合い、解決の方向性を見付け出していくために、もう一度それぞれの役割を自覚しつつ、お互いを理解する姿勢を大切にしていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江陽小学校

校長 佐々木 正仁



1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

- ① 実施日時 平成24年5月25日(金)
- ② 協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・会長・副会長の指名
 - ・会則審議
 - ・昨年度の協議会活動報告
 - ・昨年度の学校経営・学校運営報告(両校長)
 - ・今年度の学校経営・学校運営方針の説明(両校長)
 - ・今年度の協議会活動計画
 - ・質疑応答

(2) 第2回

- ① 実施日時 平成24年6月1日(金)
- ② 協議内容
 - ・専門部会の報告
 - ・主催事業の検討

(3) 第3回

- ① 実施日時 平成24年11月29日(木)
- ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・運営及び活動について(両校長)
 - ・質疑応答
 - ・情報交換
 - ・学校評価の依頼

(4) 第4回

- ① 実施日時 平成25年2月26日(火) (予定)
- ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・運営及び事業報告(両校長)
 - ・来年度の学校経営・運営及び事業(両校長)
 - ・来年度の地域学校連携協議会会議の日程

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 地域づくり会議専門部会 実施回数 1回(平成24年5月25日)

①構成メンバーの概要

・江陽町内連合会長・各専門部長・江陽地域各種団体長・両校の職員・両校のPTA役員

②協議内容

・地域密着型教育の趣旨説明

・専門部会ごとの今年度の事業計画で提案された事業や教育活動について、地域や学校の課題、要望、教育活動の提案がなされた。

3 具体的な取組状況

(1) 地域ボランティアの活用

①交通安全見守り隊の方々による朝・夕の立哨と巡回

※日常

約20名

・児童の安全確保のために毎日交差点で街頭指導をいただいている。



②公民館主催の地域ボランティア「心の旅人塾」の方々による交通安全教室での街頭指導(4月16日)と運動会(5月20日)での用具係の協力 約10名
・今年度は、できるだけ学校行事への参加と協力をお願いしている。



③プール管理人さんによる学年畑への作物づくり及び収穫までの支援(5月～11月)【10回以上】
(ジャガイモ・サツマイモ・大豆・大根・えだまめ等)
・低学年の生活科授業での支援をお願いしている。



④地域活性化のために運動会(5月20日)に江陽音頭を導入して3年目【指導5回】 婦人会2名
・今年も協力を頂き、地域活性化にも繋がっている。

⑤3年生の総合的な学習の時間の「江陽小の秘密を探ろう」では、地域の方を招き、調べ学習を行った。(6月17日)
6名



⑥図書ボランティアによる活動【11回】

・読み聞かせと図書の分別・修理(9月～2月) 6名

⑦地域の方々による学校敷地周辺の除草作業及びゴミ清掃作業(10月24日) 7名

⑧地域ボランティアによるクラブ活動【通年11回】

・裂き織り指導者

2名



(2) 地域の取り組みに参加

＜地域行事＞

- ①森のおとぎ会参加 6年児童2名朗読(7月28日)
- ②江陽地区盆踊り児童参加 (8月18日)
- ③江陽地区スポーツ交流大会参加 (9月9日)
- ④公民館祭りへの参加・作品展示(10月13・14日)

・本校音楽部の演奏発表

＜ボランティア活動＞

- ①親子で山公園清掃・草刈り活動(江陽緑地公園)
(7月22日 1回)

・児童・保護者及び中学生約180名が参加

- ②交通安全マスコットとメッセージ封筒配布活動
(10月12日)

・ラピア前で小中野交番職員・交通安全母の会と一緒に
約20名が参加し、地域交通安全の呼びかけを実施

＜地域への発信＞

- ①小中学校合同地域あいさつ運動 ※登校時
(10月10日～10月12日)

・計画委員会・生活委員会と中学生が小中学生や地域の方々に、さわやかで元気なあいさつを呼びかけた。



(3) 開かれた学校を目指す

- ①学校関係者評価委員(地域学校連携協議会委員)との連携

・学校行事の案内・参観日での授業参観(通年)

- ②保護者参観日等で保護者アンケート実施(6月17日)

- ③招待給食による地域の皆様との交流会

(11月30日 37名招待)

・日頃、学校でお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えるために各学級で感謝のセレモニーを行い、楽しく食事をしながら、交流を深めることができた。今年度は、本校創立60周年であり、招待者もいつもより多く参加していただいた。



4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 現在登録15人 (保護者含む)

- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 5人

※中学校で加入済み

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成 果

- ①保護者や地域の方々の協力・支援により、学習活動、環境整備、地域交流等、連携が進められており、事業内容が充実してきている。
- ②地域の教育力活用を図るために、今年度はコーディネーターと連携し、図書ボランティアを募集した。その結果、読み聞かせ活動や図書の修繕・環境整備など子どもたちの学びを深める支援活動の充実につなげることができた。
- ③地域の方々から江陽地区の昔の様子などを聞く機会や接する場面が増え、子どもたちが江陽の一員という自覚と責任感が芽生えており、学習意欲の向上にも結びついてきている。
- ④昨年度の課題であった子どもたちの挨拶も地域での声かけもあり、明るい元気な挨拶ができる子どもたちが増えてきた。
- ⑤地域学校連携協議会等で、地域を良くしていこうとする思いや意見が多く寄せられるようになり、「地域で子どもを育てる」学校づくりの意識が高まってきている。

(2) 課 題

- 中学校区での連携を図るために、地域密着型教育の推進状況、情報の共有等を今後も小中で話し合いながら事業の充実に努めていきたい。
- 地域学校連携協議会では、委員の方々から多数のご意見をいただくことができたので、地域の願いをなるべく受け入れながら、今後も子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを保証していけるよう努力していきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立青潮小学校

校長 石 田 規 代



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年6月18日(月)午後6時30分から |
| | ②協議内容 | ア 委嘱状交付
イ 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長指名, 挨拶 ・学校経営方針, 今年度の教育活動計画等説明 ・学校評価計画説明, 審議 ・地域学校連携協議会組織・年間計画審議 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成24年11月30日(金)5時間目授業参観
午後3時10分から地域学校連携協議会 |
| | ②協議内容 | ア 今年度の教育活動の実施状況説明
イ 1学期末学校関係者アンケート結果及び学校評価計画説明
ウ 2学期の教育支援ボランティア活動の実施状況説明 |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成25年1月28日(月)午後6時から |
| | ②協議内容 | ア 今年度の教育活動の実施状況及び学力検査結果説明
イ 学校評価結果説明及び学校関係者評価
ウ 平成24年度学校運営基本方針及び年間行事予定について
エ 教育支援ボランティア活動の実施状況説明 |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会 ①実施回数 1 回
②構成メンバーの概要 教頭 コーディネーター ボランティア登録者
③検討内容 ア 地域密着型教育の方針及び活動内容について
イ 学校支援ボランティア活動計画説明について
ウ 学校図書館支援ボランティア活動の進め方について

3 具体的な取組状況

- | | | | | |
|------------|-----------|------------------|---------------------|---|
| (1) 教育環境整備 | | | | |
| ア | 図書整備 | 10月3日 | 11月27日 | 12月4日 1月16日 1月29日
多目的ホール図書整備作業及び図書室掲示整備活動（のべ35人） |
| イ | プール清掃 | 6月 | 3日（25名） | プール清掃作業 |
| ウ | 除草・側溝泥あげ | 5月12日 | （380名 内児童230名）除草作業等 | |
| エ | 窓ガラス清掃 | 10月19日、20日、11月6日 | （のべ14名）玄関、廊下窓ガラス清掃 | |
| オ | 花苗植え付け | 10月25日 | （4名）プランター花苗植え付け作業支援 | |
| カ | 体育館ワックス清掃 | 11月 | 3日（10名） | 体育館フロアワックスがけ |

(2) 教育活動支援

- ア 1年給食配膳支援 4月13日, 16日, 17日 (のべ24名) 1年給食配膳, 後始末支援
- イ 青潮音頭指導 5月 7日, 8日 (のべ8名) 青潮音頭踊り方の指導
- ウ あさがお植え支援 5月22日 (10名) 1年あさがおの植え付け学習支援
- エ ふれあい指導支援 9月 3日 (12名) 1年飼育動物ふれあい指導学習支援
- オ 町探検活動支援 9月11日 (7名) 2年生活科「町探検」学習支援
- カ 1年校外学習支援 10月25日 (8名) 1年八戸公園での校外学習支援
- キ 絵本読み聞かせ 11月27日, 2月14日, 3月7日 (のべ12名) 絵本読み聞かせ活動
- ク スケート指導 11月28日 (1名) 1年スケート技術指導
- ケ 集団下校指導支援 7月17日, 12月17日 (のべ70名) 集団下校指導支援
- コ 学区巡視活動 毎月2回程度, 木曜日午後6時30分から (のべ100名)
- サ 部活動見守り, 外部指導者指導 部活動開催日 (外部指導者登録状況16名)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 31人 (保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人 (PTA 安全互助会賛助会員で対応)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 地域学校連携協議会を設立し, 学校運営方針や教育活動の状況を説明する機会が明確になり, それに対する意見や要望などについて協議する場が確立した。また, 学校関係者評価委員会の機能との融合を図り, 学校評価と連動した取組を充実させることができた。
- ② コーディネーター2人体制の効果によりPTA会員以外の方々のボランティア登録者の拡充ができた。そのため地域の活動として学校支援活動が活発に行われるようになってきた。学校図書館の環境整備や読み聞かせ等を中核に参加した方々の交流の輪が広がるとともに, 学校に対する理解が深まった。
- ③ 昨年度よりも学習支援活動の広がりが見られた。特に, 低学年児童の学習支援や校外学習での安全を守る支援において効果が大きかった。教職員の教育支援ボランティア活動への理解が深まり, 積極的な活用への意識が高まった。
- ④ 学校創立50周年を節目とした環境整備活動等で保護者を中心にした支援が活発に行われ, 学校・保護者・地域の連携への取組について啓発を図る機会となった。

(2) 課題

- ① 教育支援ボランティア活動を充実させるために2名のコーディネーター体制としたが, 計画された活動時数を超えてしまう傾向にあり, 年間を見通して計画的に活動を進めて行く必要がある。
- ② 地域学校連携協議会の機能をより充実させ見通しをもったものにするために, 協議題の吟味を含め, 事前の資料提供や会長・副会長との打ち合わせなど内容面での取組を工夫していく必要がある。
- ③ 2つの中学校区との連携を図るために, 地域密着型教育のねらいや推進状況など, 情報提供を今後も積極的に行っていく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南小学校

校長 天 内 享 二 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月28日（月）

②協議内容

- ・会則の承認
- ・会長，副会長の指名，挨拶
- ・年間計画について
- ・行政説明
- ・小・中学校からの説明（経営方針）
- ・質疑応答，要望，意見等

(2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月3日（月）

②協議内容

- ・学校自己評価の結果報告
- ・地域からの情報等

(3) 第3回 ①実施日時 平成25年3月中旬（予定）

②協議内容

- ・平成24年度学校評価報告
- ・平成24年度活動報告
- ・次年度の年間計画

2 具体的な取組状況

(1)安全・安心支援

- | | | | |
|----------|-----------------------|-------|-----|
| ・見守り隊 | 安協支部，地区有志による登下校時の見守り | 登校日 | 約8名 |
| ・防犯パトロール | 安協支部，地区有志による登下校時の見守り | 週2回程度 | 約2名 |
| ・HELP活動 | 子ども女性110番の家の表示，張り替え | 7月 | 約8名 |
| | お世話になった地域の方々に感謝の手紙を出す | 2月 | |

(2)環境整備支援

- | | | | |
|---------|--|-----|----|
| ・卓球台の修理 | | 12月 | 1名 |
|---------|--|-----|----|

(3) 情報共有支援

- ・すこやかみなみネット情報交換会 地域関係者が一堂に会しての情報交換会 7月, 12月
約70～80名

(4) 教育活動支援

- ・はげみ学習 毎週月曜日朝子どもの学習を見守り, 励ましの声かけ, 丸付け 5～3月 4名
- ・えんぶり指導 3年生が大久保えんぶり組の親方を招いて学習会 8～9月 1名
- ・ホタルの学習 4年生が白銀南公民館館長を招いて学習会 6月 1名
- ・相撲指導 白銀地区相撲大会に向け, 地域の方から心技体の指導 8月 1名
- ・読み聞かせ 朝の読書タイムで, 保護者による読み聞かせ 6, 7月 4名
- ・「八幡馬」指導 1, 2年生が老人クラブの方々から運動会の踊りの指導 5月 11名
- ・全校朝会での講話 「健康な体づくりのために」すこやかみなみネット会長 9月 1名
「スポーツをとおして伝えたいこと」地域の体育指導者 11月 1名
- ・運動会入場門設置, 撤去 おやんずの会 5月 8名
- ・部活動指導 運動部, 吹奏楽部の技術指導 通年 10名

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 29人 (保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 4人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の方々とのふれあいがより広がった。
- ・教育活動支援が充実した。
- ・学習意欲が高まった。

(2) 課題

- ・教職員への周知や共通理解
- ・情報の収集と発信
- ・コーディネーターの活用

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立町畑小学校

校長 工 藤 啓 一



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①平成24年8月29日（木）午後6時30分
 ②協議内容 ○委嘱状交付
 ○行政説明
 ○会則の承認、会長・副会長指名
 ○学校経営方針について
 ○今年度の組織・計画について
- (2) 第2回 ①平成25年1月28日（月）午後6時00分
 ②協議内容 ○地域密着型教育の推進状況報告及び情報交換
 ○地域密着型教育の総括（成果と課題、次年度の見通し）
 ○学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備会 ①実施回数 1回（5／14）
 ②構成メンバーの概要
 工藤校長・大矢教頭・教育指導課 嘉瀬副参事・花生指導主事
 ③検討内容
 ・地域密着型教育の方針審議・指導
 ・会則、組織、委員等の原案審議・指導
- (2) 準備委員会 ①実施回数 1回（6／20）
 ②構成メンバーの概要
 細越連合町内会長・松原PTA会長・工藤校長・大矢教頭・
 教育指導課 嘉瀬副参事・花生指導主事
 ③検討内容
 ・地域密着型教育の方針、会則、組織、委員等の説明

3 具体的な取組状況

- (1) 教育活動部
 《読み聞かせ活動》
 ボランティアの方1名が、年間を通して週1回各学級を回って読み聞かせを行っている。
- 《学習支援活動》
 ○ 9／25…5年生写生会引率補助（館鼻漁港）ボランティア2名参加
 ○ 9／26…2年生校外学習引率補助（学区内）ボランティア5名参加
 ○ 11／ 8…1年生焼きいも会活動補助（校庭）ボランティア10名参加
 ○ 12／13…5年生家庭科調理実習活動補助（家庭科室）ボランティア3名参加
 ○ 1／16…低学年スケート教室滑走補助（新井田）ボランティア11名参加
 ○ 1／23…1年生生活科昔の遊び講師（体育館）ボランティア（長寿会）8名参加
 ○ 1／31…5年生総合的な学習の時間市内自主見学活動補助
 （蕪島、はっち、根城、マリエント）ボランティア3名参加

○ 2 月数回 … 5 年生家庭科ミシン学習活動補助ボランティア 6 名参加
(事前講習会 1 / 2 2 保護者 4 名参加 1 / 3 0 保護者 4 名参加)

《部活動指導支援活動》

バレーボール部、サッカー部において各 1 名のボランティアがコーチとして練習に参加し、児童の指導にあたっている。

(2) 安全安心活動部

《朝の立哨活動》

全保護者が、年間を通して交替で通学路の危険な場所 2 カ所に立ち、子どもたちの安全確保に努めている。

《防犯パトロール活動》

P T A の父親委員会が、東地区青少年生活指導協議会と協力して、夏季・冬季の長期休業中に夜間の巡視を行っている。

(3) 環境整備活動部

《ベルマーク収集活動》

P T A のベルマーク委員会が、全保護者に呼びかけてベルマークの収集・集計作業を行い、教育活動に必要なものを購入している。

《奉仕活動》

P T A の母親委員会が、1 1 / 7 と 1 1 / 9 の 2 回に分けて花壇の整備を行い、来年度に向けてチューリップの球根を植えた。

4 ボランティアの状況

- | | |
|-----------------------|---------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 4 1 人 (保護者含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 3 人 |
| ※地域密着型教育予算による保険加入者数 | 3 人 |
| ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 | 0 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ・年度途中であったが、地域密着型教育を取り入れることにより、今までの様々な教育活動を地域、保護者との連携という視点で整理することができ、今まで以上に充実した活動にすることができた。
 - ・地域学校連携協議会による学校関係者評価を実施したことにより、学校が抱える課題や児童の実態や変容について共有できた。また、学校外での児童の実態や地域、保護者の立場からの意見など、幅広い視点から意見交換できる場ができた。
- (2) 課題
- ・今年度は地域学校連携協議会を年度途中で立ち上げることになったため、9 月以降の今までの教育活動を地域、保護者との連携という視点から整理しながら無理の無いように進めてきた。来年度は、未実施の前期分の活動も整理するとともに、年間を見通した計画を立てていく必要がある。
 - ・今後も地域関係団体、P T A、教職員による共通理解を図るとともに、地域密着型教育で実施したことなどについて広く情報発信し、活動の充実を図る必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鯨小学校

校長 伊 藤 恵 子 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | | |
|---------|-------|--|--------|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年10月10日（水） | 18:00～ |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・委嘱状交付・地域密着型教育について（行政説明）・会則について・会長，副会長の指名・鯨小・中学校の学校教育方針について・今年度の組織，計画について | |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成25年1月25日（金） | 18:00～ |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・学校評価に関する説明及び審議 | |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成25年3月 | |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・今年度の成果と課題の説明及び審議・来年度の教育計画についての説明 | |

2 上記以外の会議の実施状況

- | | | | |
|----------|------------|--|---------------|
| (1) 打合せ会 | ①実施回数 | 1回 | 平成24年6月22日（金） |
| | ②構成メンバーの概要 | <ul style="list-style-type: none">・小・中学校のコーディネーター・教頭 | |
| | ③検討内容 | <ul style="list-style-type: none">・年間スケジュールについて・具体的な取組について | |
| (2) 準備会 | ①実施回数 | 1回 | 平成24年7月19日（木） |
| | ②構成メンバーの概要 | <ul style="list-style-type: none">小・中学校の学校評価委員，幼・保園長，嘉瀬副参事，木村指導主事小・中学校のPTA会長・コーディネーター・校長・教頭 | |
| | ③検討内容 | <ul style="list-style-type: none">・地域密着型教育の方針審議 | |

- ・年間スケジュール作成
- ・地域学校連携協議会メンバーの検討
- ・中学校の新たな取り組みについて

(3) 準備委員会 ①実施回数 1回 平成24年9月27日(木)

②構成メンバーの概要

地域学校連携協議会会長・副会長候補者、嘉瀬副参事、木村指導主事
小・中学校のPTA会長・コーディネーター・校長・教頭

③検討内容

- ・地域密着型教育推進事業についての説明
- ・地域密着型教育推進事業の今年度進捗状況
- ・地域学校連携協議会会員の選考

3 具体的な取組状況

- (1) 今年度10月に地域学校連携協議会を立ち上げたばかりなので、具体的な新たな取組事項はない。ただし、本校ではこれまで、運動会に向けての早朝奉仕作業・本の読み聞かせ・図書室整備・環境整備・種差植物観察・蕪島清掃・スケート滑走指導など、多くの行事を保護者や地域の方々の協力を得て実施してきている。地域学校連携協議会を立ち上げたことで、これらの行事について地域の方々と共通理解ができ、来年度からの活動に向けて道筋がはっきりしてきたのでよりしっかりした活動にしていきたい。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-----|
| (1) ボランティア登録現在数 | 18人 |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学習支援や環境整備など地域との連携が進められ、計画的に実施できるようになった。
- ・保護者や地域の方が来校するため、学校の様子を知るよい機会となっている。

(2) 課題

- ・今年度は、地域学校連携協議会を立ち上げることを目標としたので、すでに活動中の教育支援ボランティア以外の募集はできなかった。今後は、地域密着型教育や現在取り組んでいる事業について周知していく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立種差小学校

校長 新 館 勝 紀



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月29日（火）
 ②協議内容
- ・種差小学校「地域学校連携協議会」の会則審議
 - ・会長・副会長の指名、あいさつ
 - ・種差小学校の学校経営方針・重点施策等説明
 - ・年間スケジュール等説明
 - ・質疑
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年11月30日（金）
 ②協議内容
- ・前期学校評価（アンケート）の集計結果について説明
 - ・前期学校評価（アンケート）の集計結果について審議
 - ・今後の部活動について
 - ・学校行事における祝金の取り扱いについて
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年1月28日（月）
 ②協議内容
- ・後期学校評価（アンケート）の集計結果について説明
 - ・後期学校評価（アンケート）の集計結果について審議
 - ・次年度の予定に関する説明及び審議
 - ・次年度の学級編成について説明
 - ・学校行事における祝金の取り扱いについて

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備委員会 なし
(2) 企画推進部会 なし
(3) 専門部会 なし

3 具体的な取組状況

- (1) 学習支援
 ①運動部指導 野球部 1名、ソフトボール部 1名
- (2) 環境整備

①校外環境整備 3回 のべ60名

②校舎内環境整備 1回 25名

③資源回収 3回 のべ90名

(3) 校外安全指導

①下校時街頭指導 通年 12名

②交通安全教室 4月16日 3名 保護者5名

③防犯教室 6月21日 1名

(4) 連携行事

①オオハンゴンソウ駆除活動 6月4日

・八戸森林組合員を講師に、外来植物であるオオハンゴンソウ駆除を行う。

②南浜スポーツ大会 7月22日

・南浜青少協と連携して、グランドゴルフとフリスビーゴルフを種差少年自然の家で実施。

③敬老の集い 9月13日

・種差連合老人クラブの方に講師になっていただき、昔遊びを通して交流を深める。

④東幸園交流餅つき会 11月27日

・東幸園の方と餅つきやゲームを通して交流を深める。

⑤南浜防犯レクリエーション 12月16日

・南浜防犯協会と連携して、ミニ運動会を種差少年自然の家で実施。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 12人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・広く地域諸団体から理事になっていただいたことで、各組織間の連携や情報の共有が図られるようになった。
- ・種差の豊かな自然・文化・施設等を活用した種差らしい教育活動が今まで以上に展開できるようになった。
- ・学校目標の達成に向けた取り組みに対して、地域の理解と協力が得やすくなった。

(2) 課題

- ・学習支援等いろいろな分野のボランティアを募ること。
- ・児童の日常の様子を知っていただくために、授業参観や学校行事への参加を地域に広く呼びかけること。
- ・南浜ジョイントスクール推進事業と地域学校連携協議会との連携を密にして、相互の事業を円滑に進めること。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大久喜小学校

校長 石 村 光 也



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成24年11月19日（月）
 - ②協議内容
 - ・「大久喜小学校地域学校連携協議会」会則審議
 - ・会長・副会長の指名、あいさつ
 - ・大久喜小学校経営方針・重点施策等の説明
 - ・年間スケジュール等の説明
 - ・情報交換（児童の様子について）
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成25年1月30日（水）
 - ②協議内容
 - ・学校評価アンケートの結果について説明
 - ・学校評価アンケートの結果について審議
 - ・次年度の予定に関する説明・審議
 - ・情報交換

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会
- ①実施回数 2回
 - ②構成メンバーの概要
 - ・小学校区諸団体長4名（大久喜・法師浜町内会長、婦人会会長、保健推進員）
保護者代表1名（PTA会長）、学校代表2名（校長・教頭）、指導主事2名
 - ③検討内容
 - ・会則・組織の原案審議
 - ・協議会理事の選考
 - ・今後の日程
 - ・第1回地域学校連携協議会の次第及び内容

3 具体的な取組状況

本校はこれまで様々な教育活動を、漁業生産部会・婦人会・町内会等の諸団体や保護者・地域住民の協力を得て実施してきた。今年度11月に地域学校連携協議会を立ち上げ、これまでと同様、諸団体や保護者・地域住民との連携を基本に取組を実施している。

取組		期日	参加者	主な内容
学習支援	ホッキ貝採り	4.18(水)	漁業生産部会(5名)	大久喜漁港でホッキ貝採り
	しおかぜ遠足	6.19(火)	漁業生産部会 保護者(計12名)	漁業生産部会の小屋でウニの殻剥き 体験学習
	浜小屋学習	5.24 6.14 8.30 9.13 10.4	漁業民族保存会 (延べ20名)	重要有形民俗文化財「浜小屋」につ いて学習
行事支援	運動会	5.20(日)	おやじの会(8名)	用具の準備・片付け
	南浜スポーツ大会	7.22(日)	南浜青少協(4名) 南浜J S(22名)	南浜地区4校の小中学生がグランドゴルフとフ リスビーゴルフを種差少年自然の家で実施
	南浜鑑賞教室	9.5(水)	地域住民、保護者(49名)	青森県警察音楽隊の演奏
	教育講演会	9.23(日)	保護者(45名)	給食センター栄養士による講演
	大久喜のつどい	11.22(木)	婦人会・地域住民・保護者(70名)	餅つき、豚汁作り、会食
	南浜防犯レクリエーション大会	12.16(日)	防犯協会(6名) 南浜J S(16名)	南浜地区3校の小学校児童がミニ運 動会を種差少年自然の家で実施
安全指導	交通安全教室	4.13(金)	交通安全委員会 交通指導隊(計13名)	自転車の乗り方・歩行指導
	登校指導	4.10～17 8.22～27 1.11～17	交通安全委員会 1学年保護者 南浜交通指導隊 (延べ60名)	登校時の交通安全指導
環境整備	早朝奉仕作業	5.13(日)	保護者(52名)	草刈り、窓拭き、教室床の汚れ落とし
	海岸清掃	6.11(月) 9.4(火)	厚生委員会・保護者 (延べ31名)	大久喜海岸のゴミ拾い、漁港トイレ清掃

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・年間を通して行われる多様な活動が安全に実施できた。
- ・学校への来校者が増え、学校の教育活動や児童の健全育成への理解が深まり、これまで以上に支援・協力が得られた。
- ・地域学校連携協議会の理事が学校関係者評価委員も兼ねることにより、様々な立場からの意見を聞くことができ、教育活動の改善につなげることができた。

(2) 課題

- ・地域住民からも広く意見を求め、活動内容や組織を検討していくなど、地域との連携を一層強化していくことが必要である。
- ・中学校区内の各校の取組について情報交換し合うなど取組の連携を検討していく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立金浜小学校
校長 三和 雅子



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成24年 5月29日（火） 18:30～19:30

②協議内容

- ・理事委嘱状交付式
- ・会則審議
- ・会長・副会長指名
- ・会長・副会長あいさつ
- ・学校経営及び運営方針等説明
- ・組織・年間スケジュール等
- ・質疑

(2) 第2回

①実施日時 平成24年12月11日（火） 18:30～19:30

②協議内容

- ・学校の現状と課題について説明
- ・学校目標に係る自校評価結果の説明
- ・平成25年度の予定について説明
- ・質疑

(3) 第3回

①実施日時 平成25年 2月26日（火） 18:30～19:30（予定）

②協議内容

- ・今年の成果と課題の説明
- ・平成25年度の教育計画について説明

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 金浜地区合同役員会

①実施回数 2 回

②構成メンバーの概要

金浜町内会 金浜町内婦人会 漁業部会 金浜子供会育成会
金浜小PTA 校長 教頭

③検討内容

- ・金浜小学校 金浜町内合同運動会について（日程、種目、係等）
- ・浜学習について（日程、内容、準備物、係等）
- ・県へき地・複式教育研究大会について（日程説明、係等依頼）
- ・金浜小学校 金浜町内合同学習発表会について（日程、演目、係等）

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事

①参観日（授業参観）

平成24年4月20日（金）・12月11日（火）

- ・約15名（保護者、金浜町内婦人会）

②民謡練習・昼食会

平成24年5月29日（火）

- ・32名（児童、教職員、金浜町内婦人会）
- ・南部とらじょさま、八戸港音頭の指導、

③金浜小学校 金浜町内合同運動会

平成24年6月 3日（日）

- ・約100名（児童、教職員、保護者、地域住民）
- ・会場準備及び後始末、用具係、マラソン時の街頭指導

④浜学習～金浜海岸～

平成24年7月 5日（木）

- ・約30名（児童、教職員、保護者、漁業部会）
- ・引率補助、磯の生き物観察時の補助及び指導、調理補助

- ⑤参観日 食育授業「望ましい食生活」 平成24年7月10日（火）
 - ・約30名（児童，教職員，保護者，金浜町内婦人会）
- ⑥県へき地・複式教育研究大会 平成24年9月25日（火）
 - ・約20名（保護者 金浜町内会 金浜町内婦人会）
 - ・駐車場誘導，来賓接待，児童発表補助，授業参観
- ⑦金浜クリーン作戦 平成24年9月27日（木）
 - ・約20名（児童，教職員，保護者）
 - ・引率補助，活動支援
- ⑧金浜小学校・金浜町内合同学習発表会，合同バザー 平成24年10月14日（日）
 - ・約100名（児童，教職員，保護者，地域住民）
 - ・会場準備及び後始末，係，学習発表会への出演
- ⑨昔の遊び集会・昼食会 平成24年11月 7日（水）
 - ・35名（児童，教職員，金浜町内会，金浜町内婦人会）
 - ・昔の遊びの紹介，活動支援

（2）環境整備

- ①早朝奉仕作業 平成24年5月27日・8月19日（日）
 - ・それぞれ，約80名（児童，教職員，保護者，地域住民）
 - ・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，樹木の伐採）

（3）地域交流

- ①塩竈神社祭礼でのよさこい披露 平成24年6月17日（日）
 - ・約20名（児童，保護者，地域住民）
- ②種差観光まつりでのよさこい披露 平成24年7月 8日（日）
 - ・約30名（児童，保護者，地域住民）
- ③金浜地区敬老会での歌とよさこい披露 平成24年9月17日（日）
 - ・約30名（児童，保護者，地域住民）

4 ボランティアの状況

- （1）ボランティア登録現在数 0人
 - ※登録はしていないが，その都度保護者や地域の方が参加協力してくださっている。
- （2）今年度ボランティア保険加入者数 0人
 - ※地域密着型教育予算による保険加入者数
 - ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

（1）成果

- ①地域学校連携協議会という場を設定したことにより，学校運営方針や教育活動の状況を説明し，教育活動や学校評価の結果・考察についてご意見やご指導をいただいたり，地域の情報をうかがったりすることができた。そのことを，学校運営の改善や次年度の教育課程編成に生かすことができた。
- ②二年目となる今年は，昔の遊び集会や民謡練習，昼食会など地域のお年寄りや婦人会の皆さんとふれあう活動への参加者が昨年よりも多くなった。また，地域の皆さんとふれあう活動や地域と学校が連携して様々な活動を行うことで，地域と学校の連携が深まった。「地域の学校」という想いを強く感じている。

（2）課題

- ①各行事や環境整備への参加協力を，お便りで地域へ案内したり，直接参加を呼びかけたりしてきたが，これまで参加協力していただいた方々は，年々高齢化しており参加協力が難しくなりつつある。また，児童数の減少に伴い，保護者の協力負担も大きくなってきている。今後は，人材確保のために連携協議会での宣伝や参加協力依頼を行うだけでなく，日々の教育活動をお便りやブログ等で紹介したり，教育活動に対する具体的な支援を呼びかけたりすることを通して，地域の方々との連携を図っていきたい。
- ②南浜中学校区内の全小・中学校は，次年度から地域学校連携協議会が設立される。南浜中学校区で連携協議会の理事になられる方々の中には，小学校と中学校の理事を掛け持ちされる方が出てくることも考えられる。今後は，南浜中学校区の小・中学校が連携して地域密着型教育に取り組んでいくことが必要だと思う。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 根城 小学校

校長 赤石 和枝



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成24年5月23日
 - ②協議内容
 - ア 根城小学校の組織、会則の確認
 - イ 会長の指名（校長） 副会長の選出（会長）
 - ウ 会長・副会長あいさつ
 - エ 根城小学校の学校経営方針について（報告）
 - オ 今年度の活動の概要
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成24年12月6日
 - ②協議内容
 - ア 事業の進捗状況（支援事業、ボランティア活用状況等）
 - イ 学校評価について（学校関係者評価）
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成25年2月4日
 - ②協議内容
 - ア 今年度の事業のまとめ
 - イ 学校課題についてのご意見・ご助言
 - ウ 次年度の委員について

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会
- ①実施回数 4回
 - ②構成メンバーの概要 校長、会長、事務局、PTA 副会長、PTA 幹事
PTA 専門委員長、PTA 学年委員長
 - ③検討内容
 - ・組織確認、PTA 活動との整合性理解、今後の予定
 - ・意見・要望、ボランティアから
 - ・4支援事業活動報告、ボランティア活動状況
 - ・今年度の取組総括と次年度への要望
- (2) 専門部会
- ①実施回数 教育活動部、環境整備部、安全対策部、交流連携部
それぞれの部会が随時活動
 - ②構成メンバーの概要・検討内容 資料参照

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部

①学習支援（授業支援、校外学習支援、学校行事支援）

ア 授業支援

- ・習字ボランティア…2日、のべ4人
- ・家庭科（ミシン指導）…4日、のべ28人
- ・スケート指導…4日、のべ5人
- ・校外学習・地域学習補助…2日、のべ4人

イ 地域を活かした学習への取組…もっと地域のことを学んでほしいという願いから、全学年で地域の方や地域の施設などを生かした学習に取り組んでいる。

ウ 根城の歴史を学ぶ…『子育て・親育ち講座』として開催。根城南部家「向鶴」の紋のいわれや、南部氏と遠野市とのつながり、地域にある根城のお城などを学ぶ。

②部活動支援（指導・引率等、三部演奏会支援）

ア 部活動支援では、コーチとして卓球部に3名、サッカー部に2名、バトン部に1名地域等の方にご協力いただいた。

イ 2月に行われる三部演奏会でも、たくさんの保護者や地域の方に支援いただいた。

(2) 環境整備部

①校内外環境整備（花壇・教材園整備、除草奉仕、校地整備、ベルマーク集め、バザー）

ア 花壇整備…花壇のデザインと年間を通して植栽、除草、摘花等の活動を行う。

イ P T Aバザー…保護者・子ども・教員が1つになって成功、みんなで楽しんだ。

ウ 玄関生け花…月2回、公民館の生け花クラブの方が来校し、職員玄関に生け花をいける。

②学校図書館整備

ア 読み聞かせボランティア … 30日、のべ136人

イ 図書貸し出し・本の修繕作業… 44日、のべ252人

(3) 安全対策部

①校外安全安心（登下校巡視活動、防犯パトロール、通学路・危険箇所の点検、集団下校支援）

ア 交通安全教室 4/11…入学してすぐの1・2年生の交通安全教室での見守り。

②学校安全安心（プール監視）

ア A E D活用講習会 7/20…7月20日に根城分遣所の職員4名が来て人工呼吸やA E Dの使い方など救急救命の実地訓練を指導した。教員と保護者約50名が共に学んだ。

イ 夏季休業中のプール監視は2・3年保護者による見守り支援。

(4) 交流連携部

①連携行事（老人クラブ連携、子ども会キャンプ、区民運動会、三社大祭、親子学習会、三水会）

ア 三社大祭に参加 8/1～3…三社大祭に参加したのは109名。新組、売市、吉田産業、六日町、八戸市職員互助会、新荒町、神明宮等で、太鼓、引き子、神楽、行列等に参加。

イ 合同キャンプに参加 8/11・12…約30名の児童がテント作り・キャンプファイヤー・炊事などを経験した。

ウ 参加者が増加した根城地区運動会 9/2…児童の参加がぐんと増え、若い保護者の参加も見られた。地域の方の指示に従い大人と一緒に競技に参加したり、町内の応援をしたりした。

②学校間連携（幼保小連携、小中J S、J Sあいさつ運動）

ア あいさつパワーアップ大作戦…学級で工夫しながら取り組んでいる。

イ 地域の根城地区あいさつ運動…9月の毎週水曜日に行われた地区あいさつ運動では、7:20から20分間、多くの地域の方が学校近くや交差点付近に並び、あいさつを交わした。

ウ 幼保小連絡会の組織…江南小と本校、6幼保園の代表者が集まり、連携について検討した。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 65人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

（学校支援地域本部事業の予算による加入者数 0人）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①地域学校連携協議会「ねじょっ子はぐくみ協議会」を開催し、小中学校・保護者・地域の願いを共有し建設的な意見交換をしていくことで、地域・保護者が、学校の取組やねらいを理解し、地域との連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを推進することができた。

②地域諸団体の会合等で出された意見や、各町内の行事等の現在の取組等を地域・保護者・学校それぞれが互いに理解することができた。児童・地域住民が気持ちよく参加し、地域関係団体組織とP T A組織との調和と融合を図ることができた。

③ボランティアの輪が広がり、コーディネーターと学校支援地域本部事業の活用を図ることができた。その結果、P T Aやボランティアによる支援活動をやってよかったと思う人が増え、P T A活動への参加者やボランティアが負担感なく増えるようになった。

④授業でもボランティアに支えられながら、地域の文化・施設・人材を活用してきた。教員もボランティアを活用した授業や活動に積極的に取り組むようになった。

(2) 課題

地域ボランティアの活用については、十分とは言えない。今後はコーディネーターと連携し、地域の教育資源の活用を図っていきたい。また、児童の学力の保証とともに豊かな体験活動の一層の充実を図るよう、教育課程の編成に生かしていくこととする。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台小学校

校長 松 橋 眞 彦



1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年7月9日 11時から

②協議内容

- ア 委員の自己紹介
- イ 八戸市立白山台小学校地域学校連携協議会の組織、会則審議
- ウ 会長の指名・副会長の選出、あいさつ
- エ 学校経営方針等(報告)及び地域本部事業からの移行について
- オ 組織・年間スケジュール等の説明・報告
- カ その他、委員から

(2) 第2回 ①実施日時 平成25年1月18日 11時から

②協議内容

- ア 学校運営状況について
 - ・平成24年度の学校評価について
- イ 平成25年度の教育課程編成について
- ウ その他、委員から

(3) 第3回 ①実施日時 平成25年2月28日 10時から

- ア 今年度の事業のまとめ
 - ・各支援事業のまとめと次年度へ向けて
 - ・ボランティア状況
- イ 学校課題についての御意見・御助言
- ウ 本校の教育環境改善に向けた方向性と課題について
- エ その他

2 具体的な取組状況

(1) 学習支援

- ①学習支援・・・登録者10名 活動なし
- ②各学年学習支援・・・スケート教室、町探検、社会科見学、地域安全マップづくり、家庭科の実習補助、総合的な学習の時間補助
(きなこ白玉だんごづくり)

③よみきかせ・・・登録者29名（地域の方20名・保護者9名）

5月～2月 9回 朝8時～8時30分

26学級に各一人ボランティアが入り、よみきかせをする

（2）環境整備

① 図書支援・・・登録者20名（地域の方1名・保護者19名）

6月～2月 8回 朝10時～12時

本の修理作業、季節の飾り制作、ブックカバー&針金ハンガーフックスタンド作り
新刊・寄贈図書登録、図書室内整備など

② 校地内草刈り・・・7月14日 参加者21名（シルバークラブ）

年1回7月頃、シルバークラブの方々が機械を持ち込んで草刈りをしてくださり
PTA 環境美化委員会の保護者と子どもたち、先生方が協力して行う。

（3）登校安全指導

① 3Aサポーター登校時見守り・・・登録者4名

4月～12月 ミニストップ前交差点

② 交通安全協会白山台支部・・・登録者4名

4月～3月 長者森公園交差点

11月～3月 白山台保育園前横断歩道

9月22日 交通安全キャンペーン

3 ボランティアの状況

（1）ボランティア登録現在数 118 人（保護者含む）

（2）今年度ボランティア保険加入者数 27 人

4 地域密着型教育の成果と課題

（1）成果 ・広く地域団体から理事になっていただいたことで、各組織間の連携や情報の共有が図られるようになった。

・ボランティアの活動などで、地域の方々と子どもたちが関わりをもつことで、子どもたちの学習意欲が高まり、教育効果をあげることができた。

（2）課題

・地域学校連携協議会の理事選考の際に、中学校と連携をとって進める必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江南小学校

校長 古谷 吉光



1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月9日(水) 18:30～19:30

②協議内容

- | | |
|------------|----------------|
| ア 会則の審議 | イ 会長・副会長の指名 |
| ウ 学校経営方針説明 | エ 地域学校連携協議会組織図 |
| オ 年間事業計画 | カ 教育委員会より |

(2) 第2回 ①実施日時 平成24年9月12日(水) 18:30～19:30

②協議内容

- | | |
|--------------------|--------------|
| ア 事業の進捗状況説明 | |
| イ 学校評価に関する説明(中間報告) | |
| ウ 質疑応答及び提案・要望 | エ 学校支援地域本部から |
| オ 教育委員会より | |

(3) 第3回 ①実施日時 平成25年1月23日(水) 18:30～19:50

②協議内容

- | | |
|--------------|---------------|
| ア 今年度の成果と課題 | イ 次年度の教育計画 |
| ウ 学校支援地域本部から | エ 質疑応答及び提案・要望 |
| オ 教育委員会より | |

2 上記以外の会議の実施状況(開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入)

- (1) 準備委員会 (開催なし)
- (2) 企画推進部会 (開催なし)
- (3) 専門部会 (開催なし)

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部

- | | | |
|---------------|------|----|
| ○部活動支援(バスケット) | 通年 | 2名 |
| ○2年 生活科学学習支援 | | |
| さつまいも苗植え | 5/30 | 2名 |
| ○3年 総合的な学習の時間 | | |
| 三社大祭のお話 | 7/12 | 1名 |

えんぶりのお話	1 / 1 8	1 名
○5年 家庭科学習支援		
ミシン	1 2 / 1 3	6 名
	1 2 / 1 4	5 名
○6年 学習発表会劇衣装作り	1 0 / 1 1	4 名
	1 0 / 1 6	4 名

(2)環境整備部

○読みか聞かせ（朝 年 1 0 回）	4 / 1 9 ～ 2 / 1 4	8 名
（昼 年 6 回）	9 月 ～ 2 月	2 名
○体育館外階段タイル補修	4 / 2 6	1 名
○畑畝作り	5 / 1 7	3 名
○校庭草取り	5 / 2 0	6 9 名
○運動会補助	5 / 2 6	2 0 名
○花壇耕し	7 / 1 5	1 名
○鉢花植え	1 0 / 2 3	2 名
○校地内樹木枝払い	1 1 / 1 7	7 名
○図書室整備・図書修理	4 月 ～ 3 月 （3 9 回）	9 名

(3)安全対策部

○交通安全教室	4 / 1 6	2 名
---------	---------	-----

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 3 8 人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 1 8 人

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 1 8 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①地域を知るコーディネーターの力が大きく、教職員のニーズに応じたボランティア・サポートを受けることができた。

(2) 課題

- ①各事業部で行っている取組に支援してくださるボランティアは同じ人（PTAのOB等）がボランティアとして活動しているのが現状である。地域への広報活動を更に工夫していく必要と、保護者が学校に来校し気軽にできるボランティア活動も考えていく必要がある。
- また、活動費が制約されるため、計画しても予算の関係上、厳しい現状がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立田面木小学校

校長 橫 町 嘉 一



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|---------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年6月7日(木) 13:30～ |
| | ②協議内容 | ◆委嘱状交付
◆議事(・会則の承認 ・会長、副会長の指名 ・本校の事業の説明) |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成25年1月17日(木) 13:30～ |
| | ②協議内容 | ◆学校の現状と課題の説明及び審議
◆学校評価に関する説明及び審議
◆平成25年度の予定に関する説明及び審議 |
| (3) 第3回 | 〈 予 定 〉 | |
| | ①実施日時 | 平成25年2月28日(木) 13:30～ |
| | ②協議内容 | ◆今年度の成果と課題の説明及び審議
◆来年度の教育計画についての説明 |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) ボランティア運営委員会
- ①実施回数 年2回
 - ②全ボランティア登録者と全職員の参加
 - ③活動についての打合せ、反省、改善点等の話し合い

3 具体的な取組状況

◆教育活動（クラブ活動、生活科、総合的な学習の時間、学校行事、その他）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
交通安全教室	全学年	防犯協会と婦人部 13 名	4/13
よもぎもち作り (摘み、アク抜き、きざむ、もち作り)	2 学年	老人クラブ のべ 18 名	5/7, 5/15
田面木音頭の指導	全学年	婦人会 のべ 35 名	5/21 ～ 5/23
クラブ活動 年間計 9 回 点字、郷土芸能、菱ざし、大正琴 茶道、英語、ユニホック	クラブ活動	教育ボランティア のべ 138 名	4/24 ～ 11/13
音楽会に向けての合唱指導	全学年	合唱指導の中里さん	9/19
地域安全マップづくり	5 学年	防犯協会員 10 名	11/5
お茶会 (4 日間にわたり、各学年ごとに礼儀 作法等を学ぶ)	全学年	教育ボランティア のべ 26 名	11/5 ～ 11/8
ボランティア運営委員会 (今年度の反省と来年度に向けて)		教育ボランティア	1/21 予定
ひなまつりお茶会 <予定> (田面木公民館にて)	6 学年	教育ボランティア	
大菊づくり (奥州菊の歴史を学ぶ～菊まつりへの 出品、菊の解体まで)	6 学年	菊づくり指導の田村さん	4 月～ 11 月
英語学習	1・2 学年 3・4 学年	教育ボランティア菊地さん " 下沢さん	12/11, 12/20 12/19

◆環境整備活動（校内環境整備、学校図書室、防犯活動）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
P T A 早朝奉仕（校庭整備、資源回収）	全学年	全 P T A	5/20
プール清掃	5・6 学年	婦人会 9 名	6/14
図書室の本の整備		P T A ベルマーク委員会 11 名	9/14

◆地域交流活動

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
ふれあい遊びランド	全学年	老人クラブ 27 名 近隣の保育園児	10/18

◆スポーツ文化交流活動（部活動、根城中学校区ジョイントスクール、地域文化活動への参加）

部 活 動	児 童	ボランティア	月 日
野球部（基本練習、大会へ向けての指導）	部 員	指導者 3 名	通年
卓球部（ 〃 ）	部 員	指導者 1 名	〃
バスケットボール部（ 〃 ）	部 員	指導者 3 名	〃
吹奏楽部（ 〃 ）	部 員	指導者 1 名	〃

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
根城田面木地区合同キャンプへの参加	4.5.6 学年 対象	P T A	8/11 ～ 8/12
田面木地区婦人会親睦会演芸会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 3 名	9/8
田面木地区敬老会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 3 名	9/17
史跡根城まつりにて根城中との合同演奏	吹奏楽部	P T A	10/6
特別養護老人ホーム「ほっとハウス」にて踊りを披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 5 名	11/13
ユニホック大会への参加	ユニホック クラブ	教育ボランティア 2 名	11/25
根城中学校区ジョイントスクール事業 6 学年による根城中学校の授業参観	6 学年		11/30

◆学校評価活動（学校目標にかかわる評価）

評価委員会活動内容	ボランティア	月 日
第 1 回 学校評価についての説明、今後の説明	学校関係者評価委員 11 名	6/29
第 2 回 自己評価の結果と改善方策について	学校関係者評価委員 11 名	12/11
第 3 回 改善方策についての意見聴取、来年度の教育計画についての説明	学校関係者評価委員 7 名	1/11

◆健康増進活動（子どもたちの健康増進を図る）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
学校保健委員会（すこやか会議） 児童、保護者、地域の方が子どもたちの健康について話し合う	全学年	地域の方 6 名	11/29

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 37 人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 33 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域密着型教育実施2年目。昨年度の組織を見直した。各協議会等はスムーズに進行され、委員の方の理解を得られている。
- ・昨年度同様、地域の方々から直接意見を聞くことにより、教育課程編成や学校の教育活動に役立てられている。
- ・昨年度の反省をもとに会議に出席する委員を見直し、負担を少なくした。
- ・ボランティアの方々にご協力いただき、子どもたちの活動の幅を広げている。
- ・コーディネーターの働きかけにより、活動についてボランティアの方々のご意見を率直にお聞きすることができ、改善できた。

(2) 課題

- ・地域密着型教育のねらいについて、保護者だけでなく教職員も理解が十分ではない。教職員へ周知し、共通理解を図る。
- ・学校だより等で知らせているが、地域への浸透をさらに広げる。
- ・地域の方々の活動により、子どもたちの活動が支えられていることを学校だより等で保護者に知らせていく必要がある。
- ・学校、家庭、地域の連携をさらに図れるようにする。

◇活動の様子



よもぎもちづくり



お茶会



第2回地域学校連携協議会



ボランティア運営委員会

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 下長小 学校

校長 畠 山 直 榮



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①平成24年11月29日（木）
委嘱状交付式（委嘱状交付、教育長あいさつ）
②（ア）校長あいさつ
（イ）行政説明
（ウ）議事 ・会則について ・会長・副会長指名
・協議会の方針・組織について ・事業日程計画の説明
- (2) 第2回 ①平成25年 2月21日（木） 開催予定
②（ア）校長あいさつ
（イ）今年度の教育活動と評価について
（ウ）来年度の活動計画について
（エ）その他（要望等）

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備委員会 ①実施回数 1回 （11月1日）
②構成メンバーの概要
P T A会長、千田町内会長、地区防犯協会支隊長、コーディネーター
校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、市教委担当指導主事
③検討内容
・地域学校連携協議会規約案について
・組織案について
・事業内容について

3 具体的な取組状況

(1) 昔の遊び体験とふれあい給食会（11月21日）

- ・地域のお年寄りに学校に来ていただき、1年生に昔の遊びを教えてくださいました。（27名参加）
竹馬、お手玉、おはじき、竹とんぼなど、普段子どもたちがやっていない遊びを教えてください、子どもたちは大喜びであった。その後、教室で一緒に給食を食べ交流を深めた。

(2) ほのぼの交流（11月29日）

- ・下長地区のお年寄りのお宅を交流員と6年生児童が訪問し、様々な交流活動を行った。
15のお宅を訪問し、まず自己紹介をし、その後ゲームをしたり、お年寄りのお話を聞いたりと交流を深めた。中には「豆しとぎ」を児童と一緒に作りたい、というお年寄りもいて、初めて作った子ども達は大喜びであった。「6年生のあいさつや態度が立派でした。」とお褒めの言葉をいただいた。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|----|
| (1) ボランティア登録現在数 | 0人 |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校、家庭、地域社会が自分たちの役割を自覚して、責任をもって子ども達の教育に当たって
いこう、という意識が高まった。

(2) 課題

- ・1年目ということで、地域学校連携協議会の立ち上げまでに時間がかかった。（反省）
- ・見通しをもって活動できるよう、来年度に向けての計画を早めに立てること。
- ・コーディネーターの役割を明確にし、気持ちよく仕事をしていただくこと。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城北小学校

校長 小 関 勉



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成25年1月22日（火） 18:30～20:00

②協議内容

- ・委嘱状交付式
- ・会則審議
- ・会長・副会長の指名、あいさつ
- ・地域学校連携協議会の方針及び組織説明
- ・支援事業内容・年間スケジュール説明

(2) 第2回 ①実施日時 平成25年3月7日（木） 18:30～19:30

②協議内容

- ・支援事業内容の検討
- ・次年度の年間計画の検討
- ・学校関係者評価の依頼

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 準備委員会 ①実施回数 1 回

②構成メンバーの概要

現PTA会長、河原木団地連合町内会長、元PTA会長
校長、教頭、教務主任、コーディネーター

③検討内容

- ・会則の原案検討
- ・組織・事業内容の検討
- ・第1回地域学校連携協議会開催要項案の検討

3 具体的な取組状況

(1) 1月に地域学校連携協議会を立ち上げたばかりなため、今年度は具体的な取組事項はない。

本校では、これまでもボランティアによる読み聞かせ、PTAによるベルマーク収集・プール監視・校外巡視活動、下長交番・安全協会・防犯協会の協力を得ての交通安全教室、地域の団体や商店等の協力を得ての総合・ふるさと学習や生活科・町探検など、保護者・地域住民と結びついた取組を実施してきている。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 3 人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

○地域学校連携協議会を立ち上げたことにより、前述のような現在の取組を見つめ直し、学校・保護者・地域の連携・協力のあり方について話し合う場をもつことができる。

(2) 課題

○今年度は地域学校連携協議会を立ち上げるにとどまった。支援事業内容を整理し、各専門部会がスムーズに活動していくことができるように準備しておく必要がある。

○地域密着型教育の趣旨やねらいについて、保護者・地域住民のみならず本校職員も理解が十分とは言えない。職員会議や参観日での説明、学校だよりやP T Aだよりでの情報発信等を通して、広く理解を深めていく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立高館小学校

校長 田名部 喜郎

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年11月5日（月）

②協議内容 ・校長挨拶 ・行政説明「地域密着型教育について」 ・会則について
・役員指名 ・方針及び組織について ・事業日程計画 ・事務連絡

(2) 第2回 ①実施日時 平成25年2月26日（火）

②協議内容 ・校長挨拶 ・平成24年度の教育活動を振り返って
・平成25年度の教育活動の見通し ・その他

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備委員会 ①実施回数2回

②構成メンバーの概要 校長・教頭・教務主任・教育委員会担当者
会長候補（連合町内会長）・副会長候補（PTA会長）
コーディネーター

③検討内容 ・規約案 ・組織案 ・事業案 ・日程確認

3 具体的な取組状況

(1) 4月10日（火） 1年生交通安全教室

・交通安全協会、交通安全指導隊の方々に協力をお願いした。

(2) 4月28日（土） 親子クリーン作戦

・保護者、児童、教職員、地域の方々に運動会前に校庭の清掃をした。

(3) 6月1日（金） 安全マップ作り

・各町内会役員と一緒に4年生児童が町内を回り、安全マップ作りを行った。

(4) 6月19日（火） 2年まちたんけん

・保護者の方に付き添いをしていただきながら、町内を子どもたちがたんけんした。

(5) 7月22日（日） 子ども会夏祭り

・高館子ども会の主催で本校グラウンドを会場に夏祭りを行い、多くの子どもたちが参加した。

(6) 10月6日（土） 親子クリーン作戦

・保護者、児童、教職員、地域の方々に学習発表会前に校内外の清掃をした

(7) 11月18日（日） 子ども会収穫祭

・子ども会の学習田で収穫した餅米で餅つきを行った。

(8) その他

- ・保護者の読み聞かせボランティアの方が、朝の読書の時間に各教室で読み聞かせを行った。
- ・5年生の家庭科の学習で、調理実習やミシンかけの時に、保護者がお手伝いで来ていただいた。
- ・運動会、学習発表会に向けて、高館駒踊保存会の方々に指導していただいた。
- ・4年生の総合的な学習の中で地域の老人クラブの方々にわらざうり作りを指導していただいた。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域密着型教育の趣旨が少しずつ地域や保護者に理解されてきている。
- ・学校の教育活動に対しての質問や意見が話題に上るようになり、地域住民や保護者の考えを把握しやすくなった。
- ・参観日の授業を見ていただくことで、教育活動の理解を進めることにつながった。
- ・本校では、地域学校連携協議会委員に学校関係者評価委員をお願いしており、学校関係者評価委員会では、教職員・保護者・児童アンケートや学力テストなどの結果をもとに多くの意見をいただくことができた。
- ・本校の学区で大がかりな道路工事が行われているが、工事の概要、進捗状況などの報告が行われ、それに対しての交通安全対策のお願いなどが話題となり、地域で子どもたちの安全を守っていく体制づくりができてきた。

(2) 課題

- ・本校では、「情報発信」「環境整備」「学校図書館」「教育活動」の4つの専門部会での活動を進めていく予定であるが、主体がPTA会員である。この活動をどうやってPTA会員以外にも参加していただくのか、また、これからどのような活動に広げていけるのか、広げていけばいいのかを考えていかななくてはならない。
- ・学校からの情報発信は学校便りやホームページ、ブログなどでできるが、地域の方からの意見や願いをどのように収集していけばよいのか、いわゆる双方向での情報発信の仕方について考えていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根岸小学校

校長 佐々木 昭 夫 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

①実施日時

平成24年5月2日(水) 17:00～18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ア) 学区校長会長(北稜中学校長)あいさつ | イ) 会則承認 |
| ウ) 正副会長指名及びあいさつ | エ) 地域学校連携協議会の組織及び今年度計画 |
| オ) 3校の学校経営方針等についての説明 | カ) 質疑 |

(2) 第2回協議会

①実施日時

平成24年9月5日(水) 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

- 北稜中学校区非常災害時における対応
 - ・台風等自然災害における児童・生徒の安全確保について
 - ・学校から各家庭への緊急連絡システムの確認
 - ・地域の防災訓練の状況について
- 各校のいじめの認知状況及び対策について
- 学校評価について

(3) 第3回協議会

①実施日時

平成25年1月24日 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

- 北稜中学校区非常災害時における対応
 - ・一部見直し
 - ・学区3校が同じ事件・事故や自然災害等で対応する場合の関係機関等への連絡体制
 - ・避難所開設時の開放区域(案)

イ) 分科会(北稜中部会, 根岸小部会, 日計ヶ丘小部会)

- 学校評価について
 - ・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
 - ・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

運営委員会の実施(学区校長会を兼ねる)

(1) 第1回平成24年4月26日(木) 16:00～18:00

(2) 第2回平成24年8月1日(水) 11:00～14:00

(3) 第3回平成25年1月11日(金) 16:00～17:30

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

- ①学習支援…朝の読み聞かせ, 夏休み読み聞かせ教室, 昔の遊びの指導, 豆しとぎ作りの指導, 田植え・稲刈り・脱穀・しめ縄作り・餅つきの指導, 町探検・八戸探検の引率補助, クラブ活動指導, 部活動後援, スケート教室紐結び
- ②行事支援…根岸音頭(運動会で踊る)の指導, 入学式・運動会・音楽会・卒業式等の接待

(2) 環境整備事業

花壇整備（花植え・草取り）、教材園及び教材田の整備、小川の泥上げ、プルタブ回収、校庭整備（校庭整地・草刈り）、窓拭き清掃作業、図書室の整備と書架整理、郷土資料室の掃除、鯉のぼり設置、入場門設置

(3) 安全対策事業

プール監視、安全マップづくり、交通安全教室、自転車教室、朝のあいさつ運動、防犯パトロール、通学路点検

(4) 交流連携事業

クリーン作戦（地域のごみ拾い）・えんぶり鑑賞会・地区敬老会・子ども会サマーキャンプ・子ども会ウォークラリー・区民運動会・公民館子ども教室・子ども会行事等への参加、小・中学校ジョイントスクール事業（6年生の中学校見学・グッジョブの受け入れ）

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 4 6 0 人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 7 5 人（保護者以外の北稜中学校区住民） |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

根岸地区においては、これまでも学校と地域との関係は良好であったが、本事業に取り組んで以降、学校の教育活動についてより具体的内容に踏み込んだ話し合いがなされるようになった。加えて、協議会を通して北稜中学校区3校が日常的に緊密に連携し合っている様子が伝わることから、地域住民の3校に対する安心感や信頼感の向上につながっているように感じられる。

一例を挙げると、根岸地区では、アスネットねぎし自主防災会が中心となって、地域の防災、特に津波避難対策に力を入れ、住民、学校や地域関係機関・団体を入れた研修会を実施した。同会では避難所として北稜中学校区3校等を想定しており、今後、地区全体での防災訓練も計画している。このことから、24年度は、学区3校の自然災害、不審者事案を含む事件・事故対応についての協議を中心に地域学校連携協議会を実施した。12月の柏崎地区の不審者事案、直後の地震発生に当たっては、交通安全協会や防犯協会、地域町内会の方々の地域巡回や情報提供などにつながり、児童生徒が安全で速やかに下校することができた。

その他の具体的な成果としては、下記が挙げられる。

- 地域ボランティアの方々が、昔ながらの知恵や技能を生かして熱心に指導してくださるお陰で、内容的に大変充実した体験学習が行われた。子どもにとっては、お年寄りの方とふれあうよい機会にもなり、思いやりと感謝の心を育む場になっている。また、ボランティアの方も孫のような子どもたちとのふれあいを楽しみにしており、生きがいを感じてくださる方もいる。今年度、報道機関に対し取材依頼をしたところ、「昔の遊び」が新聞に掲載され、「しめ縄作り」がテレビで放映された。ボランティアの方々も大いに喜んでくださった。
- 土曜・日曜や夏休みなど学校が休みの日に、公民館子ども教室や子ども会の行事がたくさん行われ、多くの子どもたちが参加した。「地域の子どもは、地域で育てる。」という気概を持った大人たちの頑張りによって、子どもたちの健全育成が図られている。

(2) 課題

北稜中学区は、従前よりボランティア活動が盛んであったが、本事業はまだ2年目と緒に就いたばかりであり、依頼に応じて支援する、あるいは、ボランティア活動そのものが活動のねらいという段階にある。今後、広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。

そのために、現在重点を置いている「児童生徒の安全・安心」に係る内容は、「地域の安全・安心」にもつながることから相互の主体性ある活動喚起に有効であると考え、継続的に推進したい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立日計ヶ丘小学校
校長 池田 了 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

①実施日時

平成24年5月2日(水) 17:00～18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ア) 学区校長会長(北稜中学校長)あいさつ | イ) 会則承認 |
| ウ) 正副会長指名及びあいさつ | エ) 地域学校連携協議会の組織及び今年度計画 |
| オ) 3校の学校経営方針等についての説明 | カ) 質疑 |

(2) 第2回協議会

①実施日時

平成24年9月5日(水) 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

- 北稜中学校区非常災害時における対応
 - ・台風等自然災害における児童・生徒の安全確保について
 - ・学校から各家庭への緊急連絡システムの確認
 - ・地域の防災訓練の状況について
- 各校のいじめの認知状況及び対策について
- 学校評価について

(3) 第3回協議会

①実施日時

平成25年1月24日 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

- 北稜中学校区非常災害時における対応
 - ・一部見直し
 - ・学区3校が同じ事件・事故や自然災害等で対応する場合の関係機関等への連絡体制
 - ・避難所開設時の開放区域(案)

イ) 分科会(北稜中部会, 根岸小部会, 日計ヶ丘小部会)

- 学校評価について
 - ・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
 - ・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

運営委員会の実施(学区校長会を兼ねる)

(1) 第1回平成24年4月26日(木) 16:00～18:00

(2) 第2回平成24年8月 1日(水) 11:00～14:00

(3) 第3回平成25年1月11日(金) 16:00～17:30

3 具体的な取組状況

(1) 教育関連事業

- | | | |
|-------------------|-------------|------------|
| ・図書ボランティア | ・読み聞かせ | ・クラブ活動指導補助 |
| ・階上岳登山遠足支援 | ・スケート教室指導補助 | ・水泳教室指導補助 |
| ・スタディサポート(算数採点補助) | | |

- ・豆しとぎつくり指導 ・入学式、卒業式等支援 ・運動会会場整備
- ・えんぶり鑑賞教室支援 ・地域郷土資料館解説
- (2) 安全対策事業
- ・交通安全教室 ・登下校指導 ・防犯パトロール
- (3) 環境事業
- ・グラント整備
- (4) 文化事業
- ・夢太鼓（指導・校外演奏会移動支援） ・根岸音頭指導
- (5) 交流・連携事業
- ・J Sあいさつ運動 ・異世代交流会 ・地区敬老会（夢太鼓クラブ員）
- ・子ども会関連事業（スポーツ大会、サマーキャンプ、ウオークラリー）

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 2 6 4 人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 7 5 人（保護者以外の北稜中学校区住民）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

根岸地区においては、これまでも学校と地域との関係は良好であったが、本事業に取り組んで以降、学校の教育活動についてより具体的内容に踏み込んだ話し合いがなされるようになった。加えて、協議会を通して北稜中学校区3校が日常的に緊密に連携し合っている様子が伝わることから、地域住民の3校に対する安心感や信頼感の向上につながっているように感じられる。

一例を挙げると、根岸地区では、アスネット根岸自主防災会が中心となって、地域の防災、特に津波避難対策に力を入れ、住民、学校や地域関係機関・団体を入れた研修会を実施した。同会では避難所として北稜中学校区3校等を想定しており、今後、地区全体での防災訓練も計画している。このことから、24年度は、学区3校の自然災害、不審者事案を含む事件・事故対応についての協議を中心に地域学校連携協議会を実施した。12月の柏崎地区の不審者事案、直後の地震発生に当たっては、交通安全協会や防犯協会、地域町内会の方々の地域巡回や情報提供などにつながり、児童生徒が安全で速やかに下校することができた。

その他の具体的な成果としては、下記が挙げられる。

- 保護者や地域住民が、学校や周辺の環境整備に気を配ってくれる。特に、通学路の安全管理では、歩道の整備や交通安全協会の巡回指導、保護者の登下校指導が日常的に実施されている。
- 子どもたちを含めた地域全体であいさつ運動を盛り上げようとしてくれている。町内会全体で日常的な活動として取り上げたり、校門前に交代で立ってくれたり、あるいは、PTAの委員会活動の一環として、交通安全強化と協力しながら、毎日の登下校指導をしている。
- 特に高齢者の方々が、豆しとぎ作り、異世代交流会、地域で整備している郷土資料館の維持・管理や解説等、子どもたちへの指導の講師を快く引き受けてくれる。本校児童は、9割以上が核家族世帯であり、高齢者との交流は子どもたちの心を温かくしてくれる。

(2) 課題

北稜中学区は、従前よりボランティア活動が盛んであったが、本事業はまだ2年目に就いたばかりであり、依頼に応じて支援する、あるいは、ボランティア活動そのものが活動のねらいという段階にある。今後、広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。

そのために、現在重点を置いている「児童生徒の安全・安心」に係る内容は、「地域の安全・安心」にもつながることから相互の主体性ある活動喚起に有効であると考え、継続的に推進したい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川小学校

校長 永 淵 律 子 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成24年6月26日（火）

②協議内容

- ・委嘱状交付
- ・役員選出
- ・学校経営方針について
- ・今年度の予定について
- ・学校保健委員会の参加と取組内容について

(2) 第2回

①実施日時 平成24年8月28日（火）

②協議内容

- ・教育課程実施状況について
- ・習熟度別学習「柿の木クラブ」の参観と取組内容について

(3) 第3回

①実施日時 平成25年1月24日（木）

②協議内容

- ・学校評価に関する説明及び審議

(4) 第4回

①実施日時 平成25年3月5日（火）

②協議内容

- ・今年度の成果と課題の説明及び審議
- ・来年度の教育計画について

2 上記以外の会議の実施状況

○教育支援ボランティア懇談会

①実施回数 1回（11月20日）

②構成メンバーの概要 ボランティア登録者、コーディネーター、校長、教頭

③検討内容

- ・地域密着型教育について（概要説明）
- ・活動状況について
- ・今後の取組について

3 具体的な取組状況

(1) 学習支援

①「柿の木クラブ」丸付けボランティア 13名

- ・3～6年、習熟度学習「柿の木クラブ」における、計算学習の丸付け支援
- ・通年 毎週火曜日 15：30～16：10

②読み聞かせボランティア 5名

- ・朝の読書活動における読み聞かせ活動
- ・通年 毎週木曜日 8:05～8:25

③家庭科ミシン学習ボランティア 6名

- ・5～6年、家庭科学習におけるミシン操作支援
- ・11～12月 5回

④生活科学習支援ボランティア 20名（保護者を含む）

- ・1年昔の遊び、2年干し柿づくりの支援
- ・11月、12月 各1回

(2) 図書室整備

- ・図書ボランティア 1名
- ・図書室環境整備及び貸し出し返却支援
- ・通年、月2回程度

(3) 児童下校安全支援

- ・是川小見守り隊 7名
- ・児童下校時の安全見守り
- ・4～9月 毎週月、木、金曜日

(4) 環境整備支援

- ・ボランティア 3名
- ・中庭樹木の剪定作業
- ・11月 1回

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 25 人 |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 25 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成 果

- 地域ボランティアの方々から学習支援をいただくことで、児童一人一人にきめ細かな指導や声かけをすることができ、児童の学習意欲が喚起され、学ぶ喜びが育まれつつある。
- 丸付け支援や家庭科・生活科支援などの学習支援が行われることで、教職員の保護者・地域とともに児童を育む意識が高まってきた。
- コーディネーターの働きかけにより、地域の方が学校に関心を抱くようになり、地域の方々も学校とともに児童を育む意識が高まってきている。
- 地域学校連携協議会では、学校の教育活動について建設的な意見を伺うことができ、学校運営の改善に生かすことができた。

(2) 課 題

- よりよい教育環境と支援体制の整備として、これまで主に地域住民より学習支援をいただいていた。今後は、校舎内外の環境美化の支援体制についても検討していきたい。
- 保護者、地域住民の地域密着型教育に対する理解を深めていただくよう、情報発信の質を高め、さらに学校を開いていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川東小学校
校長 白石 哲志 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月28日(月) 19:00～
②協議内容
・委嘱状交付
・会則の審議
・会長、副会長の選出
・学校教育方針の説明、今年度の教育計画についての確認



- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月17日(月) 18:30～
②協議内容
・学校の現状と課題について
・学校評価の結果について
・委員からの学校評価や学校運営に係る意見や要望
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年2月4日(月) 18:30～
②協議内容
・学校評価実施報告書についての説明(成果と課題)
・来年度の教育計画について
・26年度末統合に向けての事業内容について

2 具体的な取組状況

(1) 広報研修委員会

- ・7月10日(火) 年間活動計画作成
- ・7月11日(水) 第1回本の読み聞かせボランティア
- ・7月20日(金) PTA新聞「ひがし」第1号発行
- ・7月29日(日) PTA研修旅行：盛岡・雫石方面 約30名参加
- ・12月5日(水) 第2回本の読み聞かせボランティア
- ・3月中旬：予定 第3回本の読み聞かせボランティア
- ・3月下旬：予定 PTA新聞「ひがし」第2号発行予定



(2) 保健環境委員会

- ・5月7日(月) 農園開き協力
- ・6月3日(日)～9月18日(火) 花壇整備作業 6回



(3) 交通安全母の会

- ・ 9月13日（木）交通安全マスコットづくり
- ・ 9月23日（日）交通安全マスコット配布
是川駐在所・是川地区指導隊・保護者 30名参加
是川東小リトル JUMP チームも帽子を着用し
マスコット配布に参加した。



(4) 地域の方々の協力を得て

- ・ **グラウンド環境整備** 6月 3日（日） 30名参加
運動会に向け早朝奉仕作業を行った。
- ・ **学区大運動会** 6月10日（日）
保護者や地域の方々も、赤・白に分かれて参加し勝負を競い合った。保護者や地域の方の種目も数多く、各係の仕事もお願いしながら地域一帯となって楽しく取り組めた。
- ・ **校舎内大清掃** 7月22日（日） 35名参加
夏季休業中、体育館をポリッシャーを使いながら、きれいに洗い流しワックス掛けを行い、その後校舎1階の窓ふきを全員で行った。地域や保護者、卒業生などがたくさん参加し校内をきれいにすることができた。
- ・ **学習発表会** 10月14日（日） 55名参加
学習発表会では、児童の発表の他に、保護者や地域の方、老人クラブの会員の皆さんも練習を重ねて一緒に発表した。
- ・ **三世代ふれあい会** 12月 9日（日） 30名参加
保護者と地域の方、そして老人クラブの協力を得ながら、餅つきや昔の遊びを通してお互いにふれあい、郷土や家族に対する思いを深めた。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 46人（保護者と学区民を含めた PTA 全会員数）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 地域学校連携協議会の委員の方から、学校運営や学校行事、子どもたちの様子等について建設的な意見を伺うことができた。それを参考にしながら教育課程編成会議等で来年度の方向性を確認することができた。
- ② 様々な学校行事や活動を通して、保護者や地域の方が学校や子どもたちのことを温かく見守って下さっていることが実感できた。今後も、小規模複式校の良さを生かしながら「地域の学校」として活動を続けていきたい。
- ③ 保護者や地域の方の協力を得ながら、体験的な活動に数多く取り組むことができ、地域や郷土を大切にする心を育成することができた。

(2) 課題

- ① 地域に根ざした活動の輪を広げる
 - ・ 地域の特色や特性を生かした創造性あふれる活動を展開していくこと。
 - ・ 専門部会の委員を保護者だけでなく、地域住民にもお願いし、活動内容や範囲も広がりを持たせること。
- ② 専門のコーディネーターがいないので、会議や活動に広がりを持たせるため、各専門部会で資料を作成し提案したり、校内の分掌組織を活用して会議に参加してもらったりするなどの工夫をしていく必要がある。
- ③ 平成26年度末統合に向け、地域学校連携協議会の協力を得ながら準備作業を進展させていくこと。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立西園小学校

校長 櫻井 敏 樹 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 6月6日
 ②協議内容 ○24年度開催予定
 ○自然災害等による緊急時の対応について
 ○地域における子どもの様子
 ○通学路の交通安全
- (2) 第2回 ①実施日時 10月18日
 ②協議内容 ○校内研究提案授業（国語…説明文）
 ・授業参観
 ・研究協議会参加
- (3) 第3回 ①実施日時 1月17日
 ②協議内容 ○学校支援ボランティアの活動状況
 ○不審者等対応についての地域との連携
 ○冬期間における児童の安全な登下校の確保
 ○感謝状の贈呈の提案

「1月17日第3回協議会」



2 具体的な取組状況

- (1) 本の読み聞かせ
2名，年間各学級7～8回（年間90回程度），朝自習の時間帯（8：00～15）
- (2) 図書環境整備
5～6名，定期（火曜日，水曜日の9時～12時）

本の修理・カバー装着・ラベル張り

(3) 実習補助

調理実習の補助 1 1 月(4名) 2回, 1 2 月 (4名) 1回

ミシン掛け補助 1 1 月 (3名) 1回

「本の読み聞かせ」

(4) 引率補助

生活科町探検引率補助 1 1 月 (4名) 1回

3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 2 4 人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 1 6 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数 1 6 人

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 0 人

「本の修理」



「ミシンがけの補助」



4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の代表の方々との話し合いの中で、学校で把握しきれない子どもたちの様子や、子どもたちを見守る様々な地域組織の活動の様子について情報を得られるようになった。また、学校で行っている教育活動について、説明・質疑応答を重ねるうちに、学校についての理解が進んでいる。校内研の提案授業の参観と研究協議にも参加していただき、授業研究への取り組みの様子も肌で感じていただいた。いかにして子どもたちに学ばせていくか真剣に協議する教師の熱意に感動していた。
- ・学校支援ボランティアを募り、授業や生活科の町探検引率補助等で活動していただいた。また、本の修理等のためボランティアが定期的に活動してくださるようになり、図書環境の整備に大変役立っている。

(2) 課題

学校支援ボランティアの登録者数が思ったほど伸びていない。地域、保護者に募集をしたが、当の保護者が活動しているボランティアに、「なぜ学校にいて、何をしているのか」と問いかけるなど、活動の趣旨や活動内容を理解していない様子が見受けられる。よって、来年度PTA総会等での、わかりやすい説明を行い、再度募集を呼びかける必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治小学校

校長 梅村 千鶴子



1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月21日(月)

②協議内容

- ・委嘱状交付式
- ・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会会則審議
- ・会長、副会長の指名
- ・明治小学校、明治中学校の学校経営方針説明(学校目標を含む)
- ・今年度の計画審議



(2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月4日(火)

②協議内容

- ・明治小学校、明治中学校の学校評価の説明及び審議
- ・明治小学校、明治中学校の学校支援進捗状況の説明及び審議

(3) 第3回 ①実施日時 平成25年2月26日(火) 予定

②協議内容

- ・明治小学校、明治中学校の成果と課題の説明及び審議
- ・明治小学校、明治中学校の学校支援の成果と課題の説明及び審議
- ・来年度の協議委員について

2 上記以外の会議の実施状況

- ・特になし

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動

①学習活動支援 …学級担任や行事担当者からの依頼を受けて随時活動。朝のスキルタイムでの丸付け4人・給食配膳補助16人・サツマイモ苗植え指導16人・八幡馬踊り指導16人・焼き芋会手伝い7人・学区探検補助8人・スケート靴の紐結び30人等の活動を行った。

②図書館整備支援…一人の方が中心となって3名のスタッフで年間30回程度の活動。主な活動



内容は名簿の更新作業・図書登録・本の整備（ブックコート）・図書室の装飾・担当教師との打ち合わせである。



③読み聞かせ支援…5月から3月までの毎週月曜日の朝に 2~3 名のスタッフが学級を訪問し、本や紙芝居の読み聞かせを行っている。

(2) 部活動

①部活動指導支援…通年、放課後を中心に野球部 1 名・サッカー部 3 名・ミニバス部 1 名・スケート部 2 名・音楽部 1 名が指導者として活動している。（毎年 4 月に委嘱状を交付）

②部活動撮影支援…部活動の保護者を中心に担当者を依頼し、対外試合の様子をビデオやカメラに記録し、各部に寄贈している。



③引 率 支 援…陸上競技会とスケート競技会への参加にあたって、引率支援ボランティア 1 名を配置し、児童の安全確保に協力している。

④部活動見守支援…野球部・サッカー部・ミニバス部・スケート部・音楽部に対して、通年の放課後に指導者が練習に入るまでの間、各部で 1 名のボランティアが練習を見守っている。

(3) 安全安心活動

- ①交通安全支援 … 9月25日(火)に6年生がドライバーにマスコットを配りながら安全運転を呼びかけた。地域からも交通指導隊やボランティアが支援に参加した。
- ②防犯パトロール…通年、全校児童が5時間授業で下校する水曜日の放課後に、9名で組織している巡回ボランティアによる学区内巡回を行っている。
- ③朝の立哨支援 …夏休みと冬休み明けの3週間、通学路の11箇所でボランティアが登校の街頭指導を行った。延べにすると約300人が参加した。
- ④安全安心まちづくり音楽祭 … 10月12日(金)に県警音楽隊を招いて音楽祭を実施。約600人の地域住民が体育館を埋め尽くした。
- ⑤地域総合防災訓練… 11月7日(水)の地域総合防災訓練に約400名が参加。消防署からは起震車や梯子車などの体験コーナーも設けられた。



(4) 環境整備活動

- ①奉仕作業 … 5月20日(日)と9月2日(日)に除草や花壇整備を中心とした奉仕作業を実施した。どちらの回も、100名を超えるボランティアが参加した。
- ②資源回収 … 5月～10月に6回の資源回収を実施した。回毎に担当学年を分担したことによって、毎回10名前後のボランティアの協力を得ることができた。
- ③校内清掃 … 10月20日(土)には4名のボランティアが特別教室の清掃を実施。3月にはボランティアによる清掃活動を計画している。

(5) 交流連携活動

- ①八幡宮大祭参加…相撲大会の運営・まわし付け補助に30人、流鏝馬の着替え補助に20人のボランティアが参加した。また、大祭期間は延べ20人が巡視を行った。
- ②学区民体育祭参加…8月26日(日)中学校を会場とした運動会が行われた。中学生の活躍のおかげで小学生は保護者と共に大いに楽しむことができた。



4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 15人
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 1人
※他の方はPTA安全互助会に加入



5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・平成20年度から学校支援地域本部事業に取り組んでいることもあり、地域との連携には充実したものがあつた。地域密着型教育への取り組みは2年目となるが、地域関係者・学校職員・学校支援コーディネーター・PTA役員等には地域全体で子どもを育てようという意識が定着している。
- ・小中学校が合同で本事業に取り組むことによって、学校間の情報交換が密になり、ジョイントスクールやグッジョブ事業での連携がスムーズになった。また、会議の回数が減らせることも、協議委員の負担軽減に役立っている。
- ・ボランティアの方々に学習面や行事面に協力いただくことで、内容の充実と教師の負担軽減が実現し、基礎学力の定着・豊かな心の育成などの「生きる力」の育成に役立っている。

(2) 課題

- ・学校だより等で本事業への取り組みは紹介しているものの、一般の地域住民や保護者への浸透は今一歩である。分かりやすくタイムリーな情報の発信と、具体的な活動を共有し合うことによって理解を深める必要性を感じる。
- ・協議委員の活動や所属を分担制にするなどして、分科会的な話し合いの場も設けていきたかったが、個々が多忙であり、活動時間を共有することは困難であつた。協議委員の人選も含め、動ける人材を確保していくことが課題である。



平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立轟木小学校

校長 木 田 邦 彦 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|--|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年11月21日(水) |
| | ②協議内容 | ア 委嘱状交付
イ 行政説明
ウ 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・会則の承認 ・会長・副会長指名, 挨拶 ・地域学校連携協議会組織, 年間計画について ・学校経営方針等説明 ・審議 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成25年1月25日(金) |
| | ②協議内容 | ア 学校評価に関する説明及び審議
イ 連携活動の現状と課題の説明及び審議
ウ 来年度の予定に関する説明及び審議 |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成25年3月(予定) |
| | ②協議内容 | ア 今年度の成果と課題の説明及び審議
イ 来年度の教育計画についての説明及び審議 |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会 ①実施回数 1 回＜平成 2 4 年 1 0 月 2 6 日（金）＞
②構成メンバーの概要 地域代表 5 名，保護者代表 3 名，学校代表 3 名
③検討内容 ・地域密着型教育の方針検討
・会則，組織の検討
・協議会委員の選定確認
・第 1 回協議会打合せ
- (2) 企画推進部会 なし
- (3) 専門部会 なし

3 具体的な取組状況

- (1)部活動支援
- ・野球部、ソフトボール部に各1名のコーチを依頼。主にシーズン中の技術指導や大会参加の際の学校指導者の補助
 - ・太鼓部に4名の指導者を依頼。月に1～2回程度、土曜日又は日曜日に太鼓の演奏について技術指導
- (2)生産活動への支援
- ①学校田での米づくり支援
- 5月～11月にかけて耕起、代掻き、田植え、草取り、稲刈り、脱穀作業 約20名

その他に随時、水管理や畦の草刈り

②学校畑での作物栽培支援

5月～11月にかけて、畑の耕起、栽培している作物の栽培方法についての助言や各種作業の補助を主に児童の祖母1名に依頼

(3)環境整備

①5月13日(日)校地内草刈り及び校庭整地作業、15名(春の廃品回収と同日実施)

野球部・ソフトボール部ベンチ補修 2名

②9月 2日(日)校地内樹木の枝払い作業 4名

③9月15日(土)学校田周辺及びマラソンコースの草刈り作業 約10名

(4)廃品回収

①5月13日(日)春の廃品回収 約40名

②10月28日(日)秋の廃品回収 約50名

(5)夏休みプール監視

・市川中学校プール運営委員会として、プール開放の際の本校割当分の13回のプール監視
PTA 会員60名全員及び職員10名

(6)学習及び学校行事・PTA 行事の支援

①11月11日(日) 「とどろきまつり」

・昔の遊びを通しての祖父母との交流活動に地域の祖父母約20名
餅つきの手伝いに保護者、祖父母約20名

・同日午後開催のPTA バザーは学年毎に出店を担当し、ほぼ全員の保護者が参加

②その他、交通安全教室やマラソン記録会、スケート教室などの補助として保護者が数名参加

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0人(保護者含む)

※今年度は本事業としてのボランティアの募集はしていない。25年度募集、登録予定。

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会を設立したことで、学校の運営方針や教育活動の状況を説明する機会が明確になり、地域関係団体との情報の共有が図られるようになった。
- ・地域の方々の学校への関心が高まり、協力・支援を得やすい状況が生まれつつある。
- ・地域の方々の支援をいただく中で、児童と地域の方の交流が図られ、児童の地域理解が深まった。

(2) 課題

- ・児童数の減少、PTA 会員の減少に伴い、地域住民の教育活動への支援の必要性が高まることが予想され、ボランティアの登録増を進める必要がある。特に、学習支援及び児童の安心・安全に関わるボランティアの充実を図りたい。
- ・今年度は主に学校での活動への支援が主であった。次年度以降、地域の諸活動に子どもたちがどのように関わっていけばよいか検討する必要がある。
- ・次年度は市川中学校区5校が本事業に取り組むことになる。委員やボランティア、活動等について連携、調整が必要になるのではないか。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎小学校

校長 上 條 政 樹 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月27日(水) 19:00～
 ②協議内容
 ・委嘱状交付
 ・会則及び組織に関する審議
 ・学校経営方針、重点施策の説明及び審議 等
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月14日(金) 19:00～
 ②協議内容
 ・学校の現状と課題の説明及び審議
 ・学校評価に関する説明及び審議
 ・情報交換 等
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年2月12日実施予定
 ②協議内容
 ・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
 ・来年度の教育計画についての説明 等

2 具体的な取組状況

(1)安全・安心活動

- | | | |
|--------------|----------------|--------|
| ・下校時の児童への声かけ | 毎週水曜日(通年) | 毎回3～4名 |
| ・地区の巡回指導 | 毎週木曜日(6月～10月) | 毎回4～6名 |
| ・登校時の交通安全指導 | 4月10～12日(火～木) | 約40名 |
| | 9月24日～26日(月～水) | 約40名 |

(2)環境整備活動

- | | | |
|-----------------|----------|-------|
| ・校庭整地 | 4月 8日(日) | 1名 |
| ・校庭整地 | 5月 2日(水) | 1名 |
| ・運動会前の校庭の草取り | 5月13日(日) | 約80名 |
| 側溝の泥あげ | | |
| ・相撲大会前の土俵周辺の草刈り | 8月26日(日) | 約100名 |
| 土俵整備、校舎の窓ふき | | |
| ・駐車場の除雪 | 12月～3月 | 2名 |

(3)教育支援活動

- | | | |
|-----------------|--------------|--------|
| ・田植えから精米までの米作り | 4月～11月 | 毎回1～5名 |
| 畑作物の栽培に関する活動支援 | | |
| ・1・2年生への学習支援 | 9月～3月(毎週火・金) | 1名 |
| ・七崎音頭指導 | 5月9～17日(水～木) | 1名 |
| ・郷土の学習 七崎屋半兵衛の話 | 11月27日(火) | 1名 |

・大豆のふしぎ 発展学習 豆しとぎづくり	11月28日(水)	1名
・餅つきに関する活動支援	12月 4日(木)	12名

(4) 行事支援活動

・相撲の作法指導	8月31日(金)	2名
・相撲大会準備、運営、審判 後片付け	9月 8日(土)	約40名
・相撲大会用のシート片付け	9月16日(日)	約30名
・マラソン大会巡視	5月19日(土)、10月26日(金)	各15名
・学習発表会後の後片付け	10月14日(日)	約20名

3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数	75人(全保護者を含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数	7人
※地域密着型教育予算による保険加入者数	7人
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数	0人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・今年度、中学校が地域学校連携協議会を立ち上げたことにより、小・中学校一体となって地域密着型教育に向かう足並みがそろい、共通の取組ができるようになった。
- ・地域学校連携協議会を通して委員の方々に学校経営の方針や重点施策、取り組み等を理解してもらうことができた。また、学校の状況を報告し、急なお願いに対しても素早く応じていただいた。
- ・地域密着型教育に取り組んで、多くの地域の方々が小・中学校の教育活動を支えてくれていることが見えてきて、改めて地域のよさを確認することができた。

(2) 課題

- ・地域学校連携協議会の組織を、地区町内等のバランスを配慮して編成したが、実施してみても参加できない委員もみられ、組織については検討していきたい。
- ・委員の負担を考え、会議の持ち方については、限られた時間の中で効率よく進めることができるように工夫をしていきたい。
- ・地域学校連携協議会での協議内容を保護者や教職員にも更に情報発信していきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立新井田小学校

校長 佐藤 宏美



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年 5月29日（火）18:00～19:30
②協議内容 ア 委嘱状交付
イ 会則の審議
ウ 正副会長の選任
エ 学校経営方針，児童生徒の現状等についての説明
オ 意見交換
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月19日（水）18:00～19:30
②協議内容 ア 学校目標に係る自校評価結果の説明
イ 自校評価に対する質疑応答、意見集約
ウ 指導・助言（八戸市教育委員会指導主事）
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年 2月28日（木）18:00～19:30
②協議内容 ア 学校評価の総括
イ 次年度の計画の確認
ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

企画推進部会及び専門部会については、設置していない。ボランティア活動やPTA活動、生徒会活動等との関連性や方向性と合わせて、その必要の有無を検討しているところである。

3 具体的な取組状況

- (1) 図書支援 活動内容・・・本の貸出し・修理，図書室の環境整備，学級図書の入替え
期日，回数・・・毎週金曜日を基本（4月～1月末まで 計28回）
参加人数・・・登録者20名のうち1回3～5名参加
- (2) 環境整備 活動内容・・・校地内の草刈り・草取り
期日，回数・・・5月～10月末まで 計5回）
参加人数・・・累計78名参加

- (3) 安全指導 活動内容・・・登下校の安全指導
期日，回数・・・毎日
参加人数・・・登録者 11 名
- (4) 部活動指導 活動内容・・・卓球部の指導
期日，回数・・・週に 1 回程度
参加人数・・・登録者 1 名
- (5) その他 コーディネーターによる地域学校連携協議会だよりの作成、発行

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 95 人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 44 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の距離が縮まっていると受け止めている。
- ②地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見を改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。
- ③コーディネーターが中心となって、ボランティアに係る人材確保及び連絡調整が進み、ボランティアによる支援が定着してきている。

(2) 課題

- ①教職員の校務分掌組織や P T A 組織、P T A 活動との関連性を図ることによって、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。
- ②児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域のために活動する機会を積極的に作りだしていくことが重要である。
- ③三校合同の組織であることから、コーディネーターの負担が大きくならないようにするとともに、各学校との連絡調整が円滑に進むように、コーディネーターの複数体制に向けて調整中である。
- ④地域と連携した防災体制づくりや防災訓練の実施に向けて具体的に協議していく必要がある。
- ⑤地域密着型教育の推進が、教職員や児童生徒、保護者の過度な負担にならないように留意して進めていく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 松館小 学校

校長 湊 昌 三



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成24年5月29日(火) 18:00～19:30

②協議内容 i)委嘱状交付

ii)会長あいさつ

iii)校長あいさつ

iv)議事

ア)会則について イ)正副会長選出

ウ)学校経営、児童生徒の現状等についての説明 エ)今後の予定

v)教育委員会講評

vi)校長あいさつ

(2) 第2回

①実施日時 平成24年12月19日(水) 18:00～19:30

②協議内容 i)会長あいさつ

ii)校長あいさつ

iii)議事

ア)学校運営の状況説明 イ)学校運営状況についての意見交換

ウ)今後の予定

iv)教育委員会講評

v)校長あいさつ

(3) 第3回

①実施日時 平成25年2月28日(木) 18:00～19:30

2 上記以外の会議の実施状況(開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入) 特記事項なし

3 具体的な取組状況

事 柄	期 日	回数	参加人数	主な内容
クラブ活動 支援	8.30(木)、9.6(木)	2	延べ2名	陸上競技指導
	9.20(木)	1	1名	松館川 釣り体験
	10.18(木)、10.25(木)	2	延べ3名	ネオホッケー指導

	12. 11(木)	1	1 名	小物づくり
	2. 14(木) : 予定	1	2 名	お菓子作り
お話会	5. 11(金) 、 6. 18(月) 9. 12(月) 、 11. 5(月) 1. 31(木)	5	延べ10名	「紙風船」によるお話会、読み聞かせ
登校指導	4. 9(月) ～13(金) 9. 24(月) ～28(金) 12. 11(火) ～21(金)	20	保護者 延べ40名	交通安全母の会並びに保護者による朝の交通安全指導
米づくり 体験学習	6. 5(火)	1	9 名	田植え体験
	9. 28(金)	1	9 名	稲刈り体験
	10. 25(木)	1	6 名	脱穀体験
行事支援	4. 25(水)	1	1 名	臥龍梅の会
	6. 3(日)	1	約20名	運動会
	7. 11(水)	1	1 名	短歌教室
	9. 7(金)	1	1 名	陸上競技大会補助
	11. 11(日)	1	20名	ありがとう収穫祭餅つき補助
	11. 19(月)	1	2 名	地域安全マップフィールドワーク 児童引率補助
環境整備	5. 27(日)	1	90名	校庭整備

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 2 人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 2 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①今年度も保護者のみならず、たくさんの地域の方々からの支援を受けながら教育活動を展開することができた。小規模校だけに保護者・地域の協力があって、初めて活動が円滑に進められる。
- ②たくさんの人に見守られているという安心感からか、子どもたちは落ち着いた生活態度で、他者を思いやる心も育っている。三世代が交流する機会などもあり、情操面の育成には地域との連携した教育活動は欠かせないものとなっている。

(2) 課題

- ①「歴史と信仰の里」と呼ばれる地域だけに、学習活動と関連づけられる「人・もの・こと」が多数眠っている。今後も各教科・道徳・総合的な学習などにおいて地域教材との関連を図る工夫をし、地域の人材を活用する機会を増やしていく。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立旭ヶ丘小学校

校長 鳴 海 秀 彦



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月7日（木） 18:30～20:00

②協議内容

- ・会則の確認
- ・組織について
- ・今年度の事業計画について（各団体の行事確認）

(2) 第2回 ①実施日時 平成24年9月11日（火）

18:30～20:00

②協議内容

- ・1学期の取り組み状況
- ・1学期の子どもたちの様子及び情報交換
- ・今後の取り組み方について

(3) 第3回 ①実施日時 平成25年1月24日（木） 18:30～20:00

②協議内容

- ・地域密着型教育の推進状況報告及び学校関係者評価について
- ・来年度の方向性の検討
- ・情報交換

(4) 第4回 ①実施日時 平成25年2月21日（木） 13:55～14:40

②協議内容

- ・子どもたちや教師の授業に対する様子について
- ・情報交換



2 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

7月 4日（水） 学校保健委員会主催「すこやか会議」

テーマ「よりよい人間関係をめざして～気持ちを上手に伝えること」

講師 八戸市総合教育センター 臨床心理士 高橋 育子氏

（児童、保護者、教員、地域連絡協議会委員 計約600人）

10月19日（金） マラソン大会全校児童参加（保護者引率補助ボランティア8名）

11月 8日（木） 3学年地域の名人発見
（ボランティア13名）

11月15日（木）～16日（金）
6学年職場体験学習
（保護者引率ボランティア計10名）



(2)安心・安全部会（安全づくり）

8月 4日（土） 旭ヶ丘祭り山車引き子及び夜間巡回
として職員参加 （計14名）

(3)環境整備部会（環境づくり）

5月13日（日） 校庭除草作業 （児童、保護者、
地域住民、教員 計240名）

(4)図書部会（心づくり）

6月26日（火） 読み聞かせ・本の修理・整理整頓
(保護者16名)

10月17日（水） ” (保護者19名)

12月 3日（月） ” (保護者15名)

1月25日（金） ” (保護者12名)



3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 94人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①学びの質の向上が図られた

- ・地域の事業所や教育支援ボランティアの協力により、より専門的な内容を教えてもらったり、個に応じた丁寧な指導をしてもらったことにより、児童の確かな学びが見られた。また、引率補助等をしてもらうことにより児童の安全が十分確保された。

②一年間を見据えた役割分担や協力体制が明確になった

- ・学校、地域、保護者がそれぞれすべき仕事内容を明確にし、各団体のスケジュール一覧を作成することで、より効率的に協力して活動できるようになった。

(2) 課題

①非常災害時の旭ヶ丘地区防災対策本部との連携のあり方

- ・普段からどのようにして旭ヶ丘地区防災対策本部と連絡を取り合っていくか。また、非常災害時における旭ヶ丘地区防災対策本部と学校との役割をどのように分担していくかを明確にしていく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立市野沢小学校

校長 田 村 滋 子 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①平成24年7月8日(日) 9:00～12:00
②協議内容
9:00～授業参観
10:00～すこやか会議（学校保健委員会）参観
11:00～理事会
ア 学校経営方針・重点施策の説明及び審議
イ 学校支援ボランティアについて
ウ 情報交換・次回の予定確認
- (2) 第2回 ①平成24年10月 2日(火) 18:30～
②協議内容
ア 前期の地域密着型教育の進捗状況について
イ 子ども会冬祭り・PTA バザーへの協力要請
ウ 学校支援ボランティアの推薦
エ 情報交換、次回の予定確認
- (3) 第3回 ①平成25年 1月24日(木) 18:30～
②協議内容
ア 学校の現状と課題の説明及び審議
イ 学校評価に関する説明及び審議
ウ 来年度の教育計画について

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入） 準備委員会・企画推進部会・専門部会（開催なし）

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備(PTA との連携で実施)

- ①5月13日(日)6:30～敷地内の草刈り
②7月 1日(日)6:30～敷地内の草刈り・桜の枝払い
③9月16日(日)6:30～校地内の草刈り
④11月18日(日)8:30～校舎内の清掃

(2) 学校支援ボランティアによる環境整備(登録)

- ① 6月 4日(月)10:00～花壇への花植え作業 10名のボランティアによる
② 7月12日(木)10:00～トイレの戸修繕 1名のボランティアによる
③ 7月13日(金)13:00～トイレの戸修繕 1名のボランティアによる
④ 7月30日(月)10:00～体育館更衣室戸修繕 1名のボランティアによる
⑤10月21日(金) 9:00～花壇の花植え作業 11名のボランティアによる

(3) 学校支援ボランティアによる環境整備(登録外の有志)

- ①学校農園耕耘作業、4月・5月・11月3回
②学校の階段除雪作業12月～2月

(4)学習支援

- ①読み聞かせボランティア(のいちごの会) 4月～2月全12回(学年2回の読み聞かせ)
- ②親子農園農作物を植える指導者1名、EM菌を活用した環境教育の授業指導者1名
- ③ヒマワリの種を植える作業の指導者1名
- ④ブルーベリー学習の指導者1名
- ⑤10月13日(土)の学習発表会に向けた南中ソーランの指導者1名
- ⑥4年そば打ち体験指導者1名、祖父母ボランティア7名参加

(5)PTA 行事支援(子ども会冬まつり・PTA バザー)

長年続けてきた「子ども会冬まつり」に、2年目の PTA 主催のバザーを実施した。担当の保健委員会だけでは各コーナーの運営が困難であるため、父親のボランティア(大鍋雑煮づくり・射的・くじ引き担当)11名の参加を得ることができた。

また、老人クラブからのコーナー(甘酒)やお年寄りのクルミ餅づくりも加わり、三世代の交流となった。餅つき、どんと焼き、繭玉飾り、お雑煮等のお正月の伝統的な行事を体験するほか、射的やくじ、軽食販売等もあり、子どもも保護者も地域の方々も一緒に楽しい一時を過ごすことができた。人が多く集まったのは、地域密着だよりを地域住民へ配布し、広く参加を呼びかけた成果だと思われる。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 26人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 13人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①理事会メンバーから、授業の様子や学校行事・教育活動についての感想やアドバイスいただくことができ、教育活動の充実につながった。
- ②コーディネーターが、地学連だよりを発行し、情報発信したことにより、ボランティアの申込がいくつかあり支援をいただくことができた。コーディネーターが PTAOB であり、地域をよく知っているので、学校と地域をつなぐ役割を果たしてくれた。
- ③11月7日(水)収穫感謝祭を実施し、日頃お世話になっている地域の方々やボランティアの方々を招待し、感謝の気持ちを伝えるとともに、地域の方々と子どもたちのつながりができた。
- ④ PTA バザーについて、理事からお知らせを出すようにアドバイスをいただき、地学連だよりの他、ポスター掲示も行った。それにより昨年度より参加者が増加した。さらに、老人クラブや祖父母の参加も増えた。三世代の交流につながった。
- ⑤学校評価について、次年度につながる建設的な意見をたくさんいただくことができた。

(2) 課題

- ①環境整備のボランティア(花壇づくり・修繕)登録は数名固定化するようになってきたが、ゲストティチャーの登録はまだまだ少ない。(親子農園、EM菌、そば等数名)今後、社会科や生活科・総合の学校支援ボランティア登録を増やしていきたい。
- ②今年度、徐々に地学連だよりの発行ができるようになってきた。ボランティア活動の様子やボランティアの募集を中心に作成してきた。次年度は、本校の日常の教育活動の様子も発信していくようにしたい。
- ③地域密着型教育コーディネーターと本校職員とのコミュニケーション不足がある。先生方の支援してほしい内容、支援してほしい人等の情報交換を密にする方法を考えていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 中野小 学校

校長 山田 真寿美 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月11日（月）16時～17時
②協議内容
- ・委嘱状交付
 - ・学校経営方針、今年度の学校目標の説明
 - ・学校評価に関わる説明
 - ・年間事業計画及び会則等の確認
 - ・その他 情報交換など
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年10月13日（土）15時～16時
②協議内容
- ・子どもたちの様子等についての意見交換
 - ・学校行事等に関するご意見、ご要望等
 - ・ボランティア活動計画等の確認
 - ・その他 情報交換など
- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年11月27日（火）13時30分～14時45分
②協議内容
- ・評価アンケート結果及び自己評価に関する説明
 - ・学校評価に係るご意見、ご要望等（学校関係者評価）
 - ・収穫感謝祭を通しての意見交換
 - ・その他 情報交換など
- (4) 第4回 ①実施日時 平成25年1月22日（火）18時～19時
②協議内容
- ・学校評価に関する報告及び質疑応答
 - ・今年度の事業報告及び次年度の事業計画の確認
 - ・その他 情報交換など

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

（なし）

3 具体的な取組状況

- (1) 行事等への支援 (PTA 及び地域諸団体)
- ① 学区合同運動会 H.24.5 月 中野づくりの会、会場準備、用具係等
 - ② 学習発表会 H.24.10 月 中野神楽保存会、中野神楽の指導 (10 日間程度)
 - ③ 収穫感謝祭 H.24.11 月 中野づくりそばの会、そば打ち体験の指導
- (2) 農業生産活動への支援 (PTA 及び地域の有志)
- ① 学校農園整備 H.24.5 月 畑の耕耘、マルチがけ
 - ② もち米づくり H.24.5 月～11 月 代掻き、田植え、管理、稲刈り、脱穀、精米
※もち苗提供…中野稲作地域資源保全隊
 - ③ そばづくり H.24.6 月～11 月 畑の耕耘、種まき、そば刈り、脱穀、製粉
- (3) 環境整備への協力 (PTA 及び学区住民)
- ① 奉仕作業
 - ・校地内草取り、草刈り…PTA 及び学区住民、年 2 回
 - ・花壇整備…PTA 及び地域の有志
- ※花苗提供…なかの地域資源保全隊、地域の有志
- (4) 安全・安心に関わる活動 (PTA 及び交通指導隊)
- ① 学区内巡視 夜間の巡回指導、年 6 回
 - ② 街頭指導 通学路交差点等による安全指導、年 2 回 (春、秋)
- (5) 地域交流活動
- ① よさこいの出演…ピアドゥ祭り、中野祭り、かがくかん祭り、福祉施設訪問
 - ② PTA 主催地区レクリエーション…バス旅行 (くずまき方面)、9 月実施、年 1 回
 - ③ JS 事業…中沢中学校区合同発表会、小小交流学習、授業参観等、J S 講演会
 - ④ 収穫感謝祭…交流会、会食への招待、年 1 回
 - ⑤ 中野神楽の披露…学習発表会、ビデオライブラリー収録、南郷区芸能発表会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0 人 (保護者含む) ※登録はしていない。
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 16 人 ※地域密着型教育予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ・保護者や地域と連携した農業生産的活動や奉仕活動、伝統芸能の取組、様々な形の交流活動等は、子どものキャリア発達の育成に貢献した。
 - ・地域学校連携協議会理事会における意見交換や情報交換等を通して、学校と地域との意思疎通及び子どもの健全育成に関わる願いの共有を図ることができた。
- (2) 課題
- ・学校からの情報発信等を密にし、さらに「開かれた学校」をめざしていきたい。
 - ・教育活動に対する具体的な支援を呼びかけて、地域の人材・教育力の活用を図りたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鳩田小学校
校長 澤 田 保



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月14日(木)
②協議内容
○委嘱状交付式(委嘱状交付, 校長あいさつ)
○会長指名, 副会長指名, 会則承認, 会長・副会長あいさつ
○運営組織について(教頭)
○今年度の学校経営について(校長)
○質疑
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年11月22日(木)
②協議内容
○今年度の状況について説明(教頭)
・教育活動について, 学校評価について
○質疑
○学校関係者評価の実施(委員による評価)
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年1月19日(木)
②協議内容
○学校評価についての説明(教頭)
・学校目標・学校課題についての教職員のアンケート結果について
・保護者・児童アンケート結果について
・学校評価結果を受けての成果, 課題, 改善策等について
○質疑
○学校林について, 適正配置事業について



(第3回協議会)

2 上記以外の会議の実施状況 ・企画推進部会, 専門部会ともに開催なし

3 具体的な取組状況

(1)環境奉仕作業

- ・5月13日(日), 9月30日(日)の春秋2回
- ・各回とも約120名(保護者, 学区民, 教職員, 児童)
- ・学校敷地内の環境整備(草刈り, 草取り, 校庭整備, 校舎内の窓拭き, ロープ塔撤去等)



(奉仕作業・9月)

(2)小学校・学区合同運動会

- ・5月20日(日)
- ・約200名(児童, 教職員, 保護者, 学区民)
- ・鳩田学区推進協議会との共催。運営を学校, 学区民が分担し合い, お互い協力して行う。

(3)親子キャンプ

- ・7月21日(土), 22日(日)
- ・約70名(児童, 保護者, 教職員, 学区民)
- ・親子で協力しながら, テントを設営したり, 夕食づくりをしたりする。キャンプファイヤー花火, 肝試し, フットベースボール, スイカ割り等のレクリエーションを行う。

(4)学校田活動

- ・4月初植え, 5月田植え, 10月稲刈り・脱穀
- ・約50名(児童, 保護者, 教職員 学校田地主, 水田管理者, 老人クラブ)
- ・米作りに関わる作業を保護者, 学区民の協力を得て行う。日常の水田管理は, 学区の方に協力をお願いしている。



(脱穀作業)

(5)図書読み聞かせボランティア

- ・各週木曜日の朝自習の時間
- ・15名(児童, 読み聞かせボランティア, 教員)
- ・1・2年生を対象に読み聞かせを行っている。また, 年4回, 読み聞かせサークル「野いちごの会」の読み聞かせを業間時間に行っている。

(6) さわやかグランドゴルフ大会

- ・ 9月18日(火)
- ・ 約60名(児童, 老人クラブ, 保護者, 教職員)
- ・ 鳩田学区推進協議会との共催で実施し, グランドゴルフを通してお年寄りとの交流を図る。

(グランド
ゴルフ)



(7) 収穫感謝祭

- ・ 12月7日(木)
- ・ 約60名(児童, 保護者, 老人クラブ, 学区民)
- ・ 収穫した餅米を利用した料理を作り, 保護者, 学区民, 老人クラブ皆さんに食べていただき, 感謝の気持ちを表す。水田を管理していただいた方に感謝状を贈る。

(8) 鳩田学区子どもえんぶり組の活動

- ・ 5月～2月
- ・ 約60名(児童, 地区えんぶり指導者, 保護者, 教職員, 中学生)
- ・ 年間を通して, えんぶりの練習を地区えんぶり指導者や保護者の協力を得て行っている。その成果を学習発表会, 中沢中学校区合同発表会, 地域伝統芸能まつりなどで発表している。

(お囃子の練習)



(9) 小・中ジョイントスクール推進事業

- ・ 中沢中学校での部活動見学会(4～6年 夏休み 中沢中学校区の3つの小学校が, 中沢中の部活動を見学したり, 体験したりする。)
- ・ 中沢中学校区合同発表会への参加(全校 10月 4つの小・中学校が合同で発表する。本校は, 鳩田学区こどもえんぶりを披露する。)

(合同発表会)



(10) ふるさと味の交歓会への参加

- ・ 2月14日(木)
- ・ 約100名(児童・教職員・保護者・学区民)
- ・ 鳩田学区推進協議会主催の「ふるさと味交歓会」へ全校で参加している。そば打ち体験をしたり, 各地区ごとのそば料理を食べたりしながら学区民のみなさんと交流を図っている。参加の御礼に, 「鳩田学区こどもえんぶり」を披露している。

(味の交歓会)



※他に, 学校農園活動・交通安全指導・巡回指導・スキー場整備・学校林管理, 除雪等への協力を得ている。

4 ボランティアの状況

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 6人(保護者含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0人(P T A安全互助会に加入している。) |
| ※地域密着型教育予算による保険加入者数 | 0人 |
| ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・ 学校の教育活動やP T A活動, 地域の活動を鳩田学区全体でお互いに連携し, 協力しあいながら行うことができた。お互いに成就感, 満足感を得ることができた。
- ・ 地域学校連携協議会委員の方々は, 各行事や連携協議会, 授業参観等を通して, 学校についての理解度が増したと感じられる。その中でご意見や評価をいただき, 課題解決へ向けての学校運営改善に役立てることができた。
- ・ 地域や保護者の方々から様々な協力をいただくことで, 児童は感謝の気持ちと地域に対する愛着の気持ちを実感することができた。

(2) 課題

- ・ 図書の読み聞かせボランティアだけでなく, 地域の中の人材の発掘を行い, 学校に協力できるボランティアを増やして, 教育活動の充実につなげていきたい。
- ・ 地域密着型教育について, 学区民に理解いただけるような情報発信の仕方を工夫していきたい。
- ・ 防災に関わる学校と地域の連携・協力, 対応等の相互理解を関係諸団体(区会, 消防団, 防犯協会, 交通安全協会)と進めていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守小学校
校長 玉田 嘉昭



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ① 7月9日（月）18：30～20：00 於：島守中（今年度事務局校）

② 【協議内容】

- ・委嘱状交付式（教育委員会）
- ・今年度の計画及び地域との連携事業について説明（小・中教頭）
- ・今年度の学校教育について説明（小・中校長）
- ・学校関係者評価についてのお願い（事務局）

(2) 第2回 ① 11月20日（火）18：30～20：00 於：島守中

② 【協議内容】

- ・地域との連携事業についての中間報告（小・中教頭）
- ・1回目の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告（小・中校長）
- ・アンケート結果等をもとにした話し合い
- ・これからの実践活動について（「あいさつ+α」運動等）
- ・教育委員会より

(3) 第3回 ① 1月21日（月）18：30～20：30 於：島守中

② 【協議内容】

- ・地域との連携事業についての経過報告（小・中教頭）
- ・2回目の児童・生徒・保護者・教職員アンケート結果による成果と課題について（小・中校長）

※ 「小・中学校学校目標の3つの重点」について、成果と課題をまとめたものを、あらかじめ地域学校連携協議会委員に送付し、学校関係者評価にご協力いただいた。

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 打ち合わせ

① 6月27日 小・中学校校長・教頭打ち合わせ 17：00～

- ・昨年度の地域学校連携委員会等の持ち方を振り返って今年度に生かす話し合い。

(2) 企画推進部会

① 実施回数：2回

② 構成メンバー：小・中学校PTA会長、副会長と小・中学校校長と教頭

③ 検討内容

- < 7月2日 > ・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会の持ち方
- ・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
- ・学校評価計画と地域学校連携協議会に関わる年間計画について

< 12月10日 >

- ・「あいさつ+α」運動
- ・「あいさつ」標語募集について

3 具体的な取組状況

(1) 教育関連事業

① 生活科と総合的な学習の支援

ア 生活科（地域ボランティア・保護者 4回 18人）

- ・1年：育てようさつまいもと野菜（地域の農業ボランティア）
- ・2年：町たんけん（農協・菓子店・自動車販売店・駐在所の方々）

イ 総合的な学習の時間（地域ボランティア・保護者 9回 16人）

- ・5年：無農薬の米作り（地域の米作り名人と保護者）
 - ・3年：そばの研究（そば栽培名人とそば料理名人）
- 水車小屋や石臼での粉ひき

- ・ 6 年：炭を生かす(炭焼き名人、理科支援員)
原理と技法を学んで炭焼き体験（窯入れ）
炭の作り方を体験的に学ばせる(窯出し)
炭のよさの研究と活用、炭のオブジェづくり
受け継ごう地域の方々の願い～炭焼きの未来～

- ②図書ボランティア（6回 7名）
 - ・ 読み聞かせ(野いちごの会)
 - ・ 校内読書週間の図書室整備と飾り付け
 - ・ 教師による全校ブックバイキング

- ③学校行事への支援（数回 58名）
 - ・ 収穫感謝祭餅つき・学校田の管理(P T A 学年委員会)



- (2)環境事業（5回 64名）
 - ①水車小屋・裏庭等の保全作業
(P T A O B 施設管理委員会・P T A 環境委)
 - ②草刈り・窓ふき早朝作業 2回(P T A)
 - ③歩け歩け会と植林活動(島守子供会育成会・市土地改良区水土里ネットはちのへ)

- (3)文化事業（15回 6名）
 - ①島守小学校神楽クラブの活躍
春まつり、生き生きまつり、秋まつり、南郷地域伝統まつり 発表練習と出演
演目は番楽と剣舞(神楽保存会の皆様・教職員)

- (4)交流・連携事業（5回 12名）
 - ①小・中学校合同大運動会・島守音頭の練習
 - ②小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会

- (5)安全対策事業（3回 20名）
 - ①緊急時安全見守り(地域子供会世話人)
 - ②交通安全キャンペーン
(交通安全母の会、駐在さん、交通安全協会南郷支部)

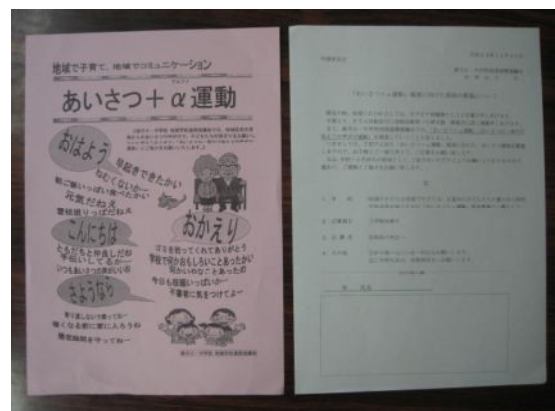
- (6)学校評価を生かした地域への発信(地域学校連携協議会 3回 14名)
 - ①小・中学校 J S 事業及び地域学校連携協議会で明らかになった課題
「自分の考えをもち、進んで伝え合い、他に関わっていこうとする点において消極的」

- ②地域学校連携協議会のねらうところ
 - ・ 思考力・判断力・表現力のうち特に表現力が課題として、小・中学校で、コミュニケーション能力をつけ、行動力のあるたくましい児童・生徒をめざすことが重要

- ③実践化に向けて
 - ・ 地域全体で、「あいさつ」だけでなく「+の一言(α)」を添えてコミュニケーションを図る。

- ④実践の様子
 - ・ 「あいさつ+α運動」：地域で子育て、地域でコミュニケーションをめざして、右のような「ちらし」を学校だよりとともに全戸配布し、地区民に協力を呼びかける。

- ・ 親子「あいさつ標語」募集を小・中学校児童生徒を対象に実施する。



標語…「地域をねあいさつ+αでにぎやかに」
「あいさつは人とつながるチャンスだよ」等

+α…おはよう+早起きできたかい・寒いねえ さようなら+気をつけて帰ってるかい
おかえり+学校楽しかったかい・いつもお仕事ご苦労さま 等

ふるさと応援隊と島守小学校の様子

(6月～1月)

月	日	曜	ボランティア活動内容	○教育関連事業 ・一人一人への「学力の定着」について、小学校では、学力テストの結果の分析等を行いながら、放課後（7校時）のフリータイム、夏休みの学習会等で、ご家庭の協力を得ながら補充学習を進めている。学習に対する姿勢を向上させたく、補充学習・発展学習に力を入れて進めている。 ・学習で身につけた内容を総合的に活用し、学び方を学び、資質や能力を伸ばす目的の「総合的な学習」では、今年度もおかげさまで、左記のように各学年1～2つの大テーマを立て、地域や保護者の皆様のご協力を得て、学習を深めることができた。 ・昨年は、「体験をすること」を繰り返すことで、より深い考え方を導き問題解決に迫ることができた。 今年度はさらに「活用すること」「生かすこと」、6学年では、その中で「働くこと」を考える学習をめざしてすすめた。 ○環境事業と交流・連携事業 ・運動会前の春の草刈り奉仕作業、夏の小川と池の清掃及び草刈り、学習発表会前の秋の窓拭き・草刈り奉仕作業等、PTAの皆様の環境整備へのご協力に感謝したい。 ・各学年の親子学習会、校外学習への保護者のご協力、小・中学校ジョイント事業、保育所との連携事業、小・中合同の運動会等交流・連携が進められている。 ○安全対策事業・文化事業 ・安全面については、春は交通安全教室、秋は、交通安全集会・キャンペーンで、地域の駐在所長さんや、安全協会、交通安全母の会の皆さんの協力を仰ぎながら、自らの安全と地域、そして地域を通るドライバーのみなさんの安全について、行動を起こすことができた。今後は安全マップ、子供女性110番の家の周知も子どもたちから主体に行えたらと思っている。 ・本校「島守小学校神楽クラブ（4～6学年男子21名）」は、神楽保存会の皆様方からご指導いただき、春まつり、生き生きまつり、秋まつり（ふれあい公園観覧席落成）に出演している。今年度は、12月に市教育委員会社会教育課文化財グループからDVD作成のための撮影依頼があり、1月末には南郷地域伝統芸能まつりへの出演も予定されている。地域の方々からは「地域の宝もの」とのお言葉をいただき、子どもたちは大変励まされている。
6	12	火	1 学年親子学習会 ①食教育：はしの持ち方、3つの栄養素②給食試食会 (講師 保護者 岩織悠紀子さん)	
7	3	火	2 学年生活科（まちたんけん） (砂倉菓子店・農協・西モータースの方々) 親子会議	
7	17	火	「気持ちの良い一日のスタートを切るために」 (保健部・PTA保健研修委員会) (講師 南郷保健センター馬渡周子さん)	
7	18	水	6 学年総合的な学習 ・炭焼き体験、原理と技法、 (川原友吉さん、元沢正光さん、外館佐知夫さん)	
9	12	水	4 学年総合的な学習 ・島守学区たんけん隊、四十八社の理解 (松村長一郎さん)	
10	2	火	2 学年生活科（まちたんけん） (砂倉菓子店・農協・西モータースの方々)	
10	5	金	5 学年総合的な学習 自然農法の米づくり 稲刈り (5学年PTA、4. 5. 6年児童)	
10	9	火	6 学年総合的な学習 炭の活用について学ぶ (元沢正光さん)	
10	11	木	1～3年生 さつまいもほり (瑞泉郷の方々、蛇口剛義さん他)	
10	16	火	6 学年総合的な学習 炭の作り方を学ぶ ・窯出しから行い、炭づくりの一連の活動を通して、体験的に学ばせていく (川原友吉さん、元沢正光さん 外館佐知夫さん)	
10	24		6 学年総合的な学習 八戸市小学校教育研究会総合的な学習部会 研究授業発表及び協議会 (ゲストティーチャー元沢正光さん) 会場：島守小学校 参加者68名	
10	30	火	3 学年総合的な学習 そばの実とり (外館佐知夫さん)	
11	9		5 学年総合的な学習 自然農法の米づくり 脱穀 (5学年PTA、4. 5. 6年児童)	
11	25	日	収穫感謝・創立記念祭 (餅つき・お話) (全学年PTA・地域の方々・全校児童) ※12月14日(金) 参観日 全校、生活科・総合的な学習の授業(発表)	
6月～H25. 2月			島守小学校神楽クラブ (神楽保存会)	

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数小学校 50名

(保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。上記は教育・文化・安全対策事業ボランティアの人数)

※地域密着型教育予算による保険加入者数 本年度はなし
(PTA安全互助会に賛助会員として加入12名)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①本校の地域密着型教育が小・中学校一緒に取り組むことで、9年間を見通して子育てを考えることができ、小・中学校に共通した課題について取り組むことができた。「自分の考えをもち、進んで伝え合い、他に関わっていこうとする点において消極的ではないか」という課題に対し、「あいさつ」+αで地域ぐるみの実践活動を開始することができた。
- ②地域ボランティアについては、組織図のとおり、保護者と地域住民が「ふるさと応援隊」として、子どもたちのためにボランティアを引き受けてくれている。生活科や総合的な学習のねらい及び単元のねらいや担任の思いをしっかり受け止めて協力していただくことができた。今年度も学習が充実できたことは大きな成果である。特に「炭焼き」を通しての学習について、地域のボランティアの方をゲストティーチャーにして、本校を会場に小教研「総合的な学習研究会」研究授業を市内の先生方にも見ていただく機会を持つことができた。
- ③地域密着型教育も4年目を迎え、地域の方々それぞれの立場で責任感と使命感をもって子育てをしようという意識の高揚が熱く感じられる。学校に対してたくさんの意見を寄せてくださるようになってきた。
 - ・社会福祉協議会のお年寄りの方々が、子どもたちの言葉がけや態度から、「思いやりの心が良く育っている」と感心していた。健康で長生きしようという気持ちになったそうだ。
 - ・読み聞かせの方々が「聞く力が付いてきており、びっくりしている」と話している。
 - ・登校班の安全な歩き方について、もう少し声かけしたい班がある。歩道の除雪を地域で何とかもっと工夫したい。等
- ④地域の方々の協力を得ながら伝統芸能のよさを地域に発信する機会を今年度も得ることができた。「島守小学校神楽クラブ」の地域の春まつりや生き生きまつり出演、伝統芸能「神楽のDVD作成(市教育委員会)、南郷地域伝統芸能まつりの参加、ふれあい公園観覧席落成神事奉納の舞等。
- ⑤組織運営のあり方については、企画推進部の機能を再確認でき、実践活動を企画推進するために、数回集まったり、連絡を取り合ったりして進めることができた。企画推進部委員を、地域学校連携協議会にオブザーバーとして出席していただいたことで、うまく機能できるようになった。

(2) 課題

- ①今年度も地域学校連携協議会委員の方々に、できるだけ授業や行事においていただき児童・生徒の様子を御覧いただきたいと御案内や地域配布の学校だよりに参観意欲を増すような記事を書いたが、なかなか、土・日・祝日に当たらないと難しい面があった。しかし、それぞれの立場のところで、児童を励ましてくださったり、指導してくださったりしているため、こちらからもっと情報を聞き取るようにしていき、重ねて感謝も伝え、地道に呼びかけていくようにしたい。
- ②「あいさつ+α」については、児童・生徒やその保護者は意識向上してきたが、12月の時点で開始となったため、地域の方々からは、「住民は冬場は寒くて外にあまり出ない。」「ふだん話していない児童・生徒に声をかけするのはなかなかむずかしく、特に中学生には声をかけにくい。」「児童は登校班ですぐ通り過ぎるし、話しているうちに遅れる子が出るのでは。」等、実践に当たっては、むずかしさもでてくる。「+α」を気にし過ぎず、「あいさつ」だけでも十分で、「できれば」ということで、長期的に進めていけるよう働きかけることが大切かと思われる。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第一中学校

校長 伊藤 博 章



1 地域学校連携協議会の実施状況

- | | | | |
|---------|--------|---|--------|
| (1) 第1回 | ① 実施日時 | 平成24年6月5日(火) | 18:30～ |
| | ② 協議内容 | ・委嘱状交付
・今年度の活動について | |
| (2) 第2回 | ① 実施日時 | 平成25年2月7日(木) | 18:30～ |
| | ② 協議内容 | ・今年度の活動報告について
・「学校教育に関する保護者アンケート」結果について
・次年度の学校経営方針の概要について
・意見交換 | |

2 上記以外の会議の実施状況

◇『地域密着型教育』合同会議及びプロジェクト会議

平成24年6月25日 18:30～ *今年度の活動方針の決定・共通理解

◇専門部会 ① 学校行事支援プロジェクト(8回) ② 学校図書館支援プロジェクト(15回)
③ 環境整備支援プロジェクト(3回) ④ 情報発信支援プロジェクト(20回)

3 具体的な取組状況

(1) 学校行事支援

青葉湖ウォーク(1学年遠足)の企画と支援、体育祭の企画・運営支援、
授業支援、文化祭お掃除ボランティア、PTA バザーの支援、調理実習補助ボランティア

(2) 学校図書館支援

図書室整備、研修会(ブックトーク、本の修理の仕方)、図書ボランティア全体会

(3) 環境整備支援

校内環境整備や校内ワックス清掃、地域清掃活動等

(4) 情報発信支援

地学連協だより「ブルースカイ」7回発行、ホームページの随時更新

4 ボランティアの状況

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 60 人(保護者含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 42 人 |
| ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 | |
| | 42 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

「地域密着型教育」に取り組み5年目を迎え、活動も軌道に乗ってきた感がある。昨年度に引き続き、地域の教育力を生かすとともに、学校として、地域にいかに関与するかを意識し活動を行った。総合的な学習の時間等を活用した学年ぐるみのボランティア活動が行われたことや、吹奏楽部などが地域の会合等に招かれ演奏を披露したり、放送委員がアナウンスを担当するなど、生徒や職員が地域に出向いて行う活動が定着してきた。

また、今年も学校行事の企画段階から保護者等にも職員会議後半に出席していただき情報の共有を図るなど、保護者との連携も定着してきており、保護者自らが積極的に学校にかかわろうとする意識の高まりを感じることができた。特に今年度は、企画・運営段階から各プロジェクト毎に工夫して積極的に活動できた。

(2) 課題

学校が「地域密着型教育」に取り組んでいるということは、大分地域の方々にも浸透してきている感はある。しかし、具体的にどのようなものかはまだまだ理解されていない。そのためさらなる工夫が必要ではあるが、これ以上生徒・職員の負担は増やせないのが現状である。そこで、「やらされる」という受け身の活動ではなく、「自分たちの学校や地域を自分たちの手でより良いものにしていこう」という自主的な意識をはぐくむことが有効であると感じている。それぞれのプロジェクト活動が成熟しつつある今、職員一人一人が「地域あつての学校」という気持ちで、さらに地域を取り込んだ教育活動等を展開していく必要がある。

来年度も授業時数の確保が厳しく、今年以上に効率的な活動が求められる。本務である授業や子どもたちと向き合う時間を確保しながら、学習面でも生活面でも実績をあげていかなければならない。地域密着型教育の充実が職員や生徒、さらには保護者の過度な負担増を招かないような施策を講じていくことが必要である。できることを・できる時間に・できる範囲内で、細く・長く・楽しくをモットーに活動していきたい。

【活動のようす】



【地域密着型合同会議及びプロジェクト会議】
6月25日（月）



【青葉湖ウォーク】
7月22日（日）

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第三中学校

校長 大塚 弘 昭



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年5月23日(水) |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・柏崎小・第三中の学校目標 ・重点施策及び地域密着型教育の取組計画 ・各部会の取組予定についての意見・要望 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成24年12月3日(月) |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価について ・各部会の活動状況について |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成25年2月6日(水) |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組についてのまとめ ・各部会の活動状況について ・両校の来年度の教育計画について |

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 企画推進部会① 4月 9日 (月) ② 4月18日 (水) ③ 5月25日 (金)
④ 7月 2日 (月) ⑤ 7月18日 (水) ⑥ 10月 1日 (月)
⑦ 11月21日 (水) ⑧ 12月10日 (月) ⑨ 1月25日 (金)
⑩ 3月22日 (金)
- (2) 専門部会 ①全体会…4月26日 (木)、11月26日 (月)
②安全安心部会
・自主防災会との合同避難訓練…9／24
③環境整備部会
④教育活動部会
・グッジョブウィーク推進委員会…5／23, 7／13, 12／3
・文化祭実行委員会…PTA各委員会 (各学年会・企画振興・父親)
⑤学校図書館部会

3 具体的な取組状況

- (1) 安全安心部会
 - ・ 青少年生活指導協議会…月 1 回
 - ・ 柏崎地区安全パトロール協議会…月 1 回程度
 - ・ 柏崎地区防災訓練打合せ… 9 / 6
 - ・ 自主防災会との合同避難訓練… 9 / 2 4
 - ・ PTA 校外指導委員会…市中体夏季大会前・秋季大会前・文化祭強化週間の巡視
 - ・ 安全パトロール…上記の他、1 2 / 6 (事件), 1 2 / 7 (地震)
- (2) 環境整備部会
 - ・ 校舎内生け花ボランティア…月 3 ～ 4 回程度
 - ・ 校庭草取り・枝きり… 8 / 1 9
 - ・ 校庭フェンスペンキ塗装… 9 / 2 3
- (3) 教育活動部会
 - ・ Dear Sanchu (部活動懇談会) … 6 / 1

- ・部活動補助…バスケット、剣道、吹奏楽、ソフトテニスでボランティア 9 名
- ・俳句指導 … 5 月に計 2 回の支援（ボランティア 1 名）
- ・生け花指導… 5 月、11 月、1 月に計 3 回の支援（ボランティア 1 名）
- ・茶道指導 … 10 月に延べ 15 時間の支援（ボランティア 1 名）

(4) 学校図書館部会

- ・図書ボランティア…週 2 回程度

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 23 人（保護者含む）

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①地域の自主防災会と合同で避難訓練を実施した。地域住民と生徒の避難の時間を 1 時間ずらしたり、避難終了後に生徒も含めて各町内に分かれて話し合ったりした。この取組は、生徒が地域を知る上でも、また、地域住民が学校や生徒を理解する上でも、とても有効であった。
- ②学校に備蓄されている避難物資の搬入訓練を行うとともに、学校が避難所になった場合の開放区域案に関する情報を、教職員及び地域住民と共有した。「地域の防災拠点」としての学校の役割を再確認することができた。
- ③「地域の人が三中生に求めるもの」について、生徒が意識するようになり、校外でのあいさつを励行したり、歩行に気をつけたりするようになった。そのことが地域の方から評価されることにより、よい循環が生まれている。
- ④俳句や生け花、茶道など、その道の達人に協力いただいたことで、生徒の作品の質が大きく向上した。また、生徒とふれあうことを通して、ボランティアの学校理解が深まり、今後の連携に向けての体制が整った。
- ⑤昨年度の周年行事や新築移転に引き続き、今年度からプールの共用も始まったことにより、小学校との連携がいっそう深まった。諸事業について連絡を密に取り合い、効率的な予算執行、行事の効果的な運営を行うことができた。1 月には、柏崎小学校に両校の校長・教頭・教務主任が集まり、今年度の成果と課題、来年度の方向性について協議した。
- ⑥地域学校連携協議会の第 1 回と第 3 回を小・中学校合同で行い、各学校評価をもとに中学校区における課題と可能な共通実践について検討している。第 1 回は各校の学校目標や重点について理解を深め、本年度の活動計画について話し合い、第 3 回は学校評価をもとに学区の課題や共通実践できる項目について話し合った。保護者や地域住民が「学区の課題」「他地域の課題」ととらえて協議する場面が増えた。
- ⑦地域学校連携協議会のコーディネーターの活動と一緒に、教職員のみならずコーディネーター、保護者間の小中連携を心がけている。また、学校便りや P T A 新聞、公民館便り等を同じ場所に掲示して、お互いの教育活動を意識するようにしている。

(2) 課題

- ① P T A の各委員会と地域密着型教育の専門部会との整合を図ったり、両者の連携・連動を意識したりして、より効果的な活動を推進する必要がある。
- ②諸活動に協力的な保護者と、そうでない保護者の「格差」が広がっている。
- ③避難訓練については、家庭との連携も必要である。今回の取組を発展させ、自主防災組織・防災訓練・学校の避難訓練・保護者への引き渡しなどを総合的に訓練し、地域ぐるみの安全対策を強化していく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者中学校

校長 伊藤 有信



1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成24年10月10日(水)
 - ②協議内容
 - ア 委嘱状交付式
 - イ 日程説明および出席者紹介
 - ウ 地域密着型教育についての行政説明(担当指導主事)
 - エ 校長の方針説明
 - オ 質疑・応答・協議(組織、会則、ボランティア募集など)
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成24年12月13日(木)
 - ②協議内容
 - ア 学校評価(アンケート)の集計結果についての説明
 - イ 人材ボランティアの募集等について
 - ウ 質疑・応答・協議
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成25年2月12日(火)〈予定〉
 - ②協議内容
 - ア 来年度の経営方針等について
 - イ 来年度の地域学校連携協議会事業予定について
 - ウ 意見交換および質疑・応答

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会
- ①実施回数 2回
 - ②構成メンバーの概要
長者地区連合町内会会長、長者公民館館長、青少年生活指導協議会会長
元PTA会長、長者体育振興会副会長、PTA会長、校長、教頭
 - ③検討内容
 - ア 方針や活動の概要、配慮事項についての説明
 - イ 地域学校連携協議会理事の人選と組織についての検討
 - ウ 委嘱状交付式と理事会のもち方
 - エ 会則についての検討
 - オ 今後の活動についての見通し等
- (2) PTA改善委員会
- ①実施回数 2回
 - ②構成メンバーの概要
長者地区連合町内会会長、長者公民館館長、元PTA会長
元PTA副会長、PTA会長、PTA副会長、PTA会計監査
校長、教頭
 - ③検討内容
 - ア 現在のPTAの各委員会の活動概要説明
 - イ 来年度の予算
 - ウ PTAのアンケート
 - エ PTA非会員への対応等

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備活動

- ・花壇整備（雑草除去、花苗植え付け作業）
- ・体育祭、文化祭前（校庭、校舎周辺の雑草除去作業）

(2) 生活安全活動

- ・長者小・図南小・長者中の三校合同の生徒指導情報交換会（町内会、防犯協会、青少協、交通安全協会、中央交番の方々も含めての開催）
- ・市中体夏季・秋季大会、文化祭、市内祭り期間にあわせての見守り活動
- ・地域団体連携による巡視活動（毎週火曜日実施）

(3) 学校行事支援活動

- ・体育祭でのボンファイヤーの準備
- ・学年ごとに行われる季節を感じる会の準備及び当日の手伝い

(4) P T A・地域行事支援活動

- ・体育祭、文化祭での飲食販売等の企画、運営
- ・ブリザード・フラワーアレンジ講習会の開催
- ・区民運動会の準備、運営

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人

今年度は部活動のコーチ（7名）の保険は本校で負担しているが、来年度からはボランティアとして登録し、地域密着型教育予算で進めていきたい。

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

地域学校連携協議会を通して、学校が抱える課題の共有やその解決策、生徒の実態や変容について共有、学校外での生徒の様子、保護者の立場からの意見など、幅広い視点から意見交換できた。

(2) 課題

今年度は地域学校連携協議会をまず立ち上げ、組織づくりを中心に進めた。来年度は更に一步進めて、人材支援ボランティアを保護者、地域からも募集し、地域、P T A、職員への周知と共通理解、教育活動の中でのボランティアの積極的な活用を進めていくことが必要である。

平成 2 4 年度 「地域密着型教育」 報告書

八戸市立江陽中学校
校 長 長 澤 良 雄

1 地域学校連携協議会（委員会）の実施状況

(1) 第 1 回

① 実施日時 平成 2 4 年 5 月 2 5 日（金） 16:10～16:50

② 協議内容

- ・委嘱状交付及び会長の指名，副会長の指名
- ・会則審議
- ・昨年度の協議会活動報告
- ・昨年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
- ・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
- ・今年度の協議会活動計画
- ・協議会の役割を確認（学校経営・学校運営の点検と評価）

(2) 第 2 回

① 実施日時 平成 2 4 年 6 月 1 日（金） 16:30～17:40

② 協議内容

- ・5月25日の地域づくり会議で話し合われた各専門部会の現状・課題・改善点・提案についての報告と説明
- ・報告された事業を、実施の有無、継続の有無、地域主催か学校主催のいずれで行うか等を話し合う。

(3) 第 3 回

① 実施日時 平成 2 4 年 1 1 月 2 9 日（木） 18:00～20:00

② 協議内容

- ・学校経営・運営の進捗状況報告（小中両校長）
- ・今後の学校経営・運営事業について（小中両校長）
- ・質疑応答（家庭におけるキャリア教育、「国語・算数」の分かれると得意の違い、中学生の発表、自己肯定感の育成）
- ・学校評価の依頼

(4) 第 4 回（予定）

① 実施日時 平成 2 5 年 2 月 2 6 日（火） 18:00～20:00

② 協議内容

- ・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
- ・来年度の学校経営・学校運営（小中両校長）

2 上記以外の会議の状況

(1) 専門部会

①実施回数 1 回（平成 2 4 年 5 月 2 5 日）

②構成メンバーの概要

- ・町内会長・江陽地域各種団体長・両校の職員・両校の P T A 役員

③ 検討内容

- ・各専門部会の現状・地域や学校の課題，要望，教育活動の提案）
（安全安心づくり・人づくり部会・まちづくり部会・健康づくり部会・環境づくり部会）

3 具体的な取組状況

(1) 山公園の草刈り（地域づくり）

- ・ 7月22日（日） 1回
- ・ 児童生徒（103名）および保護者，地域住民（46名）
- ・ 山公園の草刈り作業



(2) 江陽音頭講習会（地域づくり）

- ・ 7月14日（木） 1回
- ・ 婦人会（4名）
- ・ 1年生が江陽盆踊りで、江陽音頭を踊るための練習



(3) 江陽盆踊り（地域づくり）

- ・ 8月18日（日） 1回
- ・ 生徒（68名） 婦人会（6名） 親父の会（9名）
- ・ 1年生が江陽盆踊りで江陽音頭を披露
- ・ 有志による出店



(4) 江陽中草刈り

- ・ 8月19日（日） 1回
- ・ 生徒（87名） 保護者および地域住民（39名）
- ・ 江陽中校地の草刈り



(5) 体育祭

- ・ 8月26日（日） 1回
- ・ 保護者および地域住民（46名）
- ・ 運営協働者として，出発係，決勝係，用具係，救護係等，職員とともに運営に関わる。



(6) グッジョブ

- ・ 9月4日～7日（火～金） 1回
- ・ 26事業所中1事業所が学区
- ・ 4日間の職場体験を通して社会性及び基礎的・汎用的能力を育成する。



(7) 江陽地区スポーツ交流会（地域づくり）

- ・ 9月9日（日） 1回
3年生40名
- ・ 3年生が参加種目（2種目）を決め、各町内の選手として参加。



(8) 公民館まつり（地域づくり）

- ・ 10月14日（日） 1回
吹奏楽部と小学校音楽部の参加（50名）
- ・ 小中の吹奏楽部が合同で演奏を披露する。



(9) 文化祭

- ・ 10月9日～21日 1～4回
保護者（20名）
- ・ 運営協働者として、校内装飾係、学年・教科展の展示係、演劇の大小道具係、演劇の衣装係等、職員とともに運営に関わる。



(10) 学校保健委員会（小中合同）

- ・ 2月20日（水） 1回
学校医・学校歯科医・学校薬剤師・町内連合会長・地域保健師・保育園長・健康づくり部会長・校長・教頭・保健主事・養護教諭
- ・ 児童生徒の健康教育、健康管理についての話し合い。

(11) 部活動支援

- ・ 通年 50～100回程度 地域住民（2名）
- ・ 部活動および大会等の支援

(12) 学校図書館支援

- ・ 通年 10回程度（昼休み） 保護者（1名）
- ・ 書籍の管理，貸し出し

(13) 授業支援（特別支援学級）

- ・ 通年 20回程度 地域住民（3名）
- ・ 体育授業を支援（卓球）

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 11名

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 10名

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成 果

- ・昨年度並みに保護者や地域住民が学校行事や学校公開日，参観日，学校への奉仕作業等に多数参加できた。
- ・生徒が地域行事に参加することが定着してきており、将来のまちづくりの担い手として、まちづくりに貢献できた。
- ・保護者や地域の各団体の間では、「地域密着型教育」が定着しつつある。（協力関係から協働関係への移行）
- ・地域住民の目が学校や生徒に向けられ，生徒は校外での生活に意識するようになってきた。
- ・職員は地域密着型教育の意義や有効性をさらに理解し，地域密着型教育の下で，学校行事やその他の教育活動を実施するようになってきた。
- ・地域密着型教育の実践を通して、キャリア教育の目標である「ふるさとを誇りと思う気持ち」に結びついた指導ができた。

(2) 課 題

- ・地域学校連携協議会委員による意見書（学校関係者評価）は、学校運営に対する意見が見られてきたが、依然、感想が多い。さらに評価方法に工夫が必要である。
- ・地域密着型教育コーディネーターの勤務場所が中学校に偏っていた。
- ・地域密着型教育コーディネーターは円滑な業務を遂行できたが、職員との連携は十分とは言えない。
- ・地域づくり専門部会会議が1回のみであった。さらに内容（地域の課題，提案事業等）を深めるために，あと1回は会議を持ちたいが，多忙化につながる。
- ・小中学校合同で行っている地域密着型教育なので，課題を共有し，さらに充実を図っていくために，管理職同士の話し合いは必要である。（今年度は1回のみ行った）
- ・生徒が地域行事へ参加したが、自己有用感の高まりに反映されていなかった。
- ・グッジョブは地域密着型教育（協働の人づくり）の典型的な活動と捉えているが、基礎的・汎用的能力の育成や人材育成をねらいとして実施していきたい。
- ・地域密着型教育とジョイントスクールを基盤に、キャリア教育を推進していくために、キャリア教育と地域密着型教育の関連を明確にしていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南中学校

校長 高橋 亨

1 地域学校連携協議会の実施状況 [小中合同]

(1) 第1回

①実施日時：平成24年5月28日（月）18：00～19：15

＊協議会の前に委嘱状交付式

②次第

- ・行政説明 ・会則の審議 ・会長の指名 ・会長あいさつ
- ・学校からの説明（地学連協組織、方針、活動計画） ・質疑応答 ・事務連絡

(2) 第2回

①実施日時：平成24年12月3日（木）17：00～18：00

②次第

- ・協議会会長あいさつ
- ・学校自己評価の説明
- ・質疑応答
- ・八戸市教育委員会より

(3) 第3回（予定）

①実施日時：平成25年3月中旬

②次第

- ・協議会会長あいさつ
- ・平成24年度「学校評価」報告
- ・平成24年度活動報告
- ・平成25年度活動計画
- ・八戸市教育委員会より

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会及び 専門部会—開催せず（組織上に両部会がないため）
- (2) 授業支援と学校行事支援のボランティアに関しては、担当教師とコーディネーター（事務局）で打合せを行っている。
- (3) 図書ボランティアに関しては、週1回の活動時に会議等を適宜実施している。

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ・蔵書整理 ・シール貼り ・図書室内整備 参加人数6人
- ・活動期間 平成24年4月～平成25年3月 毎週火曜日 1日あたり約2時間

(2) 授業支援

① 3学年家庭科 保育（パパママ体験学習）

【実施時期等】平成25年2月27日（水）

【学習内容】

- ・妊婦体験、赤ちゃんの抱き方、着替え等
- ・家族からの手紙

【指導者】

- ・保健師 坂上正子 氏 （八戸市役所健康増進課）
- ・子育てメイト12名（白銀南地区子育てひろばほたる）

② 2学年美術

【実施時期等】平成24年2学期 各学級1時間ずつ

【学習内容】工芸（疑似パフェづくり、ブレスレットづくり）

【指導者】工藤洋子 氏（学区内在住 工芸を得意とする）

(3) 学校行事補助（おやんずの会）

- ・文化祭PTA行事補助 体育祭入場門設置・撤収

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 14人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 10人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果 ①学校図書の整備がすすみ、図書指導及び読書指導に大いに貢献している

②専門家からの指導により、家庭科（保育分野）の授業が充実した。美術に関しては生徒の作品の完成度が高まった。

③おやんずの会（小中の保護者・PTAOB）の尽力で行事において本校職員だけでできない部分を補ってもらった。

(2) 課題 ①地域の人材確保

②会議・会合による負担増（回数、時間、運営）

③小学校との連携

④すこやかみなみネット、PTAとの関わり方

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鯨中学校

校長 小原 寛



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

①日時

平成24年10月10日（水）18:00～

②協議内容

- 1 会則について確認
- 2 会長の指名
- 3 副会長の指名
- 4 会長・副会長挨拶
- 5 学校教育方針について説明
- 6 今年度の組織・計画について
- 7 質疑応答

(2) 第2回

①日時

平成25年1月25日（金）18:00～

②協議内容

- 1 分科会（小学校、中学校に分かれて）
 - ・学校評価に関する説明及び審議
 - ・学校の現状と課題の説明及び審議
 - ・来年度の予定に関する説明及び審議
- 2 全体会
 - ・各分科会の報告

(3) 第3回

①日時

平成25年3月中旬（予定）

②協議内容

- 1 今年度の成果と課題の説明及び審議
- 2 来年度の教育計画についての説明

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備委員会

①実施回数

1 回

②日時

平成24年9月27日(木) 18:00～

③構成メンバーの概要

- ・小学校、中学校の協議委員候補者（各１名）
- ・教育委員会教育指導課（２名）
- ・各校校長
- ・各校教頭
- ・各校ＰＴＡ会長
- ・各校コーディネーター

④協議内容

- ・地域密着型教育推進事業についての説明
- ・地域学校連携協議会の今後の予定
- ・地域学校連携協議会委員の選考

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

図書ボランティアを募集し、図書室の環境整備、新刊の入手や図書整理を行い、生徒が読書を進んで行う環境づくりを継続している。

(2) 部活動の外部コーチ委嘱

卓球部、野球部、ソフトテニス部、サッカー部、陸上部で技術指導にあたっている。

(3)校舎周辺の環境整備

樹木の剪定や花の手入れなど、周辺の環境整備を行っている。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 10 人 (保護者) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果 ① 今年度地域学校連携協議会を発足し、地域と学校が一体となって学校運営するための組織が整った。
- (2) 課題 ① まだまだ地域の人材を発掘していない状況である。今後様々な方面で適した人材を発掘し、教育活動に生かしていかなければいけない。
- ② コーディネーターを中心として学校と地域との連携を図り、密着型教育を進めていかなければいけない。コーディネーターの役割を十分理解した上で、更なる人材活用を図る必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根城中学校

校長 前 田 稔 

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月29日（火） 13:30～15:00
 ②協議内容 ・委嘱状交付
 ・学校経営方針説明
 ・組織、運営について（グッジョブ・ウィーク推進委員会含む）
 ・事業説明（昨年度の成果と課題・今年度の事業計画）
 ・学校支援地域本部事業との連携の具体策
 ・事業推進に向けた提言と要望
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年11月29日（木） 13:30～15:00
 ②協議内容 ・事業の進捗状況説明
 ・学校支援地域本部事業状況報告
 ・生徒の状況報告
 ・グッジョブ実施報告
 ・学校評価項目等の提示
 ・事業推進に向けた提言と要望
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年1月29日（火） 13:30～15:00
 ②協議内容 ・事業の成果と課題の説明
 ・学校支援地域本部事業報告
 ・学校評価の報告と委員による評価

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 学校運営協議会 ①実施回数4回（5月、7月、11月、2月）
 ②構成メンバーの概要
 校長、教頭、教務主任、各学年主任及び副主任、PTA会長及び副会長、
 PTA各学年委員長、学校支援地域本部コーディネーター 合計17名
 ③検討内容
 ・学習活動、環境整備、地域交流、スポーツ文化活動の具体的な進め方
 ・学校行事、学年行事の運営
 ・生徒指導面での学校、保護者、地域の連携
 ・情報交換

3 具体的な取組状況

- (1) 環境整備 ○環境厚生委員会－学校花壇整備
 ・4月下旬の土起こしから11月初旬の花壇じまいまで、開催回数7回、参加人数のべ150名。
 ・花壇コンクール 表彰式への出席
 ○総務委員会－親子による早朝除草作業
 実施計画についての会議4回、春（5月26日）と秋（10月13日）の2回の作業には、延べ701名が参加。

○指導委員会－学区内及び近隣の祭りの巡視

巡視計画についての会議は3回、巡視活動には保護者延べ150人が参加。

○図書ボランティア－学校図書館の環境整備、図書登録、図書管理、貸出作業等
活動回数は12日、参加人数は延べ60人。

(2) 地域交流 ○広報委員会－PTA新聞の発行

編集計画会議は3回、活動日数は20日、参加者は延べ90人。

○2学年委員会－グッジョブ・ウィーク推進事業の推進

活動計画についての会議は(5回)、事業所訪問と打ち合せ。

○根城地区社会福祉協議会－敬老会(9月17日)の運営

運営についての会議は2回、前日の準備、当日の運営、後始末には、協議会委員、教職員、生徒ボランティアを合わせて、延べ700人が参加。

○合唱部 根城記念祭(5月22日)、八戸駅開業イベント(12月2日)への出演

○吹奏楽部 史跡根城祭への出演(田面木小学校との共演)

(3) スポーツ文化活動 ○部活動親の会－部活動懇談会の実施

各部の活動の充実に向けた情報交換会を3回実施し、保護者、コーチ、顧問、延べ60人が参加。

※他に、学校施設開放事業や三社大祭、えんぶり、区民運動会、小中ジョイントスクール推進事業等、生徒や地域住民が関わる事業がある。

また、体育祭や文化祭、入学式や卒業証書授与式等、地域学校連携協議会の委員や保護者の多大な協力を得て実施している学校行事がある。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 17人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 17人 ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・環境整備、地域交流等では、地域との連携が強固になり、定着しているものが多い。
- ・図書室整備活動については、県内にもその活動状況が広く知れ渡るようになっている。
- ・子どものために協力いただく事業だけではなく、子どもたちが、学校以外で活動したり、日頃接することのない方々との交流が増えた。このことで、生徒が多くのことを学ぶことができた。
- ・地域学校連携協議会では、率直な意見をいただき、学校運営を見直す機会が増えた。学校評価のあり方についても、示唆に富む建設的な意見が多く出された。

(2) 課題

- ・ここ数年行ってきた土曜学習については、実施の見直し等を行う。
- ・25年度は、新事業として、学区内の防災訓練に積極的に取り組みたい。今年度も予定していたが、日程などの都合で実施できなかった。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立下長中学校

校長 島 脇 通 保



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年11月15日（木） 午後6時30分から
②協議内容（箇条書きで）
- ・ 会則について
 - ・ 会長の指名〈校長より〉及び副会長の指名〈会長より〉
 - ・ 会長、副会長挨拶
 - ・ 地域密着型教育推進事業基本構想について〈校長より〉
 - ・ 支援事業について〈事務局より〉
 - ・ 今後の日程について〈事務局より〉
- (2) 第2回 ①実施日時 平成25年2月26日（火） 午後6時30分から
②協議内容
- ・ 学校評価アンケートについて〈教務主任より〉
 - ・ 生徒の状況について〈生徒指導主事より〉
 - ・ 支援活動の活動実績について〈事務局より〉
 - ・ 来年度の予定について〈事務局より〉

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- ◎ 準備委員会 ①実施回数 1 回
②構成メンバーの概要
下長公民館館長 下長公民館協力会会長 下長中学校 PTA 会長
コーディネーター 校長 教頭 教務主任 生徒指導主事
八戸市教育委員会担当指導主事
③検討内容
- ・ 趣旨説明(校長)
 - ・ 地域学校連携協議会会則案について
 - ・ 組織案について
 - ・ 事業内容について
 - ・ 今後の日程確認

3 具体的な取組状況

- (1) 情報発信支援（PTA 広報委員会）
期日 平成24年4月18日（水）～平成25年3月6日（水）
回数 20回
参加人数 のべ100人
内容 広報紙「下長」の発行
- (2) 環境整備（PTA 厚生委員会）
期日 平成24年6月30日（土）、平成24年8月18日（土）
回数 2回
参加人数 保護者 70人
内容 校庭の除草作業、側溝の泥上げ

- (3) 学校図書館支援（図書ボランティア）
期日 平成24年4月16日（月）～平成25年3月25日（月）
回数 150回
参加人数 のべ323人
内容 図書室の整備、図書の整理、図書の貸し出し
- (4) 教育活動支援
- ①巡回安全見守り活動（PTA 部活動安全委員会）
期日 平成24年6月4日（月）～平成24年10月20日（土）
回数 31回
参加人数 のべ122人
内容 下校時の巡視活動
- ②グッジョブ体験（PTA 2 学年委員会）
期日 平成24年6月21日（木）～平成24年10月29日（木）
回数 10回
参加人数 のべ70人
内容 グッジョブ推進委員会への参加、協力事業所への依頼
- ③研修旅行（PTA 文化委員会）
期日 平成24年9月4日（火）
回数 1回
参加人数 30人
内容 中尊寺方面への社会見学、PTA の親睦を図る
- ④学習支援（教育支援ボランティア）
期日 平成24年4月9日（月）～平成25年3月26日（火）
回数 31回
参加人数 のべ124人
内容 適応教室での学習支援、2 年生の数学の学習支援
- ⑤体育祭支援（体育祭ボランティア）
期日 平成24年8月25日（土）、26日（日）
回数 2回
参加人数 6人
内容 テントの強風対策、熱中症対策のための氷の準備

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 16人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人
※地域密着型教育予算による保険加入者数
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ・学校の状況を理解していただく場ができた。
 - ・学校行事と PTA 活動及び地域行事の1 年の流れが把握しやすくなった。
 - ・地域の方々の協力的な姿勢に勇気づけられた。
- (2) 課題
- ・地域密着型教育の意義が職員に浸透していない。
 - ・防災対策について、地域連携を進めていかなければならない。
 - ・今年度は学校評価委員会で学校評価を実施したが、来年度は地域学校連携協議会で実施していきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立北稜中学校

校長 畑 山 寿美子 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

①実施日時

平成24年5月2日（水） 17:00～18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ア) 学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ | イ) 会則承認 |
| ウ) 正副会長指名及びあいさつ | エ) 地域学校連携協議会の組織及び今年度計画 |
| オ) 3校の学校経営方針等についての説明 | カ) 質疑 |

(2) 第2回協議会

①実施日時

平成24年9月5日（水） 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

- 北稜中学校区非常災害時における対応
 - ・台風等自然災害における児童・生徒の安全確保について
 - ・学校から各家庭への緊急連絡システムの確認
 - ・地域の防災訓練の状況について
- 各校のいじめの認知状況及び対策について
- 学校評価について

(3) 第3回協議会

①実施日時

平成25年1月24日 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

- 北稜中学校区非常災害時における対応
 - ・一部見直し
 - ・学区3校が同じ事件・事故や自然災害等で対応する場合の関係機関等への連絡体制
 - ・避難所開設時の開放区域（案）

イ) 分科会（北稜中部会，根岸小部会，日計ヶ丘小部会）

- 学校評価について
 - ・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
 - ・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

運営委員会の実施（学区校長会を兼ねる）

(1) 第1回平成24年4月26日（木）16:00～18:00

(2) 第2回平成24年8月 1日（水）11:00～14:00

(3) 第3回平成25年1月11日（金）16:00～17:30

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

・えんぶりクラブ指導支援 ・体育祭入場門作り ・体育祭根岸音頭指導 ・1学年総合的な学習の時間ゲストティーチャー（えんぶりの舞い・お囃子等指導） ・えんぶり衣裝修繕等 ・2学年グッジョブ支援

(2) 安全対策事業

- ・地域巡回（市中体夏季大会及び秋季大会前，夏季休業中，小田八幡宮例大祭）
- ・プール監視

(3) 環境事業

- ・校地内除草作業
- ・花壇整備

(4) 交流・連携事業

- ・小中ジョイントスクール推進事業（中学校授業参観，部活動見学，あいさつ運動）
- ・地区運動会への参加
- ・子供会関連事業（スポーツ大会，サマーキャンプ，ウオークラリー）
- ・公民館芸能発表会参加（吹奏楽部）

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

30人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

75人（保護者以外の北稜中学校校区住民）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

根岸地区においては，これまでも学校と地域との関係は良好であったが，本事業に取り組んで以降，学校の教育活動についてより具体的内容に踏み込んだ話合いがなされるようになった。加えて，協議会を通して北稜中学校区3校が日常的に緊密に連携し合っている様子が伝わることから，地域住民の3校に対する安心感や信頼感の向上につながっているように感じられる。

一例を挙げると，根岸地区では，アスネット根岸自主防災会が中心となって，地域の防災，特に津波避難対策に力を入れ，住民，学校や地域関係機関・団体を入れた研修会を実施した。同会では避難所として北稜中学校区3校等を想定しており，今後，地区全体での防災訓練も計画している。このことから，24年度は，学区3校の自然災害，不審者事案を含む事件・事故対応についての協議を中心に地域学校連携協議会を実施した。12月の柏崎地区の不審者事案，直後の地震発生に当たっては，交通安全協会や防犯協会，地域町内会の方々の地域巡回や情報提供などにつながり，児童生徒が安全で速やかに下校することができた。

その他の具体的な成果としては，下記が挙げられる。

- 体育祭において，熱中症防止及び校庭の砂ぼこり発生防止のため，消防団による水まき作業を実施してくれた。
- 公民館文化祭や地区子供会行事に参加する中学生ボランティアが増えてきており，地域との交流に広がりや深まりが出てきた。
- 地権者の協力により，通学路の一部にガードレールが増設された。地域の方々及び登下校における生徒の歩行に関する安全の確保に積極的に協力してくれている。
- 根岸地区連合町内会が，現在建設中の災害時避難路を，本校の通学路として利用できるように関係機関及び地権者との交渉を行ってくれている。

(2) 課題

北稜中学区は，従前よりボランティア活動が盛んであったが，本事業はまだ2年目と緒に就いたばかりであり，依頼に応じて支援する，あるいは，ボランティア活動そのものが活動のねらいという段階にある。今後，広報活動や日常的な教育活動を通して，保護者や地域住民が学校運営，児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。

そのために，現在重点を置いている「児童生徒の安全・安心」に係る内容は，「地域の安全・安心」にもつながることから相互の主体性ある活動喚起に有効であると考え，継続的に推進したい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川中学校

校長 三 上 齊



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | | |
|---------|-------|--|--------|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成24年6月7日（木） | 19:00～ |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・委嘱状交付・会長、副会長、会則の承認・学校経営方針説明・平成24年度計画説明 | |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成25年1月24日（木） | 19:00～ |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・学校目標等に関わるアンケート結果の報告・学校関係者評価 | |
| (3) 第3回 | ①実施時期 | 平成25年3月中旬予定 | |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・今年度の事業報告・来年度の予定に関する説明及び審議 | |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会：なし
- (2) 専門部会：組織せず
- (3) 学校保健委員会：平成24年7月12日（木） 19:00～
- ・学校医の於本淳先生を招き、本校生徒の健康の実態の説明と、熱中症の予防と対策について講義を受けた。

3 具体的な取組状況

(1) 奉仕活動

- 6月 2日（土）：花壇の整備（保護者、教職員7名参加）
- 8月25日（土）：校庭の草取り（保護者、生徒、教職員約180名参加）
- 10月 6日（土）：校舎の窓拭き（保護者、生徒、教職員約150名参加）

(2) 夏季休業中

7月21日（土）～8月21日（火）：プール監視（保護者18名、教職員のべ18名）
校外巡視活動：3回。保護者、教職員のべ53名参加。

(3) 体育祭関係

8月27日（月）：是川音頭指導（地域婦人会から17名来校）
9月 1日（土）：熱中症対策用テント運搬・組立（小中保護者10名）
9月 2日（日）：体育祭にて是川音頭を生徒と一緒に踊る（地域婦人会から20名来校）

(4) 野焼き

10月26日（金）：指導ボランティア5名参加

(5) 木彫テラコッタ展

2月22日（金）～24日（日）：多数の保護者が、搬入搬出、展示、受付等に参加予定

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 130人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 1人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校運営方針や学校目標等の説明をする機会が設けられたことにより、それに対する意見や評価をいただく場が確立した。学校評価に関わる情報交換を通して、学校への思いや期待を感じ取ることができた。
- ・生徒が公民館でのサークル活動に参加することで、地域との関わりが、より身近になった。このことが、今年度の体育祭における是川音頭を指導する婦人会の方々の参加人数の増加につながった。
- ・委員の方々を中心に、学校の教育活動に様々な形で支援していただける地域の方々を探していただいた。この名簿をもとに、来年度は生徒の様々な教育活動に支援、協力をいただき、より地域と結びついた学校を目指していきたい。

(2) 課題

- ・公民館で行われるサークル活動により積極的に参加することにより、ますます地域の方々との交流が増え、学校に対する理解・協力が得られるものと思われるが、時間の確保が問題である。
- ・職員やPTA、地域の方々の地域密着型教育に関する理解が、まだ十分とは言えない。学校からの情報発信、職員の意識改革等を進め、共通認識を深めながら協力体制づくりに努めていきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立三条中学校

校長 橋 本 祝 子



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成24年9月21日（金）18：30～
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付式
 - ・地域密着型教育について行政説明
 - ・会則の承認
 - ・会長、副会長、書記の指名
 - ・組織運営について
 - ・事業推進の経過報告
 - ・今年度の計画と報告
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成25年1月17日（金）18：00～
 - ②協議内容
 - ・学校経営の成果と学校課題について
 - ・学校評価について
 - ・次年度の教育課程の方針と学校行事の予定

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会
- ①実施回数 2回
 - ②構成メンバーの概要
 - ・嘉瀬卓副参事 佐々木宏恵指導主事 校長、教頭
 - ③検討内容
 - ・地域密着型教育の説明
 - ・会則及び組織図について
 - ・地域学校連携協議会委員の人選
- (2) 企画推進部会
- ①日時 9月27日（木） 18：30～ 校長室にて
 - ②協議内容
 - ・文化祭売店について
 - ・メニューや数量、値段、購入場所
 - ・ボランティアの確保について
 - ①日時 10月10日（日） 18：30～ 校長室にて
 - ②協議内容
 - ・文化祭売店について
 - ・メニューのサンプルの確認 準備物や今後の日程の確認
- (3) 専門部会
- 組織していない。

3 具体的な取組状況

(1) 学校行事関連事業

- ・文化祭売店の運営 10月21日(日) 10:00～14:00 家庭科室
ランチパック30 ドーナッツ50 おにぎり(2個唐揚げ ウィンナー漬物付)20
いなり寿司と太巻き20 飲み物(セルフ・無料)
地域のボランティアの方のみの活動。

(2) 安全対策関連事業

- ・登校時の交通安全指導
- ・地域のパトロール(夏季休業中 地域のお祭り)

(3) 交流事業

- ・上長地区安全なまちづくり協議会への吹奏楽の演奏参加
- ・上長公民館芸能発表会への吹奏楽参加
- ・上長公民館祭りへの生徒ボランティアの派遣

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 1人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 1人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・これまで、文化祭での食堂等の開設を希望する声が多く寄せられていたが、その一方で活動することによって、文化祭の鑑賞が十分できないなどの声があり実現しなかった。そこで、売店担当者を地域のボランティアの方々をお願いしたところ、快く引き受けて下さり、当日は大盛況だった。保護者アンケートには感謝の声が寄せられ、来年度も継続してほしいとの希望が多数であった。ボランティアの方も、現役PTAの頃の活動を懐かしく思い出しながら楽しく活動できたなどと双方にとって成果があった。
- ・安全な通学路が確保されるとともに、「子どもの安全」に対する危機管理意識が学校・保護者そして地域の間でしっかりと共有され、協力的に実践できた。
- ・交流事業では吹奏楽の演奏を通して、本校の教育活動の成果を披露することができ、本校の教育活動に対する理解が得られた。

(2) 課題

- ・地域密着型教育の趣旨について、まずは本校職員の理解を十分高める必要がある。子どもたちに生きる力を身につけるために、何をどのような形で事業を進めるべきなのか検討が必要である。
- ・今年度、緊急災害時に町内ごとの集団下校を実施した。これを契機に、各町内の一員としての自覚を高め、それぞれの地域での活動ができるよう町内会との連携を深める。
- ・本校の教育活動に必要なボランティアの充実を図り、効果的な活用を図る。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治中学校

校長 中嶋 正喜



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年5月21日（月）18:00～
 ②協議内容
 ・委嘱状交付式
 ・地域密着型教育について（行政説明）
 ・会則、会長・副会長の選出と承認
 ・地域学校連携協議会の組織について
 ・明治小・中学校の経営方針について
 ・事業説明（今年度これからの計画）
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月4日（火）18:00～
 ②協議内容
 ・学校評価について（説明と審議）
 ・学校支援の進捗状況について
 ・来年度の予定に関する説明と審議
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年2月26日（火）18:00～・・・（予定）
 ②協議内容・・・（予定）
 ・今年度の成果と課題についての説明及び審議
 ・来年度の教育計画についての説明

2 具体的な取組状況

- (1) 図書室整備
 ・毎週水曜日に4名で実施。図書の登録、廃棄、棚の整備、図書の紹介、季節に合わせて壁面を飾り付けるなど清掃もふくめた環境整備。
- (2) 環境整備
 ・PTA環境委員会・・・年2回の早朝奉仕活動（校地内の除草等）
 全校生徒と保護者及び地域の方々に呼びかけ、約130名参加
 ・体育祭前日の入場門づくり・・・早朝奉仕活動に来校したお父さん方の協力
 ・校庭の除草作業・・・町内会有志の方々（地区運動会の前）
 ・外倉庫の大清掃と粗大ゴミの搬出
 ・校地内の樹木の枝剪定・・・地元の老人クラブの協力
 ・玄関ロビーのガラスケース内の装飾・・・コーディネーターの協力

(3) 地域交流

- ・ 館公民館祭への出品（１０月６日）
２年生のグッジョブウィークでの活動の写真、書道、絵画
３年生を中心としたボランティアの手伝い
- ・ 地区運動会への全校生徒・職員の参加（８月２６日）
- ・ 館地区、子どもと高齢者の安全安心まちづくり推進音楽祭（１０月１２日）への参加
明治小・中学校全校生徒、地区連合町内会、地区防犯協会、館駐在所（八戸警察署）
- ・ 館地区自主防災会総合訓練への参加（１１月７日）
学区内の自主防災会、学区内の保育園、小・中学校、地区老人クラブ、地区連合町内会
八戸消防署、八戸消防署根城分遣所、八戸消防団館分団

(4) 部活動支援

- ・ ３つの運動部において４名の方にコーチをお願いをしており、どのコーチの方も大変に熱心で、個々の生徒の能力に応じた教育的配慮のある指導をいただいている。
- ・ 夏季と秋季の市中体壮行式における保護者からの激励

(5) 広報活動

- ・ 町内会を通して、学校行事の通知やボランティアの募集（枝の剪定や写真撮影）

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 ４人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 ２人（学校支援地域本部事業の予算による加入者数）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・ 地域の方々と一緒に行う行事が多いので、特に生徒は自分たちが地域へ貢献している、地域と関わりをもっているという意識が芽生えている。
- ・ 環境整備に関して、昨年度は校内を中心に行ってきたが、今年度は敷地内の樹木の伐採や剪定に手をつけ、周辺の住民からの長年の苦情にも少しは対応できた。
- ・ 保護者及び地域の方々から、様々な協力の申し出や会議や学校行事、懇親会等への出席数が増えてきた。
- ・ 学校評価を通して、適切で建設的な意見をもらうことができ、今後の学校経営に大いに参考となる内容であった。

(2) 課題

- ・ コーディネーターの後継者探しとボランティア人数の拡大。
- ・ 十分な予算の確保。
- ・ 学校の経営方針や実施内容を４月のＰＴＡ総会や各参観日における学年集会等あらゆる機会を通じて何度でもわかりやすく伝える必要がある。
- ・ ホームページをもっと活用した情報発信。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎中学校

校長 星 野 順 子



1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月27日(水) 19:00～
②協議内容
・委嘱状交付
・会則及び組織に関する審議
・小・中学校経営方針、重点施策の説明及び審議 等
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年12月14日(金) 19:00～
②協議内容【小学校と中学校に分かれて実施】
(小学校)
・小学校の学校評価の結果についての報告
・幼稚園の評価の結果についての報告
・情報交換 等
(中学校)
・地域密着型教育の中学校における今までの取組についての報告
・中学校の学校評価の結果についての報告
・情報交換 等
- (3) 第3回 ①実施日時 平成25年2月中旬予定
②協議内容
・今年度の取組と第2回連携協議会の内容報告
・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明 等

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備会 ①実施回数 1 回
②構成メンバーの概要
・小・中校長、小・中教頭
③検討内容
4月24日(火) 地域密着型教育の基本方針や年間スケジュール、準備委員会の持ち方等の確認
- (2) 準備委員会 ①実施回数 1 回
②構成メンバーの概要
・小・中PTA会長、地域代表2名、指導主事2名、小・中校長、小・中教頭
③検討内容
6月27日(水) 会則・組織の原案審議、地域学校連携協議会委員の選定、第1回地域学校連携協議会打ち合わせ 等
- (3) 企画推進部会 開催なし
- (4) 専門部会 専門部会を組織していない

3 具体的な取組状況

- (1) 安全・安心活動
・地区の巡回指導 毎週木曜日(6月～10月) 毎回5～7名

・登校時の交通安全指導	(春) 4月10日～12日(火～木)	5～6名
	(秋) 9月24日～26日(月～水)	5～6名
・夏季休業中の夜間巡視活動	月・水・金曜日 19時～20時	毎回3名

(2)環境整備活動

・校庭整地	4月19日(木)	1名
・運動会前の校庭の草取り	5月13日(日)	約80名
・校庭の樹木の剪定	〃	8名
・ゴーヤのネット張り	〃	8名
・プールサイド等補修作業	6月24日(日)、7月1日(日)	のべ30名
・相撲大会前の土俵周辺の草刈り	8月26日(日)	約30名

(3)教育支援活動

・農園活動への支援	4月～9月上旬	5名
・グッジョブの受け入れ事業所支援	11月13日～16日(火～金)	8名
・豆腐づくり	2月5日(火)	1名
・玄関前及び通学路の除雪	冬季間	4名

(4)行事支援活動

・相撲の作法指導	8月31日(金)	1名
・相撲大会準備、運営、審判 後片付け	9月8日(土)	約40名
・相撲大会用のシート片付け	9月11日(日)	約30名
・文化祭の屋台準備	10月19日(金)	10名
・文化祭の喫茶店と屋台の出店	10月21日(日)	20名

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数	48人(全保護者を含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数	6人
※地域密着型教育予算による保険加入者数	6人
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数	0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会を立ち上げ、直接委員の方々に学校経営の方針や重点施策、取り組み、学校評価等を説明したり、意見や指導を受けたりしたことによって、学校への理解と支援体制をより強めることができた。また、学校の取り組みも高く評価していただくことができた。
- ・地域密着型教育の実践前と後では、連携協議会を立ち上げたこと以外、取り組み自体に何の変化もない。しかし、今まで小学校と中学校がそれぞれバラバラにやってきたことを、表や図で示すことにより、全体の様子や関係が明らかになり、改めて地域や学校のがんばりが目に見えるようになった。

(2) 課題

- ・今年度は、昨年度から立ち上げていた小学校の地域学校連携協議会に、中学校が相乗りをした形になった。そのため、委員の数が今まで委嘱されていた小学校の委員に中学校の委員が単純にプラスされたものとなった。会則も20名前後としたが、再度検討し、会則の変更も含め、来年度はもう少し人数の削減を図りたいと思う。
- ・今年度は、小学校と中学校の地域密着の取り組みを表で示すことができた。来年度は、地域諸団体の行事を含めた年間の地区行事一覧表を作成したい。このことにより、これまで以上に地域と密着した活動が行われ、支援活動も充実され则认为。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大館中学校

校長 田名部 直 美 印

1 地域学校連携協議会(理事会)の実施状況

- (1) 第1回 ① 実施日時 平成24年 5月29日(火) 18:00～19:30
② 協議内容 ア 委嘱状交付
イ 会則の確認
ウ 正副会長の選任
エ 学校経営方針、児童生徒の現状等についての説明
オ 意見交換
- (2) 第2回 ① 実施日時 平成24年12月19日(水) 18:00～19:30
② 協議内容 ア 学校目標等に係る自校評価結果の説明
イ 自校評価に対する質疑応答、意見集約
ウ 指導・助言(八戸市教育委員会)
- (3) 第3回 ① 実施日時 平成25年 2月28日(木) 18:00～19:30
② 協議内容 ア 学校評価の総括
イ 次年度計画の確認
ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

企画推進部会及び専門部会については、設置していない。ボランティア活動やPTA活動、生徒会活動等との関連性や方向性とあわせて、その必要の有無を検討しているところである。

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備

- ① 図書支援・・・・・・蔵書の修理及び整理、新書の登録等(毎週金曜日)
活動回数 41回、活動延人数 246人
- ② 草刈り・草取り・・・・校地内草刈作業
活動回数 2回、活動延人数 28人
校地内草取作業
活動回数 2回、活動延人数 45人

(2) その他

- ① 学校行事・・・P T A (O B) による体育祭時の校庭整備作業、駐車場案内
- ② 巡回指導・・・P T A (O B) による下校時の学区内巡回指導
- ③ 情報発信・・・コーディネーターによる地学連協便りの作成、発行

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

草刈り	18人
草取り	48人
図書支援	9人
合計	75人(昨年度比：51人増)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

17人(新規：6人)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の距離が縮まってきていると受け止めている。
- ② 地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見や願いを改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。
- ③ ボランティアに係る人材確保及び連絡調整が進み、ボランティアによる支援が定着してきている。

(2) 課題

- ① 教職員の校務分掌組織やP T A 組織、P T A 活動との関連性を図ることによって、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。
- ② 児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域のために活動する機会を積極的に作りだしていくことが重要である。
- ③ 三校合同の組織であることから、コーディネーターの負担が大きくなるようにするとともに、各学校との連絡調整が円滑に進むように、コーディネーターの複数体制に向けて調整中である。
- ④ 地域と連携した防災体制づくりや防災訓練の実施に向けて具体的に協議していく必要がある。
- ⑤ 地域密着型教育の推進が、教職員や生徒、保護者の過度な負担にならないよう留意して進めていく必要がある。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立東中学校

校長 戸 来 忠 雄 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成24年6月25日（月） 18:30～20:00

②協議内容

（最初に委嘱状交付式—行政の説明を含む）

ア 会則（案）の審議

イ 正副会長の指名

ウ 学校経営方針の説明

エ 平成24年度の組織と事業計画についての説明

(2) 第2回（予定）

①実施日時 平成25年2月21日（木） 18:30～

②協議内容

ア 学校評価の説明と審議

イ 一年間の成果と課題についての説明と審議

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 準備会

①実施回数 1回

②構成メンバーの概要

4名（校長、教頭、八戸市教育委員会事業担当者2名）

③検討内容

ア 基本方針の確認

イ 準備委員会メンバーの選定

ウ 会則案の審議

エ 地域学校連携協議会委員選定の基本方針の確認

オ 事業計画案と年間スケジュール案の審議

(2) 準備委員会

①実施回数 1回

②構成メンバーの概要

7名（校長、教頭、PTA会長、コーディネーター、地域学校連携協議会長予定者、八戸市教育委員会事業担当者2名）

③検討内容

ア 行政の説明

イ 基本方針の説明

ウ 会則案の審議

エ 地域学校連携協議会委員の選定

オ 事業計画案と年間スケジュール案の審議

(3) 企画推進部会と専門部会

平成24年度は設置しないこととし、25年度以降はその必要の有無を含め、地域学校連携協議会において検討する。

3 具体的な取組状況

(1) 教育講演会

教育講演会を学校と地域学校連携協議会との共催にし、保護者だけでなく、地域住民にも広く参加を呼びかけた。

①第1回教育講演会（5月30日 講師：光星学院高校硬式野球部監督 仲井宗基氏）

②第2回教育講演会（10月19日 「地球のステージ5」）

(2) パペットロボット施設訪問

家庭科で手作りしたパペットと、技術科で製作したリモコンロボットを合体させたパペットロボットを持って、生徒が幼稚園や高齢者施設を訪問し、ダンスや寸劇等の公演を行った。

①さくら幼稚園訪問（12月18日 3年1組・3組 生徒73名）

②八戸短大付属幼稚園（12月19日 3年2組・4組 生徒73名）

③高齢者施設訪問（3月実施予定）

(3) 地域貢献活動

地域の要請に応じて、生徒が「地域貢献活動」を展開した。

①東運動公園、東運動公園前地下道、国道45号線沿い歩道のゴミ拾い活動（6月28日 全校生徒）

②「Yosakoi ソーラン」披露（3回「12月16日 グループホームかえで」「1月16日 県立はまなす医療療育センター」「2月23日 福寿草」）

4 ボランティアの状況

学校独自の人材バンクづくりを模索した。人材バンクについては、来年度は、どんな分野でも登録していくのではなく、教職員からアンケートをとるなどして、学校が心から必要とする部署や部分でのみ募集していく予定である。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①昨年度から地域密着型教育の準備を進めていたことで、準備会・準備委員会がそれぞれ1回ずつで済み、6月25日には地域学校連携協議会を開催することができた。

②初年度の方針をはっきり決め、それに沿った運営を心掛けたことで、無理のないスムーズな事業展開を図ることができた。

③初年度はコンパクトな運営に徹することを目的に、専門部会等は設定せず、担当者（教頭）とコーディネーターを中心に事業を推進したことから、一般教員に負担を感じさせることなく事業を推進することができた。

④事業を展開していくうえで、学校と家庭・地域社会の協力と適切な役割分担が重要であること、相互に無理をしない「対等な関係」を構築し、それを継続することが何よりも大切であることが実感できた。

(2) 課題

①「地域のために学校が何をできるか」と「地域（住民）に何をしてもらいたいのか」を同時に考えながら、初年度は「学校が何をできるか」を中心にすえて事業展開をしてきた。しかしながら、来年度地域に対して、どこまで依頼することが「よりよい関係」を構築できていくのかが、なかなか見えてこないのが現状である。

②一般教員の負担軽減のために、担当者（教頭）とコーディネーターで事業を推進したが、そのことが地域密着型教育に対する一般教員の認識不足につながってしまった。日常のあらゆる場面で言及したり、話題にすることで共通理解を図っていかなければならない。

③事業推進のためには、交通費等の予算が必要となってくる。来年度は、保護者に理解を得て確保したい。

④地域密着型教育については、学校だよりの中で適宜紹介するにとどまったが、来年度はブログやホームページを利用することで、積極的な広報活動を展開していきたい。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中沢中学校
校長 最上 哲宏



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
 - ①平成24年4月26日（木） 19:00～20:30
 - ②協議内容
 - ア 委嘱状交付
 - イ 会則（案）の審議
 - ウ 会長・副会長の指名
 - エ 学校経営方針・重点施策について
 - オ 意見交換
- (2) 第2回
 - ①平成24年7月30日（月） 19:00～20:00
 - ②協議内容
 - ア 1学期の活動を振り返って
 - イ 意見交換
- (3) 第3回
 - ①平成24年12月19日（水） 19:00～20:00
 - ②協議内容
 - ア 2学期の活動を振り返って
 - イ 保護者アンケートについて
 - ウ 意見交換
- (4) 第4回
 - ①平成25年2月25日（月） 19:00～20:00 （予定）
 - ②協議内容
 - ア 3学期の活動を振り返って
 - イ 次年度の計画について
 - ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備会
 - ①実施回数 1回
 - ②構成メンバーの概要 9名
PTA会長 PTA副会長3名 PTA監査委員3名 校長 教頭
 - ③検討内容
 - ア 地域密着型教育の推進に向けた方針の検討
 - イ 準備委員会の構成メンバーの選出
- (2) 準備委員会
 - ①実施回数 1回
 - ②構成メンバーの概要 8名
PTA会長 PTA副会長3名 市野沢地区代表 鳩田地区代表
校長 教頭
*中野地区代表 未定
 - ③検討内容
 - ア 地域密着型教育の推進に向けた方針および組織の確認
 - イ 地域学校連携協議会会則（案）の審議

3 具体的な取組状況

- (1) 教育関連事業
 - ①グッジョブ・ウィークの支援（7月）
 - ・小学校2校 図書館 山の楽校等の地域の事業所
 - ②赤ちゃんふれあい体験学習（9月）
 - ・南郷保健センター
 - ③体育祭の支援（5月）
 - ・受付接待 マラソンの誘導員 パネルの設置等
 - ④部活動の支援（通年）
 - ・サッカー部 バスケットボール部 ジャズバンド部

- ⑤南郷図書館からの支援
 - ・図書館を利用した調べ学習（7月 全学年）
 - ・昼休みを利用した読み聞かせ活動（月1回）
- (2)環境整備活動
 - ①校地内草刈り作業（3回）
 - ・木の枝や草の処理を地域の事業所に依頼
 - ②校門側駐車場の砕石による整備（7月）
- (3)文化事業
 - ①ジャズバンド部のライブコンサートの支援（9月）
 - ・受付接待 会場巡視 楽器の運搬 写真撮影 ビデオ撮影
- (4)交流・連携事業
 - ①民生委員および保健センターとの情報交換（6月）
 - ②小中合同発表会（10月）
 - ・受付接待 会場巡視 地域の方の入場
 - ③ジョイントスクール授業公開および講演会（6月、8月、11月）
 - ④学区通学路の緊急安全点検（7月）
 - ⑤青葉湖ウォークの支援と参加（9月）
 - ⑥学区内の巡回指導（6月～10月）
 - ・地区の健全育成会の活動に参加

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-----------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 0人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
 - 地域学校連携協議会が設置されたことにより、学校に対する要望や地域の方々の願いを直接聞くことができ、教育活動の改善に努めることができた。
- (2) 課題
 - コーディネーターの配置および図書室ボランティア等の募集を行い、協働体制づくりを推進していく必要がある。
 - 生徒たちの活動等を積極的に発信していく必要がある。また、生徒たちが、地域の一員として地域のために活動する機会をつくっていかなければならない。

平成24年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守中学校

校長 佐藤 隆彦



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ① 7月9日（月） 18:30～20:00 於：島守中（24年度 事務局校）
② 【協議内容】
- ・委嘱状交付式（教育委員会）
 - ・今年度の計画及び地域との連携事業について説明（小・中教頭）
 - ・今年度の教育方針についての説明（小・中校長）
 - ・学校関係者評価についてお願い（事務局）
- (2) 第2回 ① 11月20日（火） 19:00～20:30 於：島守中
② 【協議内容】
- ・地域との連携事業についての中間報告（小・中教頭）
 - ・1学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告（小・中校長）
 - ・アンケート結果等をもとにした話し合い
 - ・教育委員会より
- (3) 第3回 ① 1月21日（火） 18:30～20:30 於：島守中
② 【協議内容】
- ・地域との連携事業についての経過報告（小・中教頭）
 - ・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について（小・中校長）
事前に「小・中学校学校目標の3重点」についてのアンケート結果の資料を送付し、ご意見・助言をいただいた。
 - ・「あいさつ+α運動」について

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 打ち合わせ ① 6月27日（水） 小・中学校長・教頭打ち合わせ 於：島守中 17:00
・昨年度の地域学校連携協議会を振り返り、今年度に生かす話し合い
- (2) 企画推進部会 ① 7月2日（月） 於：島守中 18:30～
・小・中学校PTA会長・副会長（企画推進委員）、小・中学校長と教頭
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会のもち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
- (3) 企画推進部会 ① 12月10日（月）
・小・中学校PTA会長・副会長（企画推進委員）、小・中学校長と教頭
・「あいさつ+α運動」について

3 具体的な取組状況

◎ 島守ふるさと応援隊の活動

(1) 教育関連事業

- ① グッジョブ・ウィークの支援
・コンビニエンスストア、図書館、自衛隊、スーパーマーケット、地域の物産館
- ② 体験学習報告会
・福祉体験（1年）、職場体験（2名）、赤ちゃんふれあい体験・保育体験（3年）
- ③ 家庭科の授業への支援 <地域住民、栄養士>

(2) 環境事業

- ① 草刈り・窓ふき早朝作業 3回 <PTA>
- ② 資源回収 <PTA, 地域住民>
- ③ 除草剤散布 <PTA>
- ④ 地域清掃（5地域）
- ⑤ 虚空蔵山清掃

(3)文化事業

- ①文化祭にかかるえんぶり練習・当日の発表（えんぶり組・教職員）＜地域住民 5名＞

(4)交流・連携事業

- ①小・中学校合同大運動会……島守音頭の練習＜地域住民 1名＞
②民生委員との情報交換＜4名＞
③地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会
④PTA研修旅行＜PTA, OB, 小・中学校教職員＞

(5)「あいさつ＋α運動」に向けて

- ①冬休み中に標語の募集

4 ボランティアの状況

- (1)保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。

※ 地域密着型教育予算による保険加入者数については、本年度はなし。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 今年度は中学校が主担当であり、小・中学校の校長・教頭が地域学校連携協議会の前に具体的な打ち合わせを行い、見通しをもった上で協議会に臨むことができた。こうすることで、委員にお願いする部分と学校側が進める部分を明確にした。
- ② 1回目の地域学校連携協議会の前に企画推進部会を開催し、組織、会則、委員の選定、今後の事業計画や運営のあり方について打ち合わせを行った。今年度は、オブザーバーとして企画推進部委員（小・中PTA副会長）にも毎回地域学校連携協議会に出席していただき、協議会の内容を把握していただいた上でご意見をいただけるよう工夫した。
- ③ 来年度の新しい取り組みとして、「あいさつ＋α運動」を予定している。今年度から意識をもってもらうという意味で、冬休み中に保護者と子どもが一緒にあいさつに関わる標語を作ってもらった。現在、4月のスタートに向けて準備中である。
- ④ 3回目の協議会では、「あいさつ」を中心にして委員から意見をいただいた。家庭内でのあいさつが基本であり、習慣付けが大切である。また、あいさつは地域全体の安全につながるものであるため、地域の人同士もあいさつを心掛けてほしいとのことだった。さらには、高齢者との交流会に児童が参加した際、優しさにあふれた言動に感動した、という感想があった。次第に子どもたちの内面に思いやりの心が育ってきているようであり、中学校でもさらに成長できるよう指導していきたい。3回にわたる地域学校連携協議会を通して、委員の方々の子どもたちや学校に期待する思いと、今後子どもたちに何ができるかを模索している姿が印象的であった。

(2) 課題

- ① 島守小・中学校地域密着型教育推進事業では、保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として、子どもたちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。しかし、効果的に活用できないでいる部分も感じられる。学校行事やPTA行事、日常の教科等の授業において協力していただく場面をさらに広げていくことが大切である。こうすることで、地域の人々のためになれば、理想的な仕組みであると考ええる。
- ② 委員の方が実際に生徒にかかわったり、学校生活の様子を参観する機会が少ないのが現状である。そのため、その都度学校行事や参観日などにお出でいただくよう、案内を送付している。いかに学校の現状を理解していただき、ご意見やアンケートに反映させるかが大切である。
- ③ 協議会で話し合われた内容については、小・中学校の学校だよりを通して紹介しているだけにとどまっている。今後は、学校のホームページへ掲載したり、学校行事の際にお知らせしたりすることも1つの方法である。
- ④ 「地域密着型教育」をスタートして以来、4年が過ぎようとしている。協議会のよい点と改善すべき点を明確にし、これまでの活動を整理する機会を設けたい。そのためには、協議会の開催回数を増やす必要がある。

3 章 実践発表資料

- 1 第三中学校発表資料（推進校連絡会） 1 2 9
「地域密着型教育推進校連絡会 実践発表資料」
- 2 旭ヶ丘小学校発表資料（実践研究発表会） 1 3 3
「地域密着型教育の取り組み」
- 3 豊崎中学校発表資料（実践研究発表会） 1 3 8
「地域密着型教育への取組」

地域密着型教育推進校連絡会 実践発表資料

八戸市立第三中学校

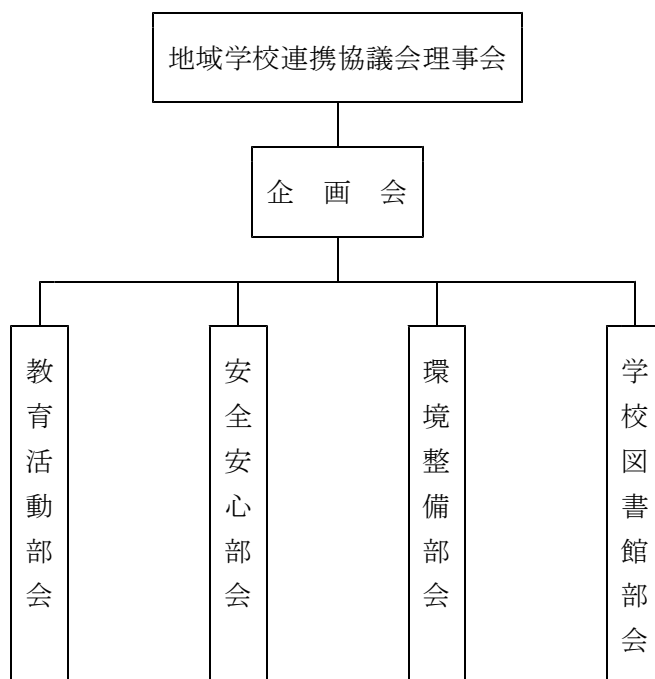
1 これまでの経緯

- 平成 20 年度 学区の柏崎小学校が地域密着型教育モデル校の指定を受ける
平成 21 年度 地域密着型教育モデル校に指定される
平成 22 年度 地域密着型教育推進校に指定される
平成 24 年度 地域密着型教育の実践が 4 年目となる

2 地域密着型教育を推進する上での基本的な考え方

- (1) 地域密着型教育は、地域学校連携協議会がその柱であるとして、理事会での話し合いや意見を重視する。
- (2) これまでの実践を継続し、できるだけ新たな負担を増やさない。
- (3) 東日本大震災を踏まえ、防災機能強化に努め地域との連携を深める。

3 本校の地域学校連携協議会の組織



【理事会の構成員】

- 地域諸団体長 7 名
PTA 役員等 6 名
学校職員 3 名
※校長、教頭は含まず
会長は PTA 会長が務める

【企画会の構成員】

- 校長・PTA 会長
各部長（理事の中から）
教職員代表 各 1 名
PTA 三役会が会を代行

【各部会の構成】

- PTA の組織を活用

【コーディネーター】

- 2 名体制
小中連携して活動

◎小学校との連携から一部合同型を採用

- ・理事のうち地域諸団体長 7 名は、小学校の理事を兼務する。
- ・年 3 回の地域学校連携協議会理事会のうち 1 回目と 3 回目は合同で実施、2 回目は各校ごとに学校関係者評価を行う。

4 地域学校連携協議会理事会の内容

(1) 第1回 5月23日(水) 18:00～ 小中合同

①学校目標、経営方針等について

②各部会の活動計画について

③質疑(出された意見)

- ・基礎学力も大切だが、心や体も大切。集団でなければ育てられないものを大切にしたい。
- ・グッジョブは重要な取組。こういう活動を通して成就感をもたせたい。
- ・地区自主防災会と合同の訓練を行いたい。

(2) 第2回 12月3日(月) 18:00～ 小中別

①学校目標の達成状況及び評価について

②各部会の活動状況について

③質疑(出された意見)

- ・年々あいさつがよくなっているが、しない子も数人いる。
- ・防犯弁論に感激した。三中生はよく育っている。
- ・お辞儀等精神面もよく指導している。
- ・学校行事やグッジョブなどの具体的な体験活動を大切にしたい。
- ・小さいさかいを通して心が育つ部分もある。「いじめ」と区別して慎重に見定めるべきである。
- ・小中1校ずつの学区なので、進学後に高校になじめるよう、たくましさを育てたり、進学後も卒業生をフォローしたりしてほしい。
- ・「授業がよくわからない」という生徒が1/3というのは多い。改善の努力を。
- ・将来の職業に対するイメージをもたせれば学習意欲につながるのではないかな。

(3) 第3回(予定) 2月6日(水) 18:00～ 小中合同

①学校関係者評価結果について

②各部会の活動状況について

③来年度の教育計画について

5 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

- ・文化祭支援、部活動支援、芭蕉堂祭り俳句大会参加等

(2) 安全安心部会

- ・巡回パトロール(部活動延長期間、文化祭準備期間)
- ・地区自主防災会との合同避難訓練 9/24

(3) 環境整備部会

- ・校地内草取り枝払い作業 8/19
- ・校地周辺フェンス塗装作業 9/23
- ・校舎内生け花ボランティア 月2～3回

(4) 図書館支援部会

- ・図書ボランティア 1学期5回、2学期5回

6 地区自主防災会との合同避難訓練

(1) 事前準備

- ・地区自主防災会事務局との協議(訓練の内容、流れ、役割分担等) 3回
- ・職員会議での審議(合同訓練要項並びに避難所開放区域案(別紙参照)等)
- ・企画会(PTA 三役会)での審議(合同訓練要項並びに避難所開放区域案等)

(2) 実施日時

9月24日(月) 13:30～16:30(中学校は6校時から)

(3) 実施想定

震度5強の地震発生。樹木や家屋の倒壊によるけが人が出ている模様。その後津波警報が発令。地域住民は避難所である第三中学校校庭に避難。第三中学校では、火災の恐れのため校庭に避難。その後避難所開設。

(4) 実際の訓練の流れ(学校と自主防災会が分担して実施)

- ・避難 当日は雨天であったため、地域住民、生徒ともに体育館に避難
- ・全体会 校長講評、消防署員講評、防災危機管理課職員挨拶、訓練内容確認
- ・町内会ごとの集会 生徒と地域住民との顔合わせ及び防災についての話し合い
- ・避難用物資移動訓練 生徒による毛布、水の運び出し(生徒の参加はここまで)
- ・非常食試食 熱を使わない非常食の試食
- ・希望者による避難所(校内)一巡

(5) 訓練参加者数

地域住民等:119人 類家保育園:21人 第三中学校:307人 合計:447人

(6) 合同訓練のまとめ(別紙参照)

7 今年度の成果と課題

- (1) 成果
 - ・理事会での意見や評価を生かした指導により、生徒の意識が向上するなど好循環を生んでいる。
 - ・大会前の部活動延長期間に安全パトロールを実施するなど、より充実した活動が展開された。
 - ・自主防災会との合同訓練により、生徒は「地域の一員」という意識を強くもつことができ、生徒、避難民を含めた非常時の動きが確認できた。
- (2) 課題
 - ・理事会からの意見を重視するためには、年3回の開催では不十分ではと思うが、理事の負担増を考えるとこのままがいいのか。
 - ・合同の防災訓練は今後も必要であると思うが、どのようにして継続すればよいか。

第三中学校避難所開放区域案(校舎・校庭)

No.	名 称	場 所	備 考
1	本部(連絡所)	通級保護者控え室	避難者の状況が把握しやすく会議ができる場所
2	避難者収容所	体育館、剣道場	避難者が増加してきた場合は、3階普通教室、4階普通教室に順次拡大
3	介護室	柔道場	畳が敷いてあり、校庭からの出入りも容易
4	応急救護所	保健室	専用の設備となっている場所
5	ゴミ集積場所	体育館とストーブ小屋の間	新たに設置した小屋も利用可
6	仮設トイレ設置場所	武道館西側校庭	居住空間との距離が適当な場所
7	給水所	武道館南側校庭	専用配水管から直接給水を受けられる場所
8	調理室	調理室	大規模な炊き出しは給水所付近にテントを設置
9	風呂	技術室前校庭	技術室からの出入りが容易な場所
10	更衣室	技術室	居住空間からも比較的近い場所
11	洗濯場	プール南側校庭	給水と排水が可能な場所
12	物干し場	2階ベランダ	日当たりが良い場所
13	情報掲示場所	体育館玄関	多くの避難者が目にできる場所
14	相談室(授乳室)	適応教室	プライバシーを守って被災者が相談できる場所(相談のない時間帯は授乳室)
15	非常用物資備蓄場所	4階配膳室	最上階のため津波の被災を受けにくい
16	救援食料集積場	1階2階配膳室	食料の搬入がしやすい場所
17	救援食料配給場	1階配膳室	配膳台等が設置されていて、仕分けが容易
18	救援物資集積場	ホール	物資の搬入が容易な場所
19	救援物資配給場所	ホール	物資の仕分けが容易な場所
20	ボランティア控え室	美術室	本部からの指示や情報を伝えやすい場所
21	仮設電話設置所	2階廊下	昇降口屋上を活用すれば、短時間で配線可
22	臨時遺体安置所	第2理科室	居住空間との距離があり、搬出が容易な場所
23	緊急車用駐車場	昇降口前全面	舗装されている場所は、一般車両駐車禁止
24	一般駐車場	野球場、サッカー場	関係車両通行のため、校舎よりは駐車禁止職員はテニスコート横に駐車



三中だより

No. 7

平成 24 年 10 月 1 日 (月)

発行 八戸市立第三中学校

電話 44-1319

柏崎地区自主防災会と合同による避難訓練 全町内から住民の参加を得て

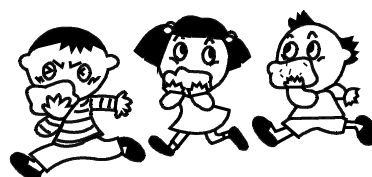
9 月 24 日(月)、柏崎地区自主防災会と合同による避難訓練（自主防災会としては柏崎地区防災訓練）を実施しました。これまで柏崎小学校を会場に開催していた自主防災訓練を、今年は本校でとの申し出があり、検討の結果、学校の避難訓練に合わせて行うよう計画したもので、初の試みでした。災害時は学校が避難所となることから、合同による訓練は、生徒及び避難者の動きを確認できたことから大変意義あるものでした。

訓練には、学区のすべての町内から訓練に参加いただきました。類家保育園の年長組の園児たちも地域住民に見守られながら参加してくれました。また、いざという時のために、ほんの少しの時間ではありましたが、町内ごとに中学生との顔合わせも行いました。生徒たちにとって初めての合同訓練は、自分たちが地域の一員であることを意識し、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけになったものと思います。

消防署職員から訓練の講評と次回への課題が示され、防災担当の市職員からは、自助・共助・公助のお話がありました。今回の訓練を検証するとともに、皆様からの御意見を参考にしてより充実した訓練をめざしていきたいものです。非常時に学校ができること、学校がやらなければならないことを皆様とともに考え、地域の中の学校として共助の一翼を担えるよう努めてまいります。

避難訓練後の生徒の感想

- 日頃から地域の方とコミュニケーションをとることや、自分の家の場所を覚えてもらうことは、災害時のためにもなるので大切だなと思いました。
- あいさつをするなどして、地域の方々ともっと親しみ、深いつながりを保つことが大切だということを学びました。
- 東日本大震災の時のことを踏まえて、地域の方と話し合いをすることができました。顔見知りになることもできたので良かったです。
- 「地域の一員」という自覚をもって、災害が起こったときに自分に何ができるのかを考えて、協力していきたいと思います。
- 私の町内にはお年寄りが多いということがわかったので、自分の命を自分で守るだけでなく、まわりのことにも気を配るようにしたいです。



地域密着型教育の取り組み

八戸市立旭ヶ丘小学校

教頭 堰合雅弘

1 取り組みの趣旨

児童の「確かな学び」と「豊かな育ち」に資することを目的として、地域密着型教育を推進し、本校の学校運営に関して地域の住民及び保護者等の参画を進める。

2 本校における実践内容

保護者および地域住民が、学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による開かれた学校づくりを推進する。

①「願い」「情報」「責任」「学び」の四つを学校・家庭・地域社会が共有し、P T A活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。

②教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を育む。

③地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通じて、明るく活力のあるまちづくりに貢献する。

3 基本的な配慮事項

①あくまで学校運営の主体は校長であるという立場を明確にし、校長が独立した立場として、校長の施策とその決定ができるようにする。

②できるだけ既存の組織を活用するとともに、組織が有効に機能するように配慮する。

③できるところから、またやらなければならないところから、無理なく進める。

④地道な取組を旨とし、多忙化の懸念を払拭するとともに、粘り強く取り組む。

4 地域学校連携協議会を充実させるために

①保護者や地域住民が関心を持ちやすい具体的な内容を、わかりやすい資料を使って示し、意見が多く出るようにする。

②学校の課題や子どもの課題については、教職員だけの責任とせず、参加者全員の課題として捉えられるようにする。

③要望、意見について、どこで検討するか（学区で、P T Aで、企画推進員会で等）を明らかにし、検討結果（学校の行事の変更、P T A活動の改善、ボランティアの活用等）を次回の協議会で報告するなどし、無理に回答を急がない。

5 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年6月7日（木） 18:30～20:00

②協議内容

- ・会則の確認
- ・組織について
- ・今年度の教育課程について
- ・今年度の事業計画について（各団体の行事確認）

(2) 第2回 ①実施日時 平成24年9月11日（火） 18:30～20:00

②協議内容

- ・1学期の取り組み状況
- ・1学期の子どもたちの様子及び情報交換
- ・今後の取り組み方について

- (3) 第3回
- ①実施予定日時 平成25年1月24日(木) 18:30~20:00
- ②協議内容
- ・地域密着型教育の推進状況報告及び学校関係者評価について
 - ・来年度の方向性の検討
 - ・情報交換
- (4) 第4回
- ①実施予定日時 平成25年2月21日(木) 13:50~15:00
- ②協議内容
- ・子どもたちや教師の授業に対する様子について
 - ・情報交換

6 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

7月 4日（水） 学校保健委員会主催「すこやか会議」
 テーマ「よりよい人間関係をめざして～気持ちを上手に伝えること」
 講師 八戸市総合教育センター 臨床心理士 高橋 育子氏
 児童、保護者、教員、地域連絡協議会委員 合計約600人参加

10月19日（金） マラソン大会全校児童参加（保護者引率補助ボランティア8名）

11月 8日（木） 3学年地域の名人発見（ボランティア13名）

11月15日（木）～16日（金）
 6学年職場体験学習（保護者引率ボランティア計10名）

(2) 安心・安全部会（安全づくり）

8月 4日（土） 旭ヶ丘祭り山車引き子及び夜間巡回として職員参加

(3)環境整備部会（環境づくり）

5月13日（日） 校庭除草作業

(4)図書部会（心づくり）

6月26日(火)	本の読み聞かせ・本の修理・整理整頓
10月17日(水)	〃
12月 3日(月)	〃
1月25日(金)	〃

7 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①学びの質の向上が図られた

- ・地域の事業所や教育支援ボランティアの協力により、より専門的な内容を教えてもらった
り、個に応じた丁寧な指導をしてもらったことにより、児童の確かな学びが見られた。ま
た、引率補助等をしてもらうことにより児童の安全が十分確保された。

②一年間を見据えた役割分担や協力体制が明確になった

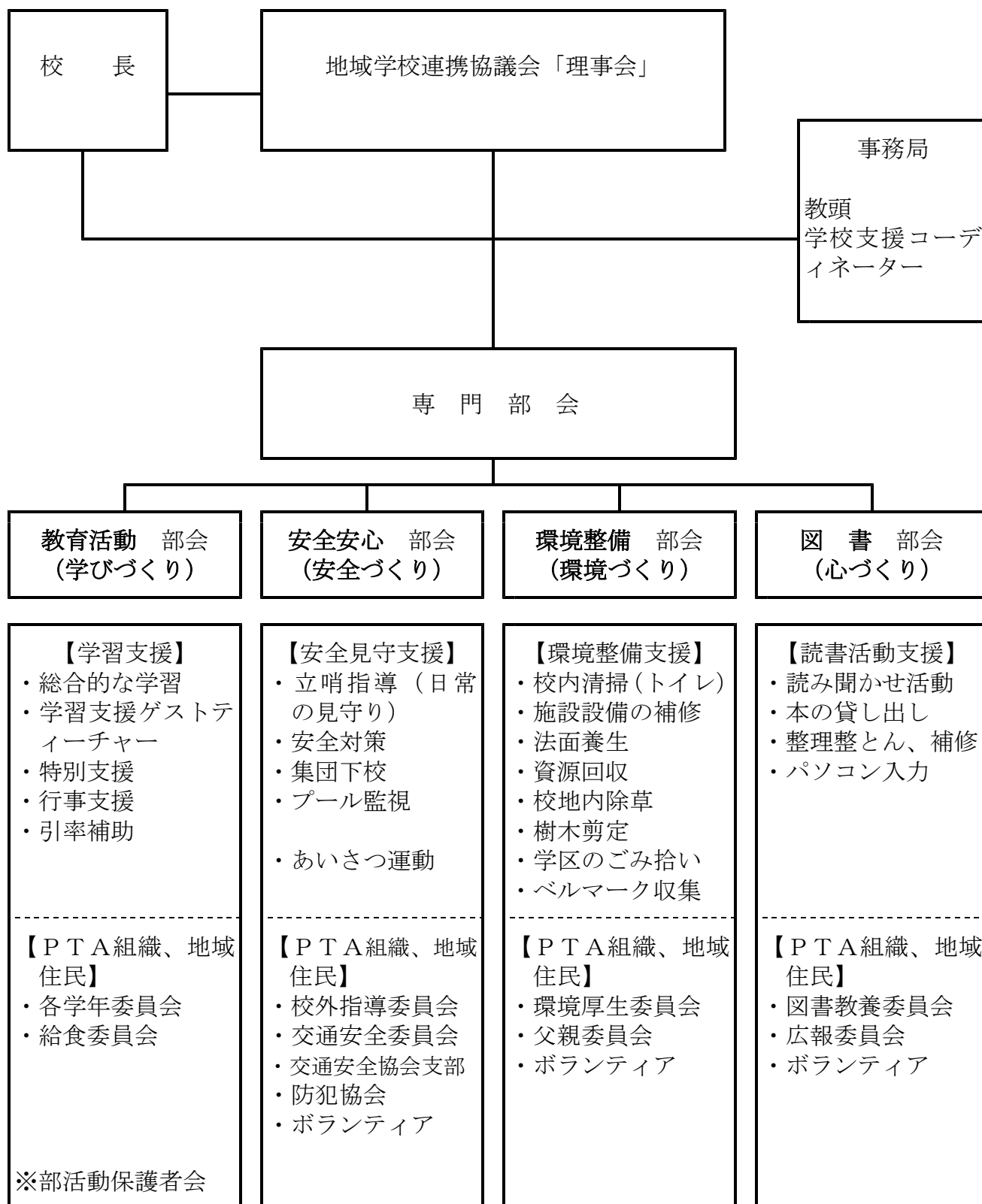
- ・学校、地域、保護者がそれぞれすべき仕事内容を明確にし、各団体のスケジュール一覧を作成することで、より効率的に協力して活動できるようになった。

(2) 課題

①非常災害時の旭ヶ丘地区防災対策本部との連携のあり方

- ・普段からどのようにして旭ヶ丘地区防災対策本部と連絡を取り合っていくか。また、非常災害時における旭ヶ丘地区防災対策本部と学校との役割をどのように分担していくかを明確にしていく必要がある。

旭ヶ丘小学校「地域学校連携協議会」組織



平成24年度 八戸市立旭ヶ丘小学校地域学校連携協議会名簿

会 長	元八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会会長	地域代表
副会長	旭ヶ丘町内連合会長	地域代表
副会長	旭ヶ丘地区子供会育成協議会会長	地域代表
理 事	交通安全協会旭ヶ丘支部長	地域代表
理 事	旭ヶ丘地区防犯協会会長	地域代表
理 事	体育振興会会長	地域代表
理 事	八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会会長	保護者代表
理 事	八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会副会長	保護者代表
理 事	八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会 父親委員会委員長	保護者代表

理 事	教諭 教務主任
理 事	教諭 研修主任
理 事	教諭 生徒指導主任
理 事	教諭 管理主任

校 長

事務局 教頭

地域密着型教育コーディネーター

前八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会副会長

前八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会副会長

前八戸市立旭ヶ丘小学校父母と教師の会副会長

地区行事一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
旭ヶ丘小学校	交通安全教室 中旬 (徒歩・自転車) 街頭指導	26日 運動会		20日 終業式	4・5日 旭ヶ丘まつり 22日 始業式 街頭指導 3日間	16日 敬老会 30日 バザー	13日 学習発表会
交通安全委員会 (旭ヶ丘小)	春休みあけ街頭指導 3日間 交通安全教室			夏の交通安全キャンペーン 13日頃	夏休みあけ街頭指導 3日間		
交通安全協会旭ヶ丘支部	交通安全教室 春の交通安全運動 6日～15日			夏の交通安全運動 21日～31日		21日～30日 秋の交通安全運動	
校外指導委員会 (旭ヶ丘小)				夏休みの巡回7/24頃～29日頃 8/6・8・17日頃 (旭ヶ丘まつり含む)			
防 犯 協 会	春の地域安全運動	八戸地区連合防犯協会 定時総会 防災訓練			旭ヶ丘まつり4日～5日 交通整理・夜警		秋の安全・安心まちづくり 旬間 安全・安心県民大会
東地区青少協				夏季夜間巡回 7月下旬から	夏季夜間巡回		
子 供 会		27日 東公民館神田山つつじ祭り	いちご狩り6月下旬～7月 28・29日 地区キャンプ		4・5日 旭ヶ丘まつり	30日 市親睦交流ソフトボール大会	6・7日 東公民館まつり 準備(1日～5日)
その他						1日 ハゼ釣り大会 2日 連合町内運動会 16日 敬老会	

	11月	12月	1月	2月	3月	備考
旭ヶ丘小学校		21日 終業式	11日 始業式	21日 参観日	19日 卒業式 26日 修了式・離任式	
交通安全委員会 (旭ヶ丘小)			冬休みあけ街頭指導 3日間			
交通安全協会旭ヶ丘支部		11日～20日 冬の交通安全運動				・毎月1日 県民交通安全の日 ・毎月15日 高齢者交通安全の日
校外指導委員会 (旭ヶ丘小)		12/23頃～29日頃 1/7頃～11頃	冬休みの巡回			
防 犯 協 会		年末特別警戒	年次末特別警戒	防犯指導隊・防犯連絡所 合同研修		・通年夜間巡回 ・緊急要請があれば随時出動
東地区青少協		冬季夜間巡回 下旬から	冬季夜間巡回			
子 供 会	18日 市チャレンジランキング大会		13日 どんど焼き・百人一首 餅つき			
その他						

平成24年度

小・中学校ジョイントスクール推進事業 並びに 地域密着型教育推進事業実践研究発表会

【第一部】 Bグループ 14:00~15:00

「地域密着型教育への取組」（豊崎中学校区）



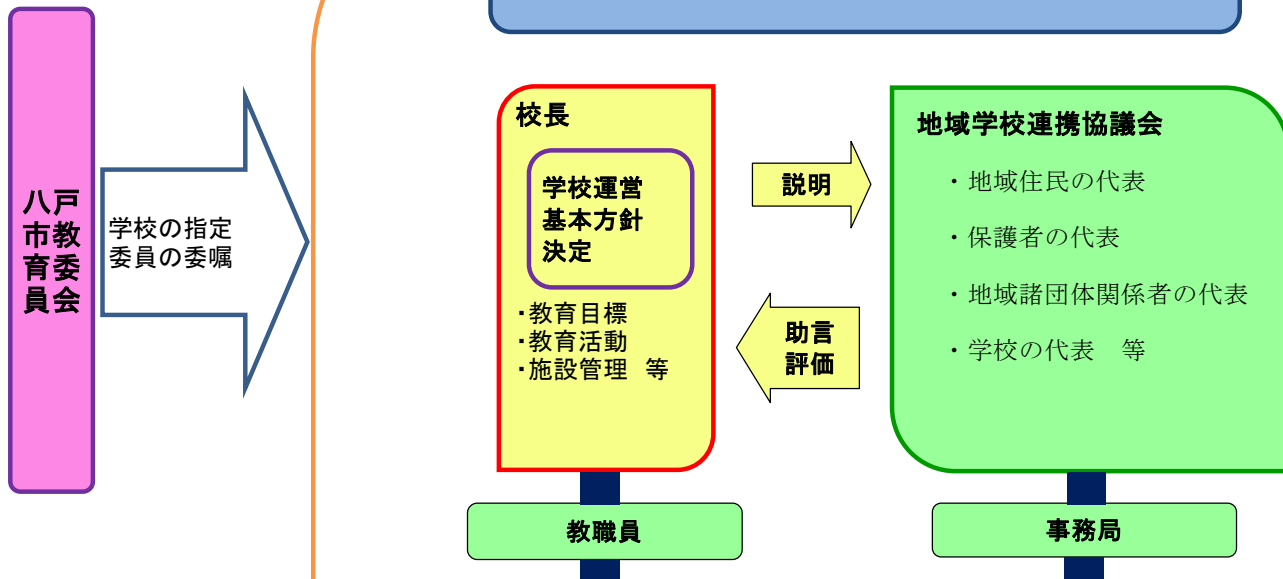
平成25年1月21日（月）

於：八戸市総合教育センター（大研修室）

八戸市立豊崎中学校

教頭 石沢正彦

地域密着型教育推進事業 地域学校連携協議会の仕組み



1 わらい

- (1) 子どもの確かな学びと豊かな育ちを保证するために、学校・家庭・地域社会が「願い」「情報」「責任」「学び」の4つを共有し、PTA活動や地域活動と連携を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- (2) 地域の特色や家庭・地域社会の教育力を生かした教育活動を展開することによって、ふるさと豊崎に誇りと愛着をもつ子どもを育てる。
- (3) 地域ぐるみの教育活動や豊崎の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、活力のある町づくりに貢献する。

2 主な活動

(1)安全・安心活動

- ・PTAによる春・秋の交通安全指導
- ・声かけ協議会による声かけ運動(毎週水曜日)
- ・幼・小・中保護者及び防犯協会による校外巡視活動(6～10月毎週木曜日)
- ・非常時の家庭への連絡や避難所開設に係ること 等

(2)環境整備活動

- ・春の校庭整地
- ・保護者による運動会・体育祭前の校庭の草取り
- ・小・中保護者による相撲大会前の神社の土俵整備と草刈り作業
- ・校舎の窓ふき作業
- ・おやじの会による校庭樹木の剪定 等

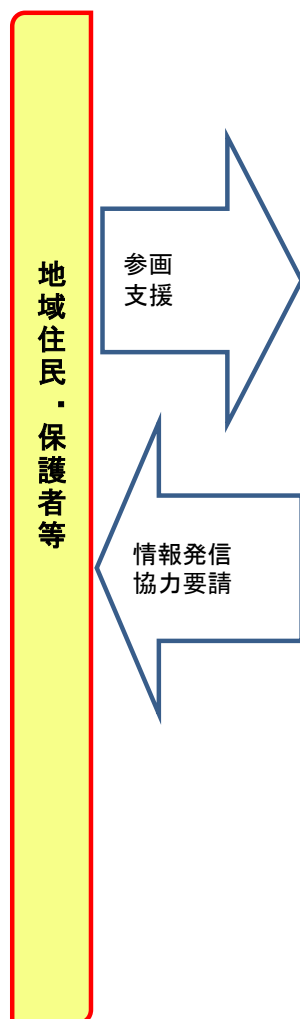
(3)教育支援活動

- ・米作りに関する活動(田植え・稲刈り・もちつき・わらじづくり)
- ・畑作物の栽培(ジャガイモ・枝豆・さつまいも等)
- ・ふるさと学習への支援(郷土料理・歴史・戦争体験・七崎音頭等)
- ・「背中の会」の活動(文化祭屋台、夏休み中の巡視、その他随時)
- ・農園活動への支援(土興し・堆肥作り・木材の提供・収穫祭・豆腐作り等)
- ・グッジョブの受け入れ事業所支援 等

(4)行事支援活動

- ・相撲の作法指導、当日の準備・運営・審判・後片付け
- ・運動会・体育祭の準備・後片付け
- ・マラソン大会の巡視
- ・学習発表会の後片付け 等
- ・文化祭での喫茶店と屋台の出店

(5)学校評価に関する活動 他



※ 上記の主な活動の中で、アンダーラインは、小・中学校ともに実施している内容

※ 上記の主な活動の中で、斜体は、中学校で実施している内容

平成24年度 豊崎中学校区地域密着型教育の取組 (小学校・中学校)

安全・安心活動

	協力者	内 容	学 校	時 期
交通安全指導 (交通安全挨拶運動)	交通安全母の会、校外指導委員会、交通安全協会等の方々、教職員	小・中児童生徒並びに幼・小・中の教職員、小・中PTA、交通安全協会等の方々による春・秋の交通安全指導	小学校 中学校	4/10～4/12 9/24～9/26
声かけ運動	声かけ協議議会の方々	声かけリーダーによる下校の見守り、安全の呼びかけ	小学校	毎週水曜日 15時
校外巡視活動	幼・小・中の保護者並びに防犯協会の方々	車による学区内の夜の巡回及び声かけ	小学校 中学校	毎週木曜日 (6～10月)
夏休み中の夜間巡視活動	背中の中の会の皆さん	車による学区内の夜の巡回及び声かけ	中学校	夏休み中の 19時～

環境整備活動

春の校庭整地	地域の方1名	グレーダーによる校庭の地ならし	小学校	5/11
運動会・体育祭前の校庭の環境奉仕作業	環境(整備)委員会、保護者、児童生徒、教職員	校庭の草刈り、草とり及び石拾い	小学校 中学校	5/13
校庭の樹木の剪定	背中の中の会の皆さん	校庭脇にある桜の木の剪定	中学校	5/13
ゴーヤのネット張り	背中の中の会の皆さん	ゴーヤ棚用のパイプ支柱設置とネット張り	中学校	5/13
プールの補修作業	背中の中の会の皆さん	プールサイドのタイル張り、更衣室等のドア補修、フェンスのペンキ塗り	中学校	6/24 7/1
校舎の窓ふきと草刈り作業	小保護者、小6	校舎の窓ふき、校庭の草刈り	小学校	8/26
相撲大会前の土俵整備と除草作業	保護者、地区相撲協議委員、児童生徒、教職員	土俵づくり、照明器具の設置、除草作業	小学校 中学校	8/26

教育支援活動

農園活動への支援	地域の方5名	土興し、キノコ用ほだ木の提供、堆肥づくり、木材の提供、収穫祭	中学校	4月～9月上旬
グッジョブの受け入れ事業所支援	POLO ライディングクラブ、伊吉書院、ブルーヴィン、ピエロ洋菓子店、よこまちストア、三福商店（五戸）、八戸市図書館情報センター	馬の世話、本のビニールカバーがけ、ギターの弦張り、ケーキ作り、総菜の盛りつけ、菓子作り、本の整理等	中学校 2年生	11/13 ～ 11/16
米作りに関する活動	地域の方1名	田植え、稲刈り、脱穀	小学校 3～5年生	5/28～
郷土の学習	地域の方1名	豊崎出身の豪商 七崎屋半兵衛についてのお話	小学校	11/27
	地域の方1名	七崎音頭	小学校	5/9
伝統料理学習	地域の方1名	豆しとぎづくり	小学校 3～5年生	11/28

行事支援活動

相撲の作法指導	地域の方1名	相撲大会前の相撲礼法指導	小学校 中学校	8／31
相撲大会の運営・審判・後片付け	保護者、地区相撲協議委員	相撲大会準備、運営、審判、シートへの片付け	小学校 中学校	9／8
文化祭の喫茶店と屋台の出店	総務委員会、背中の会の皆さん	文化祭での喫茶コーナーと屋台の出店及び販売	中学校	9／8
学習発表会の後片付け	小学校保護者	楽器移動、ひな壇の撤去、マット、跳び箱の移動	小学校	10/14
マラソン大会の安全巡視	小学校保護者	公道における安全確保	小学校	10/23

その他

農園活動への支援	地域の方1名	豆腐づくり	中学1年	2/5【予定】
除雪作業	地域の方1名	玄関前及び通学路の除雪	中学校	冬季

地域学校連携協議会の組織

	役職名	団体役職名	氏 名		役職名	団体役職名	氏 名
1 ※	会 長	豊崎中学校父母 と教師の会会長		12	委 員	豊崎幼稚園教諭	
2	副会長	豊崎小学校父母 と教師の会会長		13	事務局	小学校教頭	
3	副会長	上七崎町内会長		14	委 員	小学校教務主任	
4	副会長	前豊崎地区子ど も会育成連絡協 議会会長		15 ※	委 員	元豊崎中学校父 母と教師の会会 長	
5	委 員	元豊崎小学校父 母と教師の会副 会長		16 ※	委 員	元豊崎中学校父 母と教師の会会 長	
6	委 員	元豊崎小学校父 母と教師の会役 員		17 ※	委 員	主任児童委員、 前豊崎地区子ど も会会長	
7	委 員	消防団豊崎分団 長		18 ※	委 員	前豊崎中学校父 母と教師の会副 会長	
8	委 員	永福寺食料加工 組合組合長		19 ※	委 員	地域住民 豊崎幼稚園職員	
9	委 員	瑞豊館協力会会 長		20 ※	委 員	前豊崎中学校父 母と教師の会会 長	
10	委 員	豊崎婦人消防ク ラブ会長		21 ※	事務局長 (輪番制)	中学校教頭	
11	委 員	豊崎小学校父母 と教師の会監事		22 ※	委 員	中学校教務主任	
学校運営者		中学校校長		学校運営者		小学校校長	

* 市教育委員会 教 育 指 導 課
八戸市総合教育センター

より指導・助言を頂いた。

- ◎ 事務局長は小学校教頭と中学校教頭の輪番制
- ◎ 番号下の※印は、中学校からの協議会委員、無印は小学校からの協議会委員を示す。
- ◎ 今年度は、小学校１３名、中学校９名の計２２名である。次年度は、人数の削減を検討予定
- ◎ 両校校長は、学校運営者とし、協議会委員には含めない。

コーディネーターは教頭

- 【役 割】 ア 会議資料の内容の設定（会長と相談の上）、会議資料作成
会議の案内と発送、会議記録作成
イ ボランティア募集や取りまとめ、連絡調整
ウ 予算計画と執行（事務と相談、協力）
エ 地域への情報提供：学校だより・諸文書の地域配布
オ 教職員やPTA、地域学校連携協議会委員との連絡調整
カ 状況把握と報告・周知

予 算

◎ 平成24年度 市教委より 30,000円

- 【内 訳】 ア 小学校 15,000円 中学校 15,000円
イ 主に消耗品費として使用

地域学校連携協議会

◎ 年3回実施

■ 1回目 6月27日（水） 19:00～20:30 豊崎中 美術室

＜委嘱状交付式＞ 司会 教育委員会（指導主事）

- （1）開式の言葉
- （2）委嘱状交付
- （3）教育長あいさつ
- （4）閉式の言葉

＜協議会＞ 全体司会 事務局長（中教頭） 記録（小教頭）

- （1）開会の言葉
- （2）中学校長あいさつ
- （3）行政説明
- （4）協議会 司会 会長
 - ①会則について
 - ②会長・副会長の指名
 - ③会長・副会長あいさつ
 - ④組織について（小・中教頭）
 - ⑤今年度の学校教育方針について（小・中校長）
 - ⑥今年度の計画について
 - ⑦質疑応答
- （5）小学校長あいさつ
- （6）閉会の言葉

【成 果】

- ・参加した委員の方々からは、学校を信頼し応援しているというような発言があり、たいへんいい雰囲気での会議を終了することができた。

【課題や改善点】

- ・4月下旬の準備会からスタートし、豊崎中学校区としての地域密着型教育の方針や計画を定め、もっと早い時期に開催したかったが、5月には運動会や体育祭という大きな行事があり、事務局長も新任で準備が難しいのでは？ということで、指導主事を交えての準備委員会も6月上旬に設定せざるを得なかった。そのため、この日が選ばれた。来年度は小学校に事務局長が移ることになるが、先を見通した計画を立て、もう少し、早い時期に設定したい。
- ・開始時間を30分切り上げて開催した方が、参加者も夜遅くならなくて良かったと思う。

■ 2回目 12月14日(金) 19:00~20:30 豊崎中 図書室・校長室

<協議会> 全体司会 会長 記録(中教頭)

- (1) 開会の言葉
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事 【小学校と中学校に分かれて実施】

(小学校:図書室)

司会 田中副会長

- ①小学校の学校評価の結果についての報告
 - ・保護者・児童・教職員アンケート調査結果について(教頭)
 - ・保護者が考える子どもに育てて欲しい力や態度について(教務主任)

- ②幼稚園の評価の結果についての報告

- ・保護者・児童・教職員アンケート調査結果について(幼稚園教諭)

- ③情報交換

- ④校長あいさつ

(中学校:校長室)

司会 松橋会長

- ①地域密着型教育の中学校における今までの取組について(教頭)

- ②中学校の学校評価の結果についての報告

- ・保護者アンケート調査結果について(教務主任)

- ・保護者・児童・教職員アンケート調査結果に対する回答(校長)

- ③情報交換

- ④校長あいさつ

※議事が終了しだい、各学校ごとで解散

【成果】

- ・事前に協議委員に資料を送り、目を通して頂いてからの参加をお願いした。そのため、比較的すんなりと質疑応答に入ることができた。
- ・最初に全体会を開き、会長から挨拶を頂いたあと、協議会を小・中学校別に分かれ、学校評価の結果報告等を行った。これにより、時間の大幅な短縮が図られ、各学校に特化した内容の濃い話し合いができたと思われる。

【課題や改善点】

- ・小・中学校別に分かれて話し合いをしたあと、再び全体で集まることはせず、終了次第解散にしたため、終了時間に大きな差が生じてしまった。逆に終了時間を定めてしまうと、中途半端になり、案件の持ち越しも考えられるため、痛し痒しのところがある。やはり開始時間を早めることが得策かもしれない。

■ 3回目 2月12日(火) 豊崎中 図書室にて開催予定

【案】<協議会> 全体司会 事務局長(中教頭) 記録(小教頭)

- (1) 開会の言葉

- (2) 会長あいさつ

- (3) 議事(予定) 司会 会長

- ①今年度の取り組みと、第2回連携協議会の報告(小・中校長)

- ②今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議(小・中教頭)

- ③来年度の教育計画についての説明等

- (4) 中学校長あいさつ

- (5) 小学校長あいさつ

- (6) 閉会の言葉

成果と課題

【 成 果 】

- ・ 地域密着をやる前とやった後で、何が変わったかというと、やっていることは今までと同じで何も変わったところはない。会議が新たに加わっただけである。しかし、今まで、小学校と中学校がそれぞれバラバラにやってきたことを、表にまとめたり図で表すことにより、全体の様子や関係が明らかになり、改めて、地域や学校のがんばりが目に見えるようになった。
- ・ 2回の地域学校連携協議会を通して、地域の方々の郷土に対する熱い思いを感じ取ることができた。その思いに学校もやはり応えていかなければと強く思った。
- ・ 地域学校連携協議会の会議のスムーズな進め方が分かってきた。来年度はもっとみんなの意見を引き出していけそうな気がする。
- ・ 両校の教頭が事務局ということで、打ち合わせを十分に行いながら進めることができたと思う。資料やデータの共有もしっかり行い、来年度に引き継ぎたい。

【 課 題 】

- ・ 今年度は、昨年度から立ち上げていた小学校の地域学校連携協議会に中学校が相乗りをした形になった。そのため、委員の数が今まで委嘱されていた小学校の委員に中学校の委員が単純にプラスされたものとなった。会則も20名前後としたが、もう一度検討し、会則の変更も含め、来年度はもう少し人数の削減を図りたいと思う。
- ・ 会議での発言者が限られている。その理由はいくつかあると思うが、その一つに、委員が団体の長であるため、実際に子どもたちに指導したり、関わったりする機会が少なく、子どもたちの実態がよく分からないために発言できないという面もあると思う。そうであれば、学校行事に参加して子どもたちの姿を見ていただきたいが、実際には、皆さんお忙しい方々なので、案内を出しても参加してくれる方は、やはり、限られた方になってしまう。委員の選び方がとても重要だと感じた。
- ・ 司会の進め方によって会議の流れや雰囲気は左右されることも多かった。司会者との事前の打ち合わせがとても大切だと感じた。
- ・ 限られた時間の中で、言いたいことを十分に言うための技術や準備が必要である。
- ・ 会議の内容を保護者や教職員に伝えるのが難しい。

4章 関係資料

1	地域密着型教育推進事業実施要項	148
2	八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における 地域学校連携協議会の設置に関する要綱	150
3	地域密着型教育推進事業に係る 「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱	154
4	地域密着型教育推進事業基本構想図	156
5	同一学区内地域学校連携協議会の形態例	157
6	新規推進校年間スケジュールの例	158

地域密着型教育推進事業実施要項

八戸市教育委員会

1. 趣 旨

近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。

このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。

2. 地域密着型教育推進校における実践内容

八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- (1) 「願い」「情報」「責任」「学び」の4つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- (2) 教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ。
- (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

3. 推進校の指定

- (1) 学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。
- (2) 指定は、単年度ごととする。
- (3) 新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。

4. 推進校における本事業に係る経費

本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。

5. 推進校の組織

推進校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。（５）（６）については、推進校の裁量とする。

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）

（２）委員（理事）の任命

- ①校長の推薦により、教育委員会が任命する。
- ②委員（理事）は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。
- ③委員（理事）の人数は１５人程度とする。
- ④任命期間は１年以内とし、再任を妨げない。
- ⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。
- ⑥報酬については無償とする。

（３）会長及び副会長

- ①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。
- ②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。

（４）会議

- ①委員（理事）の半数以上の出席で、会議が成立する。
- ②議事は出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。

（５）専門部会（月１回程度）

（６）企画・推進部会

6. 主な機能

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。

- ①教育目標及び学校経営方針
- ②教育課程の編成に関する方針
- ③施設、設備の管理及び整備に関する方針
- ④各事項の前年度運営実績
- ⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価
- ⑥その他校長が必要と認める事項

（２）専門部会は、次の規定に基づいて活動する。

- ①専門部会の数や内容・名称については、各学校や地域の実態に合わせて設定する。
- ②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。

（３）企画・推進部会は、次の各項の機能に基づいて活動する。

- ①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能
- ②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能
- ③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能

（４）推進校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。

八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における地域学校連携協議会の 設置等に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という。）における地域学校連携協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(趣旨)

第2条 協議会は、八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、その学校の運営に関して、地域の住民及び保護者等（以下「地域住民等」という。）の参画等を進め、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- (1) 学校と地域住民等との信頼関係を深め、その教育力を相互に高め合うことを通して、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させること
- (2) 教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと
- (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献すること

(指定)

第3条 各校長は、地域住民等の意見を踏まえ、推進校の指定を教育委員会に申請することができる。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、前条の設置目的が達成できると認める場合には推進校の指定をすることができる。

(基本方針等の説明)

第4条 推進校の校長は、次に掲げる事項について、協議会の意見を基に、毎年度基本的な方針等を作成し、その内容を同協議会に説明するものとする。

- (1) 教育目標及び学校経営に関すること
 - (2) 教育課程の編成に関すること
 - (3) 施設、設備の管理及び整備に関すること
 - (4) その他校長が必要と認める事項
- 2 校長は、前項の基本方針等に基づき、その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。
- 3 校長は、第1項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告するものとする。

(運営についての意見)

第5条 協議会は、推進校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに職員の採用、任用、分限、及び懲戒に関する事項を除く。）について、校長に対して意見を述べることができる。

(運営に関する評価)

第6条 協議会は、学校の運営状況について毎年度1回以上の評価を行うものとする。

2 協議会が、文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った

学校関係者評価を行う場合においては、推進校の校長その他の教職員は、委員（理事）として意見を述べることはできない。

（運営への参画促進）

第 7 条 協議会は、推進校の運営について、地域住民等の理解，協力，参画等が促進されるよう努めるものとする。

（情報発信）

第 8 条 協議会は、地域住民等に対して、その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに、地域住民等の意見・要望等を把握し、その運営に反映するように努めるものとする。

（児童又は生徒の意見の聴取）

第 9 条 協議会は、校長の同意を得て、推進校の児童又は生徒の意見を聴取することができる。この場合において、児童又は生徒の発達の段階等に応じ、必要な配慮をしなければならない。

（委員の任命）

第 10 条 協議会の委員（理事）は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- （1） 推進校に在籍する児童又は生徒の保護者
- （2） 推進校の地域の住民
- （3） 推進校の教職員
- （4） 地域の保育関係者，幼児教育関係者，学校教育関係者
- （5） 学識経験者
- （6） 関係行政機関の職員
- （7） 前各号のほか教育委員会が適当と認める者

2 委員（理事）は、その一部を公募できるものとする。

3 推進校の校長は、委員（理事）を推薦することができる。

4 委員（理事）の定数は、校長と協議のうえ、15 人程度で教育委員会が定める。

5 委員（理事）に欠員が生じたときは、教育委員会は新たに委員（理事）を任命することができる。

6 委員（理事）は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 3 条第 3 項第 2 号に規定する特別職の非常勤職員とする。

（委員の任期）

第 11 条 委員（理事）の任期は、任命の日から 1 年以内とする。ただし、任期途中の委員（理事）の交代等に伴う補欠の委員（理事）の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員（理事）は、再任されることができる。

3 第 1 項の規定に関わらず、推進校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは、委員（理事）は、その身分を失う。

（守秘義務等）

第 12 条 委員（理事）は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2 前項のほか、委員（理事）は次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- （1） 協議会及び推進校の運営に支障をきたす言動を行うこと。

(2) 委員（理事）としての地位を営利行為、政治活動、宗教活動等に不当に利用すること。

(3) 委員（理事）の職の信用を傷つけ、又は委員（理事）の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。

（報酬等）

第 13 条 委員（理事）の報酬及び費用弁償については、無償とする。

（会長及び副会長）

第 14 条 協議会に、会長 1 名及び副会長若干名を置く。

2 会長は校長が指名する。副会長は、校長と協議の上、会長が指名する。ただし、推進校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

5 副会長が複数名いる場合は、会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。

（議事）

第 15 条 会長は、校長と協議のうえ、協議会の会議を招集し、議事を掌る。

2 会議は、委員（理事）の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 議事は、出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 会長は、必要があるときは、校長から報告及び説明を求めることができる。

5 校長は、会議に出席し、及び意見を述べ、並びに職員を出席させることができる。

6 協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員（理事）は、当該協議事項について意見を述べ、又は議決に加わることはできない。

（専門部会等）

第 16 条 校長は、第 7 条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため、協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。

2 前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については、学校の実態に則して、各推進校の協議会会則で定めるものとする。

（指導及び助言）

第 17 条 教育委員会は、協議会の運営に関し、その求めに応じて指導及び助言を行うものとする。

2 推進校の校長及び教育委員会は、協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努めるものとする。

（指定の取消し）

第 18 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は、必要に応じて適切な指導・助言を行うものとし、当該指導・助言等にもかかわらず、事態が改善しない場合は、推進校の指定を取り消さなければならない。

(1) 協議会が機能せず、その設置の目的を果たせないとき。

(2) 協議会としての合意形成が行えないとき。

(3) その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより、推進校の学校運営に現に著しい支障が生じ、又は生じるおそれがあるとき。

2 校長は、前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず、基本方針等について協議会の了解が得られないとき又は推進校の運営に現に著しい支障が生じ、若しくは生じるおそれがあるときは、指定の取消しを申し出ることができる。

(解任)

第 19 条 教育委員会は、本人から辞任の申出があったときのほか、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、委員（理事）を解任することができる。

(1) 第 12 条に規定する義務に違反したとき。

(2) 委員（理事）が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。

(3) その他、解任に相当する事由が認められるとき。

2 校長は、委員（理事）が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは、直ちに教育委員会に報告しなければならない。

(運営等)

第 20 条 協議会は、法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において、その運営に必要な事項を定めることができる。

(委任)

第 21 条 この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から実施する。

地域密着型教育推進事業に係る「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために推進校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。

(設 置)

第2条 八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、児童数 100 人以上の小学校及び、生徒数 80 人以上の中学校の推進校にコーディネーターを置くものとする。

2 コーディネーターは、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という）校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。

3 コーディネーターは、原則 1 推進校 1 人とする。ただし、必要と認められる場合は複数名委嘱することができる。

(職 務)

第3条 コーディネーターは次に掲げる業務を行う。

- (1) 推進校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。
- (2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。
- (3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。
- (4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。
- (5) その他委員会及び推進校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。

(服 務)

第4条 コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。
- (2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。
- (3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。
- (4) 誠実かつ公正に勤務すること。

(免 職)

第5条 委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。

- (1) 本人の都合により退職を申し出た場合
- (2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合
- (3) その職に必要な適正を欠く場合

(4) 刑事事件に関し起訴された場合

(任用期間)

第6条 コーディネーターは、1年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。

(勤務日及び勤務時間等)

第7条 原則として、1週間の勤務時間はおおむね7時間以内とする。

2 勤務場所は、原則として推進校校内とする。ただし、委員会もしくは推進校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。

(謝礼及びその支給)

第8条 謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給800円とする。

2 謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。

3 謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の21日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。

(費用弁償)

第9条 コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。

2 コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。

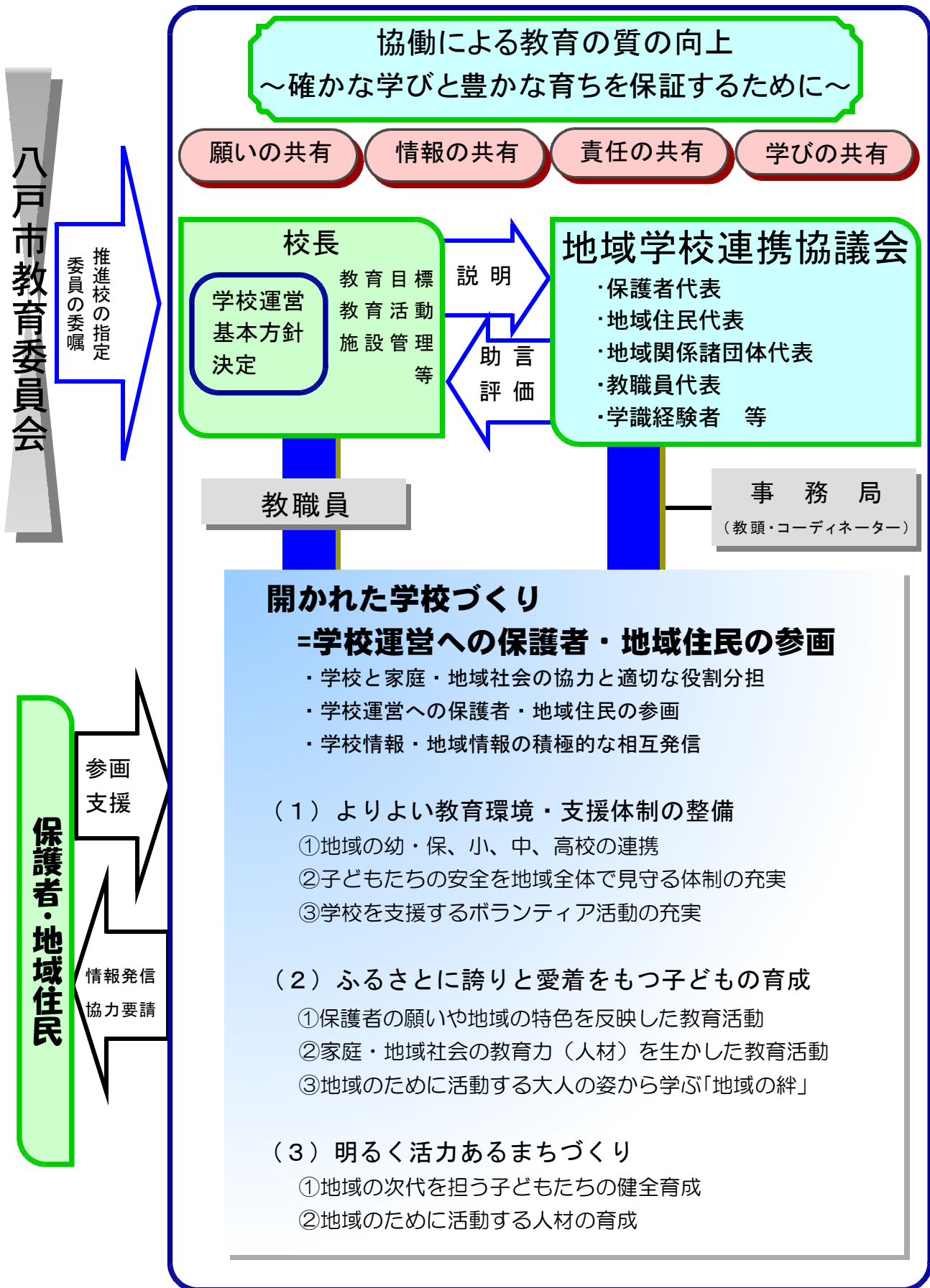
(その他)

第10条 この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

地域密着型教育推進事業基本構想図



協働による教育の質の向上

～確かな学びと豊かな育ちを保証するために～

願いの共有

情報の共有

責任の共有

学びの共有

校長

学校運営
基本方針
決定

教育目標
教育活動
施設管理等

説明

助言
評価

地域学校連携協議会

・保護者代表
・地域住民代表
・地域関係諸団体代表
・教職員代表
・学識経験者 等

教職員

事務局

(教頭・コーディネーター)

開かれた学校づくり

=学校運営への保護者・地域住民の参画

- ・学校と家庭・地域社会の協力と適切な役割分担
- ・学校運営への保護者・地域住民の参画
- ・学校情報・地域情報の積極的な相互発信

(1) よりよい教育環境・支援体制の整備

- ①地域の幼・保、小、中、高校の連携
- ②子どもたちの安全を地域全体で見守る体制の充実
- ③学校を支援するボランティア活動の充実

(2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもの育成

- ①保護者の願いや地域の特色を反映した教育活動
- ②家庭・地域社会の教育力(人材)を生かした教育活動
- ③地域のために活動する大人の姿から学ぶ「地域の絆」

(3) 明るく活力あるまちづくり

- ①地域の次代を担う子どもたちの健全育成
- ②地域のために活動する人材の育成

八戸市教育委員会

推進校の指定
委員の委嘱

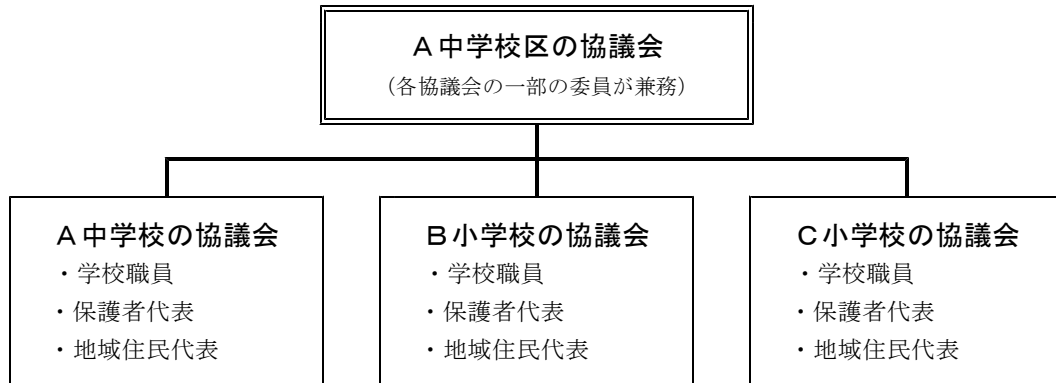
参画
支援

保護者・地域住民

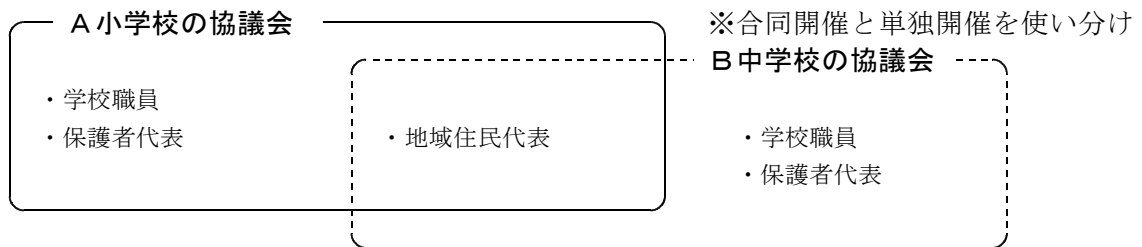
情報発信
協力要請

同一学区内地域学校連携協議会の形態例

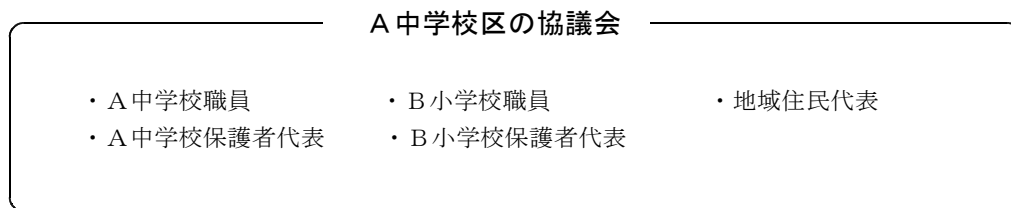
1 複数の協議会のネットワーク型



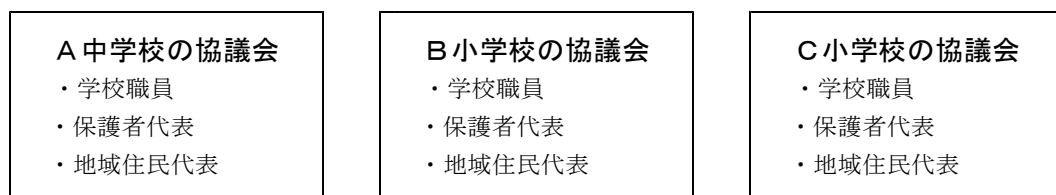
2 一部の委員が兼務する一部合同型



3 小中合同の完全一体型



4 学校別の独立型



※同じ学区にある他の学校の校長先生を委員やオブザーバーにするケースが多い

新規推進校年間スケジュールの例

月	開 催 会 合 名	内 容	市教委関係・その他
4			推進校説明会 推進校指定書送付 ※参観日での説明 ※地域諸団体への説明
5	準備会① (校長、教頭、指導主事)	・年間スケジュール作成 ・準備委員会メンバーの検討 ・地域密着型教育の方針審議	コーディネーター委嘱状送付 コーディネーター研修会
6	準備会② (校長、教頭、指導主事)	・地域密着型教育の方針審議 ・会則、組織の原案審議 ・協議会委員の選定	
7			推進校連絡会
8	準備委員会① (校長、教頭、P会長、地域代表、指導主事、コーディネーター)	・地域密着型教育の方針審議 ・会則、組織の原案審議 ・協議会委員の選定	コーディネーター研修会
9	準備委員会② (校長、教頭、P会長、地域代表、指導主事、コーディネーター)	・会則、組織の原案審議 ・協議会委員の選定 ・第1回協議会打合せ	
10	第1回地域学校連携協議会	・委嘱状交付（市教委主催） ・会則、組織に関する審議 ・学校経営方針、重点施策等の説明及び審議	
11			
12			コーディネーター研修会 推進校連絡会
1	第2回地域学校連携協議会	・学校の現状と課題の説明及び審議 ・学校評価に関する説明及び審議 ・来年度の予定に関する説明及び審議	J S・地域密着実践報告会
2			
3	第3回地域学校連携協議会	・今年度の成果と課題の説明及び審議 ・来年度の教育計画についての説明	実践報告集発行